

**岡山市第六次総合計画
(前期中期計画)**

未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山

桃太郎のまちづくりレポート 2017

平成31年3月

岡山市

目 次

- 取組への評価・評価の基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 評価結果の概要
 - (1) 成果指標の進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

 - (2) 主な事務事業の進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

- 取組実績報告（分野別計画編）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

- 取組実績報告（区別計画編）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 199

取組への評価

岡山市第六次総合計画 前期中期計画（平成 29 年 3 月策定（計画期間：平成 28 年度から平成 32 年度））では、計画を着実に推進するため、「計画(Plan)」→「実行(Do)」→「評価(Check)」→「見直し(Act)」を繰り返す「PDCA サイクル」の考え方に基づいた進行管理を行うとともに、取組の進捗状況等について毎年度公表することとしています。

平成 29 年度の取組状況を取りまとめた、「桃太郎のまちづくりレポート 2017（岡山市第六次総合計画 前期中期計画取組実績報告）」では、長期構想に掲げる都市づくりの基本目標である「未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山」の実現に向けて取り組む 30 の政策について、政策ごとに設定した成果指標の達成状況や、各施策のもとで実施する主な事務事業の進捗状況について評価を行っています。

評価の基準

成果指標の評価基準

上昇・改善

- ・基準値に対し、上昇・改善している

横ばい

- ・基準値に対し、横ばいである（変動率±0.5%の範囲以内）

低下・悪化

- ・基準値に対し、低下・悪化している

評価対象外

- ・指標の調査周期が隔年等のため、実績値が把握できない

事業の進捗状況の評価基準

順調

- ・年度当初に計画されていた業務が予定通り又は予定以上に実施されたもの
- ・事業目標値がある場合は、目安として予定の 9 割以上の実施

概ね順調

- ・年度当初に計画されていた業務が概ね予定通り実施されたもの
- ・事業目標値がある場合は、目安として予定の 8 割以上から 9 割未満の実施

やや遅れ

- ・年度当初に計画されていた業務の実施がやや遅れているもの
- ・事業目標値がある場合は、目安として予定の 7 割以上から 8 割未満の実施

遅れ

- ・年度当初に計画されていた業務の実施が遅れているもの
- ・事業目標値がある場合は、目安として予定の 7 割未満の実施

※平成30年8月公表内容からの更新事項

成果指標の実績値(H29)について、平成30年8月時点では判明していなかったもののうち、平成31年3月末現在において判明しているものを追記。

<実績値(H29)が判明した成果指標>

政策1

- 市内就業者数（人）

政策4

- 観光入込客数（千人）

政策6

- 主要バス路線利用者数（1日当たり）（人）

政策8

- 歴史・文化ゾーン来訪者数（万人）

政策24

- 自主防災組織率（%）

政策30

- 実質公債費比率（%）

評価結果の概要

(1) 成果指標の進捗状況

将来都市像	上昇・改善 ↗	横ばい →	低下・悪化 ↘	小計	評価対象外	合計
I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」	22	1	4	27	1	28
II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」	17	0	7	24	1	25
III 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」	21	0	2	23	1	24
都市経営	3	0	2	5	0	5
計	63	1	15	79	3	82

■ 約 8 割の指標が上昇・改善傾向

82の成果指標から、調査周期等に当たっていない3の指標を除いた79の指標のうち、約8割にあたる63の指標が「上昇・改善」しており、全体として目標達成に向けて順調に推移しています。

「上昇・改善」した主な指標として、将来都市像Iでは、企業立地・再投資件数や快適で賑わいのある都心づくりの満足度、文化財施設・講演会等への来訪者数など、将来都市像IIでは、保育所等の待機児童数など、将来都市像IIIでは認知症サポーター数、就労支援を行った生活困窮者数など、都市経営では、岡山市役所の管理職に占める女性の割合などがあげられます。

一方で、主要渋滞箇所数が「横ばい」、また、転入超過者数や公園・緑地の整備や緑化の推進に関する満足度など、15の指標が「低下・悪化」していることから、関連事業を点検し、指標の改善につなげていきます。

■ 目標値を達成した指標について必要に応じて見直しを実施

平成29年度で目標値を達成した成果指標のうち以下の指標については、今後の見直し等を踏まえて必要に応じて目標値の見直しを実施しました。

【目標値を見直した成果指標】

政策	成果指標（単位）	目標値(H32)	
		見直し前	見直し後
政策1	市内就業者数（人）	374,000 (H30)	381,000 (H30)
	企業立地・再投資件数（件）	33 (H28～32の合計)	75 (H28～32の合計)
政策12	心豊かな岡山っ子応援団賛助団員数（団体）	60	90
政策22	障害者の福祉施設から一般就労への移行者数（人）	120	152
	就労支援を行った生活困窮者数（人）	170	205
政策25	安全・安心な地域社会と感ずる市民の割合（％）	86 (H31)	88 (H31)
	刑法犯認知件数（件）	5,500	5,000

成果指標の進捗状況一覧

評価基準

<p>上昇・改善 「 ↗ 」</p> <p>・基準値に対し、上昇・改善している</p>
<p>横ばい 「 → 」</p> <p>・基準値に対し、横ばいである（変動率±0.5%の範囲以内）</p>
<p>低下・悪化 「 ↘ 」</p> <p>・基準値に対し、低下・悪化している</p>
<p>評価対象外 「 — 」</p> <p>・指標の調査周期が隔年等のため、実績値が把握できない</p>

将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」 成果指標数 28

政策	成果指標（単位）	調査周期	基準値 H27	実績値 H29	目標値 H32	傾向	掲載頁
政策1	市内就業者数（人）	1年	370,783(新) 362,044(旧) (H25)	378,631 (H27)	381,000(新) 374,000(旧) (H30)	↗	23
	開業率（%）	1年	5.5	5.7	6.6	↗	
	企業立地・再投資件数（件）	1年	8	30 (H28～29の合計)	75（新） 33（旧） (H28～32の合計)	↗	
政策2	快適で賑わいのある都心づくりの満足度（%）	2年	20.4	24.9	23 (H31)	↗	31
	中心市街地の歩行者通行量（人） 上段：平日 下段：休日	2年	3,925 5,405	4,324 5,654	4,500 5,800	↗	
	J R岡山駅乗降客数（1日当たり） （万人）	1年	13.2	13.4	14.3	↗	
政策3	新規就農者数(人)	1年	27	29	40	↗	37
	担い手への農地集積率（%）	1年	25.3	36.9	37.5	↗	
	多面的機能制度取組面積（ha）	1年	2,609	3,088	7,025	↗	
	岡山産の野菜・果物等の購入を意識している市民の割合（%）	2年	56.4	60.5	65 (H31)	↗	

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H29	目標値 H32	傾向	掲載頁
政策4	観光入込客数（千人）	1年	7,577	7,630	9,487	↗	45
	コンベンション参加者数（人）	1年	152,296	185,339	207,000	↗	
	転入超過者数（人）	1年	883 ※過去10年間 (H17～26)の平均	231	1,000	↘	
政策5	都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度（%）	2年	30.8	31.3	32 (H31)	↗	51
	人口集中地区（DID）人口密度（人/ha）	5年	60	-	61	-	
政策6	J R市内全駅乗車数（1日当たり）（万人）	1年	10.9	11.4	11.7	↗	57
	主要バス路線利用者数（1日当たり）（人）	1年	31,500	31,810	31,500	↗	
	生活交通導入地区数（試行運転開始地区を含む）（地区）	1年	-	1	4	↗	
	自転車利用環境の整備に対する満足度（%）	2年	15.5	20.2	22 (H31)	↗	
	主要渋滞箇所数（箇所）	1年	42	42	39	→	
政策7	美しい都市景観の形成に対する満足度（%）	2年	26.7	20.1	28 (H31)	↘	65
	公園・緑地の整備や緑化の推進に対する満足度（%）	2年	40.8	25.2	44 (H31)	↘	
	住宅や住環境の整備に対する満足度（%）	2年	18.4	19.5	20 (H31)	↗	
政策8	歴史・文化ゾーン来訪者数（万人）	1年	316	324	336	↗	71
	文化財施設・講演会等への来訪者数（人）	1年	46,815	49,137	47,300	↗	
政策9	過去1年間に文化芸術を体験（参加・鑑賞）した人の割合（%）	2年	45.2	62.4	60 (H31)	↗	77
	文化活動の振興に対する満足度（%）	2年	19.1	19.7	25 (H31)	↗	
政策10	成人の週1回以上のスポーツ実施率（%）	2年	34.3	31.0	47 (H31)	↘	81

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H29	目標値 H32	傾向	掲載頁
政策11	子育て支援・児童福祉の充実に対する満足度（％）	2年	16.7	13.9	30 (H31)	↘	87
	保育所等の待機児童数(人)	1年	729 (H28.4.1)	551 (H30.4.1)	0 (H33.4.1)	↗	
	放課後児童クラブ入所希望児童（潜在ニーズを含む見込み）に対する入所できた児童の割合（％）	1年	87.7 (H28.4.1)	85.4 (H30.4.1)	100 (H33.4.1)	↘	
	男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合（％）	2年	82.4	84.1	85 (H31)	↗	
政策12	心豊かな岡山っ子応援団賛助団員（団体）	1年	11	81	90（新） 60（旧）	↗	95
	社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者数(人)	1年	-	8 (H28～29の合計)	25 (H28～32の合計)	↗	
	里親等委託率（％）	1年	13.3	13.9	23	↗	
	青少年の健全育成に対する満足度（％）	2年	11.1	9.8	20 (H31)	↘	
政策13	市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合（％）	5年	10.7 (H24)	22.0	16 (H29)	↗	101
	固定的な性別役割分担意識の解消度（％）	2年	65.4	68.1	73 (H31)	↗	
	若者（20歳代）の地域活動への参加割合（％）	2年	17.9	20.4	30 (H31)	↗	
政策14	「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合（％）	1年	小：85.8 中：83.5	小：85.9 中：84.1	小：90 中：88	↗	107
	全国学力・学習状況調査のB問題（主として「活用」に関する問題）の偏差値	1年	小6国語：50 小6算数：50 中3国語：48 中3数学：48	小6国語：51 小6算数：50 中3国語：49 中3数学：49	小6国語：51 小6算数：51 中3国語：50 中3数学：50	↗	
	「人が困っている時に進んで助けている」と答えた子どもの割合（％）	1年	小：85.5 中：80.2	小：86.8 中：82.3	小：92 中：90	↗	
	1週間の総運動時間が60分以上の子どもの割合（％）	1年	中2男子：91.9 中2女子：75.3	中2男子：93.4 中2女子：77.7	中2男子：93 中2女子：79	↗	
政策15	「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合（％）	1年	50.2 (H28)	53.2	60	↗	117
	全38中学校区のうち、地域協働学校に指定した中学校区数（中学校区）	1年	30	31	35	↗	
政策16	市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数(冊/人)	1年	6.3	6.1	6.4	↘	123
	公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数(人)	1年	815,750	811,425	816,000	↘	

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H29	目標値 H32	傾向	掲載頁
政策17	ESDプロジェクト参加団体数(団体)	1年	246	275	300 (H31)	↗	127
	地域活動への参加割合（％）	2年	39.9	43.3	52 (H31)	↗	
	企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数（団体）	1年	23	32	50	↗	
政策18	国際交流・国際化について満足している市民の割合（％）	2年	11.1	9.4	13 (H31)	↘	135
	岡山市に住み続けたい外国人市民の割合（％）	1年	83.1	72.9	88	↘	
政策19	人権問題に関する講演会・研修会などに参加したことがある市民の割合（％）	5年	45.9 (H25)	-	47 (H30)	-	139

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H29	目標値 H32	傾向	掲載頁
政策20	健康寿命（歳） 上段：男性 下段：女性	3年	71.6 73.4 (H25)	71.6 74.3 (H28)	72.2 75.3 (H31)	↗	143
	生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者数（人）	1年	61	363	660	↗	
政策21	かかりつけ医がいる市民（60～80歳代）の割合（％）	3年	63 (H24)	-	70 (H31)	-	147
	生活・介護支援サポーター養成数（人）	1年	822	1,115	1,550	↗	
	認知症サポーター数（人）	1年	28,924	40,322	49,000	↗	
政策22	障害者の福祉施設から一般就労への移行者数（人）	1年	86	127	152（新） 120（旧）	↗	155
	就労支援を行った生活保護受給者数（人）	1年	833	844	860	↗	
	就労支援を行った生活困窮者数（人）	1年	144	190	205（新） 170（旧）	↗	
政策23	下水道浸水重点対策整備率（％）	1年	20	38.4	53	↗	159
	住宅・建築物等の耐震化率（％） 上段：住宅 下段：避難路沿道建築物	1年	83 87	85 90	95 95	↗	
	水道の基幹管路（口径400mm以上）の耐震適合率（％）	1年	41.8	45.5	45.8	↗	
	市中心部の下水道管きよの老朽化点検率（％）	1年	30	54.3	71	↗	
政策24	自主防災組織率（％）	1年	62.4	64.5	75	↗	165
	住宅用火災警報器の設置率（％） 上段：設置率 下段：条例適合率	1年	67.7 53.8	73.2 64.0 (速報値)	85 70	↗	
政策25	安全・安心な地域社会と感じる市民の割合（％）	2年	82.0	87.2	88（新） 86（旧） (H31)	↗	171
	刑法犯認知件数（件）	1年	7,186	5,372	5,000（新） 5,500（旧）	↗	
政策26	ホテルの生息地（地点）	2年	200	191	200 (H31)	↘	175
	多様な主体による自然体験プログラム開催数（回）	1年	420	431	450	↗	
	美化推進重点区域内のごみのポイ捨て数（1主要通り当たりの1日平均）（個）	1年	106	112	100	↘	

政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H29	目標値 H32	傾向	掲載頁
政策27	温室効果ガス排出量(千 t -CO ₂)	1年	6,476 (H25)	6,303 (H27暫定)	6,000 (H30)	↗	179
	環境にやさしいライフスタイルの実践度(%)	2年	46	50	56 (H31)	↗	
政策28	ごみの資源化率（%）	1年	22.7	29.3	28	↗	183
	市民1人1日当たりのごみ排出量（g）	1年	837	821	809	↗	
	汚水処理人口普及率（%）	1年	80.9	82.8	85	↗	

都市経営							成果指標数 5
政策	成果指標（単位）	調査 周期	基準値 H27	実績値 H29	目標値 H32	傾向	掲載頁
政策29	岡山市に住み続けたいと考える市民の割合（%）	2年	79.2	79.4	85 (H31)	↗	187
政策30	実質公債費比率（%）	1年	9.5	7.0	9%台	↗	191
	行政窓口の充実に対する満足度（%）	2年	18.7	16.4	25	↘	
	岡山市役所の管理職に占める女性の割合（%）	1年	8.4 (H27.4.1)	11.6 (H30.4.1)	14 (H33.4.1)	↗	
	広報・広聴、情報公開、市民参加の推進に対する満足度（%）	2年	13.1	11.8	18	↘	

(2) 主な事務事業の進捗状況

将来都市像	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	合計
I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」	46	59	2	0	107
II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」	32	75	2	0	109
III 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」	43	45	4	0	92
都市経営	12	6	0	0	18
計	133	185	8	0	326

■ 9割超の事業が順調・概ね順調

前期中期計画に掲載の326事業の進捗状況は、9割超にあたる318事業が「順調」又は「概ね順調」であり、着実に事業を実施することができました。

進捗が「順調」であった主な事務事業としては、企業立地推進事業をはじめ、西川魅力にぎわい創出事業、鉄道の利用環境改善、学校耐震改修整備事業、認知症サポーター・サポートリーダー等養成事業などがあげられます。

一方で、8の事務事業が当初の見込みよりも「やや遅れ」となりました。

「やや遅れ」となった主な事務事業としては、里親委託等家庭養護の推進、自主防災会育成事業、住宅用火災警報器の設置推進などがあげられ、これらの事務事業については、課題を検証し、事業手法の改善等によって事業の推進を図っていきます。

主な事務事業の進捗状況一覧

評価基準

<p>順調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画されていた業務が予定通り又は予定以上に実施されたもの ・事業目標値がある場合は、目安として予定の9割以上の実施 <p>概ね順調</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画されていた業務が概ね予定通り実施されたもの ・事業目標値がある場合は、目安として予定の8割以上から9割未満の実施 <p>やや遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画されていた業務の実施がやや遅れているもの ・事業目標値がある場合は、目安として予定の7割以上から8割未満の実施 <p>遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に計画されていた業務の実施が遅れているもの ・事業目標値がある場合は、目安として予定の7割未満の実施
--

将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」		事務事業数 107		
政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策1	施策①	ヘルスケア産業創出・育成事業	順調	25
	施策②	ものづくり産業振興事業	順調	26
		ものづくり産学官連携推進事業	概ね順調	26
		ものづくり産業海外展開支援事業	順調	26
		中小企業の経営安定化事業（融資制度資金貸付、経営診断）	概ね順調	26
		中小企業活性化事業・創業支援事業	概ね順調	27
		商業団体等助成事業	順調	27
		企業立地推進事業	順調	27
	施策③	空港南産業団地整備事業	順調	28
	施策④	雇用対策等事業	概ね順調	29
勤労者サポートプラザ事業		概ね順調	30	
政策2	施策①	西川魅力にぎわい創出事業	順調	32
		旭川かわまちづくり事業	順調	33
	施策②	県庁通り歩いて楽しい道路空間整備事業	概ね順調	33
		自転車先進都市の推進 [一部再掲]	順調	34
		まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上	概ね順調	34
	施策③	商店街等地域商業の活動への支援	概ね順調	34
	施策④	市街地再開発事業の促進	順調	35
		土地利用の適正誘導（高次都市機能の充実・強化） [一部再掲]	順調	35

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策3	施策①	農業の担い手の確保・育成事業	概ね順調	38
		農業経営力向上対策事業	概ね順調	39
		農産物販路拡大支援事業	概ね順調	40
	施策②	農業農村整備事業	概ね順調	40
		土地改良区等支援事業	概ね順調	41
		優良農地確保事業	順調	41
		農村集落活性化事業	概ね順調	41
	施策③	農作物被害対策事業	順調	42
		地産地消推進事業	概ね順調	42
		都市農村交流施設・資源活用事業	概ね順調	43
	施策④	市場活性化事業	概ね順調	43
		林業振興事業	概ね順調	44
政策4	施策①	水産業振興事業	概ね順調	44
		観光資源の魅力アップ事業	概ね順調	47
		岡山まつり開催事業	順調	47
		観光施設の活用事業	概ね順調	48
	施策②	おかやま観光情報発信事業（インバウンド推進）	概ね順調	48
		コンベンション誘致対策事業	概ね順調	49
	施策③	都市イメージの発信	概ね順調	49
		おかやま観光情報発信事業（シティプロモーション）	概ね順調	50
	施策④	移住・定住の促進	概ね順調	50
	政策5	施策①	土地利用の適正誘導	順調
岡山操車場跡地整備事業（健康・医療・福祉系施設導入区域）			順調	52
岡山西部総合公園（仮称）整備事業			概ね順調	52
岡山操車場跡地整備事業（市営住宅・社会福祉施設導入区域）			順調	52
北長瀬駅北土地区画整理事業（仮称）			やや遅れ	53
施策②		中山間・周辺地域活性化支援事業	概ね順調	53
		地域おこし協力隊事業	概ね順調	53
		農村集落活性化事業〔再掲〕	概ね順調	54
		地産地消推進事業（農業者と消費者等の交流促進）〔一部再掲〕	概ね順調	54
		都市農村交流施設・資源活用事業〔再掲〕	概ね順調	55

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁	
政策6	施策①	新たな総合交通計画策定及び地域公共交通網形成計画策定	概ね順調	58	
		鉄道の利用環境改善	順調	58	
		まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上 [再掲]	概ね順調	59	
		バスの利用環境改善	概ね順調	59	
		モビリティマネジメント	順調	59	
			超小型モビリティの導入可能性検討	順調	60
	施策②	生活交通の維持・改善	順調	60	
		新たな生活交通の確保	順調	61	
	施策③	自転車走行空間の整備	順調	61	
		駐輪場の整備	順調	62	
		コミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進	概ね順調	62	
		自転車ルール・マナー向上	順調	62	
			サイクリングロードの充実	順調	63
	施策④	広域交通網の整備	概ね順調	63	
		外環状道路の整備（岡山環状道路）	概ね順調	63	
		中環状道路の整備	概ね順調	64	
生活道路の整備		概ね順調	64		
政策7	施策①	都市景観形成事業	順調	66	
	施策②	緑のボリュームアップ事業	概ね順調	66	
		岡山西部総合公園（仮称）整備事業 [再掲]	概ね順調	66	
		公園施設の長寿命化	概ね順調	67	
		西川魅力にぎわい創出事業 [再掲]	順調	67	
			旭川かわまちづくり事業 [再掲]	順調	67
	施策③	岡山市住生活基本計画の策定	順調	68	
		高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き)の整備	やや遅れ	68	
		岡山操車場跡地整備事業（市営住宅・社会福祉施設導入区域）（北長瀬みずほ住 座の再生） [一部再掲]	順調	68	
		空き家対策	概ね順調	68	
		東山斎場再整備事業	順調	69	
新斎場整備事業		順調	69		
市営墓地維持管理事業		順調	69		
政策8	施策①	岡山芸術交流の開催	順調	72	
		都心創生まちづくり事業	概ね順調	72	
		観光資源の魅力アップ事業（岡山城と岡山後楽園のタイアップ） [一部再掲]	概ね順調	72	
		オリент美術館と県立美術館等との共同事業[再掲]	概ね順調	73	
		観光施設の活用事業（岡山城の魅力アップ） [一部再掲]	概ね順調	73	
		文化芸術に親しむ事業（おかやま国際音楽祭） [一部再掲]	順調	73	
	施策②	史跡造山古墳群保存整備事業	概ね順調	73	
		史跡岡山城跡の保存整備事業	概ね順調	74	
		史跡公有化の推進	概ね順調	74	
		文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用	順調	74	
		「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業	順調	74	
		観光資源の魅力アップ事業（歴史・伝統・文化の活用、継承） [一部再掲]	概ね順調	75	

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策9	施策①	岡山芸術創造劇場（仮称）の整備（旧：新しい文化芸術施設の整備）	順調	78
		岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援	概ね順調	78
		岡山シティミュージアムの運営	概ね順調	78
		オリент美術館と県立美術館等との共同事業	概ね順調	79
	施策②	文化芸術に親しむ事業	概ね順調	79
		子どもたちへの文化体験機会の提供	概ね順調	79
政策10	施策①	トップチーム支援事業	順調	82
		おかやまマラソン	順調	82
	施策②	東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ誘致及びホストタウン事業の推進	順調	83
		競技スポーツの振興	順調	83
	施策③	体育施設整備事業	順調	84
		体育施設管理事業	順調	84
		体育団体等育成事業	概ね順調	84
		学校体育施設開放事業	順調	85
	障害者スポーツ振興事業	概ね順調	85	

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策11	施策①	私立保育所の施設整備	概ね順調	88
		私立保育所の施設整備（老朽改修）	概ね順調	88
		地域型保育事業の整備	概ね順調	89
		延長保育・病児保育事業	概ね順調	89
		最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進	概ね順調	89
		保育士確保支援事業	概ね順調	89
		保育士等处遇改善事業	概ね順調	90
		放課後児童健全育成事業	概ね順調	90
	施策②	子育てパパ・プレパパ応援事業	概ね順調	90
		みんなで子育て推進事業	概ね順調	90
		女性が輝くまちづくり推進事業（ワーク・ライフ・バランスの推進）[一部再掲]	概ね順調	91
	施策③	妊産婦相談支援事業	順調	91
		乳児家庭全戸訪問事業	順調	91
	施策④	子育て応援サイトの運営	概ね順調	92
		一時預かり事業	概ね順調	92
		ファミリーサポート事業	概ね順調	92
シルバー世代産前産後応援事業		概ね順調	92	
子ども医療費助成制度		順調	93	
政策12	施策①	心豊かな岡山っ子応援団	概ね順調	96
		プレーパーク普及事業	順調	96
		次世代育成体験活動促進事業	概ね順調	97
	施策②	子ども相談主事の配置	順調	97
		発達障害者支援センター事業	概ね順調	98
		入所施設児童等福祉対策	順調	98
		退所児童等アフターケア事業	順調	98
		里親委託等家庭養護の推進	やや遅れ	99
		ひとり親家庭支援事業	順調	99
	施策③	青少年健全育成事業	順調	100
		子ども若者育成支援事業	概ね順調	100
政策13	施策①	女性が輝くまちづくり推進事業	概ね順調	102
		男女共同参画推進事業（さんかくウイーク）	順調	102
		男女共同参画推進事業（さんかく岡山）	順調	103
		男女共同参画相談支援センター運営事業	概ね順調	103
	施策②	安全・安心ネットワーク支援事業（若者の地域活動への参加促進）[一部再掲]	概ね順調	103
		岡山 ESD プロジェクト推進事業（学生の ESD 活動への参加促進）[一部再掲]	概ね順調	103
		雇用対策等事業[再掲]	概ね順調	104
		学校支援ボランティア事業[再掲]	概ね順調	105
		大学生まちづくりチャレンジ事業	順調	105

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策14	施策①	学力向上推進プロジェクト	概ね順調	109
		岡山っ子チャレンジアッププロジェクト	概ね順調	110
		習熟度別サポート事業	概ね順調	110
		おかやまっ子スタート・サポート事業	概ね順調	110
		英語教育推進事業	概ね順調	111
		教育課題別研究事業	順調	111
		学校支援ボランティア事業	概ね順調	112
	施策②	心豊かな子どもの育成事業（旧：はぐくむ心・あったかハート事業）	概ね順調	112
		岡山キャリアスタートウィーク事業	概ね順調	112
		ユネスコスクール推進事業	概ね順調	113
	施策③	運動習慣定着化事業	概ね順調	113
		子どもの命を守る岡山市立学校におけるAED整備及び応急手当普及員研修事業	概ね順調	113
		学校保健事業	概ね順調	114
		スーパー食育スクール事業における成果の普及事業	概ね順調	114
	施策④	共に生きる子どもを育てる障害児支援事業	概ね順調	114
		共に成長し合う学級集団づくり推進事業	概ね順調	114
スクールカウンセラー配置事業		概ね順調	115	
不登校児童生徒支援員配置事業		概ね順調	115	
教育相談室・適応指導教室整備事業		概ね順調	115	
		日本語指導講師派遣事業	概ね順調	115
政策15	施策①	教職員研修事業	順調	118
		教職員の力量を高める教育研究事業	順調	118
		若手教職員育成事業	順調	118
		特色ある岡山市教職員採用試験実施事業	概ね順調	119
		学校業務アシスト事業	順調	119
		部活動サポート事業	概ね順調	119
	施策②	学校耐震改修整備事業	順調	120
		校舎等増改築事業	順調	120
		学校空調設備整備事業	順調	120
		小規模校におけるICTを活用した学校づくり事業	概ね順調	120
		ICTを基盤とする情報活用能力アップ事業	概ね順調	121
		学校図書館の充実	概ね順調	121
	施策③	地域協働学校の推進と学校評価の充実	順調	121
		家庭教育支援事業	概ね順調	122
		地域コーディネーター事業	概ね順調	122
		スーパー食育スクール事業における成果の普及事業[再掲]	概ね順調	122
政策16	施策①	公民館運営事業	概ね順調	124
		公民館建設事業	概ね順調	124
		公民館耐震改修整備事業	概ね順調	124
		公民館ESD活動推進事業	概ね順調	125
		インターネット予約図書の実受・返却窓口拡充事業	概ね順調	125
		図書館相互利用	概ね順調	125
		図書館業務システム活用による市民サービスの向上及び蔵書の適正管理	概ね順調	125
		図書館施設の改修及び修繕	概ね順調	126
		郷土資料の保存と活用	やや遅れ	126

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策17	施策①	岡山ESDプロジェクト推進事業	順調	128
		公民館ESD活動推進事業[再掲]	概ね順調	129
		ユネスコスクール推進事業[再掲]	概ね順調	129
	施策②	安全・安心ネットワーク支援事業	概ね順調	129
		電子町内会推進事業	概ね順調	130
		住民自治組織育成事業	順調	130
		区づくり推進事業	概ね順調	130
	施策③	コミュニティ推進事業	概ね順調	131
		ESD・市民協働推進センター運営事業	概ね順調	131
		市民協働推進モデル事業	順調	131
市民協働推進専用ウェブサイトの運営		順調	132	
協働のまちづくり条例普及・啓発事業		順調	132	
		大学等との連携	順調	132
政策18	施策①	国際交流推進事業	順調	136
		子どもたちに重点を置いた国際理解の促進事業	順調	136
		英語教育推進事業[再掲]	概ね順調	137
		次世代育成体験活動促進事業（おかやまイングリッシュビレッジ事業）[一部再掲]	概ね順調	137
		ユネスコスクール推進事業[再掲]	概ね順調	138
	施策②	多文化共生のまちづくりの推進事業	順調	138
		日本語指導講師派遣事業[再掲]	概ね順調	138
政策19	施策①	人権フェスティバル岡山	順調	140
		人権啓発推進事業	概ね順調	140
		人権啓発活動補助金	順調	140
		人権教育推進事業	概ね順調	141
	施策②	岡山市戦没者追悼式	概ね順調	141
		岡山空襲展示室事業	概ね順調	141

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策20	施策①	健康ポイント事業	概ね順調	144
		桃太郎のまち健康推進応援団	順調	144
		「健康市民おかやま2 1（第2次）」推進事業	順調	144
		依存症対策推進事業	概ね順調	144
	施策②	自殺予防対策（ゲートキーパー講習会等普及啓発活動）	順調	145
		生涯現役社会づくり事業	順調	145
		シルバー人材センター事業	概ね順調	145
		介護予防センター事業	順調	146
施策③	「健康市民おかやま2 1（第2次）」推進事業[再掲]	順調	146	
	生涯現役社会づくり事業 [再掲]	順調	146	
政策21	施策①	在宅医療介護連携推進事業[再掲]	概ね順調	148
		生涯現役社会づくり事業[再掲]	順調	149
		生活・介護支援サポーター養成事業	順調	149
		認知症サポーター、サポートリーダー等養成事業[再掲]	順調	149
		高齢者施設の整備	順調	150
		地域包括支援センター運営事業	順調	150
	施策②	在宅医療介護連携推進事業	概ね順調	150
		在宅介護総合特区推進事業	順調	151
	施策③	認知症初期集中支援チーム	概ね順調	151
		認知症高齢者見守り事業	順調	152
		認知症サポーター、サポートリーダー等養成事業	順調	152
		認知症カフェ等運営事業	概ね順調	152
	施策④	市民後見人養成研修実施事業	順調	152
		国民健康保険財政健全化推進事業	順調	153
		要介護認定研修事業	順調	153
		介護給付費適正化事業	順調	153
政策22	施策①	障害者就労支援事業	概ね順調	156
		障害者の地域生活への移行の推進	概ね順調	156
		障害者差別の解消の推進	概ね順調	157
	施策②	生活困窮者自立支援事業	概ね順調	157
		生活保護適正実施の推進	概ね順調	157
	施策③	地域福祉基盤づくり事業	順調	158
		障害者の地域生活への移行の推進[再掲]	概ね順調	158
		生活困窮者自立支援事業[再掲]	概ね順調	158
政策23	施策①	浸水対策事業	概ね順調	161
	施策②	橋りょう耐震補強事業	概ね順調	162
		橋りょう長寿命化対策事業	概ね順調	162
		市有建築物の耐震改修事業	順調	162
		住宅・建築物耐震改修等補助事業	概ね順調	162
		宅地耐震化推進事業	順調	163
	施策③	用水路等安全対策事業	順調	163
		道路新設改良事業	概ね順調	163
	施策④	水道管路耐震化等更新事業	順調	164
		水道施設耐震化等更新事業	順調	164
		下水道管きよの長寿命化、耐震化	順調	164
下水道施設（処理場、ポンプ場）の長寿命化、耐震化		概ね順調	164	

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策24	施策①	自主防災会育成事業	やや遅れ	166
		備蓄の推進	概ね順調	166
		総合防災訓練等の実施	順調	166
		岡山市業務継続計画（BCP）の推進	概ね順調	166
	施策②	消防署所適正配置	順調	167
		消防団機庫整備	順調	167
		消防団装備整備	順調	167
		女性消防団員用ポンプ整備	順調	167
		住宅用火災警報器の設置推進	やや遅れ	168
		消防法令違反の是正推進	順調	168
		住宅防火対策推進	順調	168
		消防車両更新	順調	169
		消防ヘリコプター操縦士養成	概ね順調	169
		救急救命士養成・教育	概ね順調	169
		高齢者対象の救急需要対策	概ね順調	169
		消防指令システム更新整備	順調	170
消防・救急無線更新整備	順調	170		
政策25	施策①	地域防犯ボランティア支援事業	概ね順調	172
		防犯灯設置支援事業	順調	172
		特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業	概ね順調	172
		交通安全対策事業	順調	172
		自転車安全運転免許証交付事業	順調	172
	施策②	消費者教育推進事業	順調	173
政策26	施策①	生物多様性地域戦略策定推進事業	概ね順調	176
		身近な生きものの里事業	概ね順調	176
		ホテル調査および希少種保護事業	やや遅れ	176
		開発事業に対する環境配慮の推進	概ね順調	176
		大気保全対策事業、水質保全対策事業	概ね順調	177
	施策②	いきものいろいろ交流プロジェクト事業	概ね順調	177
		水辺教室等の環境教育推進事業	概ね順調	178
	施策③	環境美化推進事業	概ね順調	178
政策27	施策①	地球温暖化対策事業	概ね順調	180
		バイオ燃料地域利用事業	概ね順調	180
	施策②	温暖化防止に向けた意識改革と行動喚起	概ね順調	180
人と環境にやさしい交通ネットワークの構築[一部再掲]		概ね順調	181	
政策28	施策①	資源循環指導・啓発事業	概ね順調	184
		減量化・資源化対策事業	概ね順調	184
		中間処理施設での資源化推進	概ね順調	184
	施策②	ごみ処理体制の効率化	順調	185
		産業廃棄物対策事業	順調	185
		産業廃棄物不法投棄等対策事業	順調	185
	施策③	下水道整備事業	概ね順調	185
		合併処理浄化槽設置補助金事業	概ね順調	186
し尿処理施設の整備・効率化		やや遅れ	186	
		汚水処理施設の効率化	概ね順調	186

政策	施策	事務事業名	進捗状況 (H29)	掲載頁
政策29	施策①	岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	順調	188
	施策②	連携中枢都市圏ビジョンの策定と連携取組の推進	順調	188
		瀬戸内4県都市の連携推進	順調	188
		指定都市市長会を通じた取組の推進	順調	189
政策30	施策①	財政運営の健全性確保	順調	193
		市民に分かりやすい財政情報の提供	順調	193
	施策②	公共施設等マネジメント推進事業	順調	193
		施策③	P P P（公民連携）手法の活用	順調
	I C Tガバナンスの推進		概ね順調	194
	市民サービス拠点の整備		順調	195
	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付の推進		概ね順調	195
	マイナンバーカードの取得促進		概ね順調	195
	施策④		適正な定員管理	順調
		人材育成による職員の資質向上	順調	196
		女性の活躍推進	順調	196
		職員のワークライフバランスの推進	概ね順調	197
	施策⑤	伝わりやすい市政情報の発信	概ね順調	197
		広聴機能の充実	概ね順調	198

取組実績報告

(分野別計画編)

政策 1 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
市内就業者数（人）	370,783(新) 362,044(旧) (H25)	378,631 (H27)	381,000(新) 374,000(旧) (H30)	↑	産業観光局
<p>景気の回復や様々な市経済施策の取組効果により、基準値から上昇傾向で推移していると考えられる。 ※指標となる市民経済計算の推計結果が大幅に遡及改訂されたため、H29年度取組実績から基準値及び目標値を修正。</p>					
開業率（%）	5.5	5.7	6.6	↑	産業観光局
<p>景気の回復や低金利による創業資金の調達しやすさといった経済情勢の下、創業セミナー等、創業支援機関の創業支援充実による創業マインドの醸成も相まって創業者が増え、開業率の増加につながっているものと考えられる。</p>					
企業立地・再投資件数（件）	8	30 (H28～29の合計)	75(新) 33(旧) (H28～32の合計)	↑	産業観光局
<p>企業ニーズをとらえて再投資・拠点強化促進奨励金制度を新設したこと、緩やかな景気の回復を背景として製造業の設備投資が好調であったこと、また様々な機会をとらえて効果的に企業誘致活動を実施し、中四国の交通結節点や自然災害の少なさなど立地環境の優位性を企業に周知できたことにより、数値が上昇したと考えられる。このように平成28、29年度で既に30件の企業立地件数を達成している状況を踏まえ、目標値を上方修正した。</p>					

総括

総合評価

施策① 強みと特性をいかした産業競争力の強化

- ・ヘルスケア関連産業等の創出・育成について、岡山ヘルスケア産業連携協議会の平成29年度末の会員数が134団体、ビジネスモデル創出のためのモデル事業補助金の採択が3件と一定の成果があった。今後は、引き続き、協議会会員の熟度や事業化のステージにあった支援を実施し、新産業の創出・育成を推進していく。（産業観光局）

施策② 中小企業・小規模企業の育成・支援と経営安定化

- ・岡山市製造業のうち、最も事業所数の多い食品製造業の新たな販路開拓のため、首都圏で開催される大規模な食品製造業見本市へ岡山市ブースを出展した。全国の有力なバイヤー等との活発な商談を行い、出展企業の評価も良好であった。また、ものづくり技術の発信支援として東京と大阪で開催された機械要素技術展へ岡山市ブースを出展し、全国の発注先企業と商談を重ね、新たな販路開拓の好機となった。今後も共同出展の成果を広く周知し、市施策への積極的な参加を促すとともに、新たな企業ニーズも取り込みながら販路開拓支援を推進する。（産業観光局）

- ・中小企業等の経営安定化に向けた取組については、各産業支援機関と情報交換・連携しつつ事業資金の調達支援や経営相談等を実施したほか、各種経営セミナーや人材育成研修の開催、設備投資や販路開拓、創業経費への補助を継続して実施した。今後は、平成 30 年度に施行した「岡山市小規模企業・中小企業振興条例」を踏まえた新規事業の検討を進めるなど、中小企業等の経営安定化や創業しやすい環境づくりに向けた各種取組をさらに推進していく。(産業観光局)
- ・商工会議所・商工会が実施する経営改善普及事業や地域総合振興事業を支援することで、市内小規模・中小企業の経営改善を図り、さらに地域の産業の健全な成長及び持続的な発展を促進する。(産業観光局)

施策③ 拠点性をいかした企業立地の推進

- ・企業立地については、立地件数が前年度と比較し 1.5 倍の 18 件と順調な結果であった。今後も引き続き、様々な機会をとらえ効果的に企業誘致活動を実施し、企業の立地を推進していく。(産業観光局)

施策④ 企業人材の確保と育成

- ・企業人材の確保については、新規学卒予定者等を中心に合同企業説明会等の開催や企業情報の発信支援等を実施しており、概ね順調に進捗しているが、今後も想定される市内企業の人手不足の解消に向けて、引き続き積極的な情報発信を行い、各種事業への参加者増を図り、さらには企業情報誌に働き方改革へ取り組む企業への取材記事を掲載するなど、市内企業の魅力が PR 出来る機会を増やすとともに、採用担当者向けセミナーを開催し、企業の人材確保スキルを向上させる支援を行っていく。また、勤労者サポートプラザへの会員加入促進については、従業員の福利厚生の向上に力を入れる企業の加入もあって会員が増えるなど順調に推移し、中小企業支援の目的を果たしており、今後も継続して支援を行っていく。(産業観光局)

主な事務事業

施策① 強みと特性をいかした産業競争力の強化

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
ヘルスケア産業 創出・育成事業 (産業観光局産 業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山ヘルスケア産業連携協議会」における異業種交流やビジネスマッチング等の活動を通じた新たな製品・サービスの開発及び事業化を図るために必要な異業種連携の促進、モデル事業への補助等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山ヘルスケア産業連携協議会（H30.3.31現在：会員数134団体、支援機関19団体）の協議会会員の熟度に応じたテーマ別熟度別セミナー4回開催、新規会員獲得のための啓発セミナー開催 ・岡山型ヘルスケアのビジネスモデル創出のためのモデル事業補助金 採択3件 ・国内外の見本市等に出展する際の出展経費の一部を支援する販路拡張支援事業補助金 採択2件 ・協議会会員の事業化の取組において寄り添って支援を行うハンズオン支援 支援4社 ・モデル事業事業者による活動報告会の開催 ・協議会会員の製品・サービスの実証を行うモニタリングの場を提供して事業化及び事業の拡大を支援するモニター実証支援 実施事業者1社 ・健康経営・ワークライフバランスに対して一定の取組を実施している市内企業に対して表彰を行う表彰制度表彰3社 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、異業種交流を促進することによる事業創出、モデル事業等の創出された事業を成功事例とするための販路拡張や事業改善に対する支援の充実、セミナー等を通じた成功事例の横展開を図るなど、協議会会員の熟度や事業化のステージに応じた的確な支援を行う。
		進捗状況	

施策② 中小企業・小規模企業の育成・支援と経営安定化

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)		今後の課題・方向性
ものづくり産業振興事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小ものづくり企業等を対象とした新商品の研究・試作開発費に対する補助や県外見本市等に出展する際の小間料等に対する補助 ・中小ものづくり企業等の受注機会の拡大を目的とした、新規取引先の開拓・販路拡大をめざした広域商談会の開催や大規模展示会等への出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡張助成事業費補助金 採択件数：53件 ・(新)食品製造業見本市共同出展 出展企業数：6社 商談件数：288件 ・(新)機械要素技術展(東京) 出展企業数：4社 商談件数：326件 ・関西機械要素技術展(大阪) 出展企業数：8社 商談件数：696件 ・広域商談会 参加企業数：29社 商談件数：108件 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、ものづくり企業等のニーズを踏まえた販路開拓支援を積極的に展開する。
		進捗状況	順調	
ものづくり産学官連携推進事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大インキュベータの入居者に対する賃料の補助 ・起業家やベンチャー企業が活躍しやすい環境づくりの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大インキュベータ入居状況(平成30年3月末現在) 25部屋入居/28部屋 家賃助成実績8件(29年度) ・アメリカのベンチャービジネス状況を紹介するシリコンバレーセミナーを県と合同で開催(H30.2.13) 		<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業者の研究成果の事業化状況を把握するとともに、事業展開の局面で必要な支援も行っていく。
		進捗状況	概ね順調	
ものづくり産業海外展開支援事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・OIBA(岡山県国際経済交流協会)、JETRO岡山(日本貿易振興機構岡山貿易情報センター)、岡山EU協会との連携による、中小ものづくり企業等の海外市場への販路拡大の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・各海外展開支援機関の運営費の一部を負担(OIBA、JETRO岡山、岡山EU協会) ・海外展開支援機関と協同で市内企業向けの海外展開支援を検討 		<ul style="list-style-type: none"> ・各海外展開支援機関と連携を図るとともに、海外展開を希望する企業のニーズを踏まえた新たな事業を検討する。
		進捗状況	順調	
中小企業の経営安定化事業(融資制度資金貸付、経営診断) (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の事業資金の調達支援や経営相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市中小企業融資制度事業：854件(新規融資件数) ・中小企業融資制度利子補給金事業 ・中小企業融資制度保証料補給金事業 ・マル経融資利子補給事業：503件 ・中小企業向け企業相談事業：4件 		<ul style="list-style-type: none"> ・国の法改正など、動向を踏まえ、融資制度の見直しについて検討を要する。
		進捗状況	概ね順調	

中小企業活性化事業・創業支援事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業を対象とした各種経営セミナーや人材育成研修の開催、設備投資・販路開拓に対する補助 ・創業に要する経費への補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向け経営等セミナー事業：4回 ・中小企業向け人材育成事業：4回 ・中小企業支援事業：22件（機械設備投資）／13件（情報発信） ・創業者支援事業：19件 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業開始から一定程度経過していることから、既存事業について、見直しを図り、必要に応じて新規事業を検討する。
		進捗状況	概ね順調	
商業団体等助成事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所、各商工会が行う経営改善普及事業等に対する補助 	【商工会議所商工会経営改善事業補助金】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内1商工会議所及び4商工会が実施する経営改善事業等に対して補助を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・商店会連合会補助金について、事業成果を確認しながら、適切な活用を促していく。
		進捗状況	順調	

施策③ 拠点性をいかした企業立地の推進				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性	
企業立地推進事業 (産業観光局産業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・本社や本社機能、中四国支店等の広域的営業拠点を立地する企業への助成 ・市内本社企業の本社機能拡充への助成 ・製造工場やコールセンター等を立地する企業への助成 ・市内既存工場等の再投資及び拠点強化への助成 	【企業立地の状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・立地件数 18 件（本社・中四国支店等 6 件、工場等 8 件、再投資 4 件） ・新規常用雇用者数 359 人 【企業誘致活動の状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問 272 件（うち県外 22 件） ・企業アンケート調査 3,109 件 【国への規制緩和要望等の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・高速道路 I C 周辺等の交通アクセス性に優れた場所において、産業振興に資する土地利用を図るため農振法の規制緩和を求めて、「国への政策提言・要望」活動といった様々な機会を活用し、国への要望を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問やアンケート等を定期的 to 実施し、企業ニーズを的確に把握することで、制度の新設、拡充等を適宜行う必要がある。
		進捗状況	順調	

空港南産業団地 整備事業 (産業観光局産 業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山空港から南へ4kmに位置する未利用県有地である元第2リサーチパーク用地を活用した、岡山県との共同による企業誘致のための産業団地の整備(平成30年度分譲開始予定) ・平成27年5月に市県で締結した「空港南産業団地の開発に伴う協定書」に基づき、市県で役割分担して団地整備事業を実施 ・団地区域外における汚水管理設工事(汚水管理設 L=845m) ・団地区域外における配水池やポンプ場といった上水道施設を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は、団地区域内において県施工事業と並行して市施工事業が始まることから、関係部署間で綿密な事業調整が必要である。また、平成30年度中の分譲開始に向け、企業選定の公募要件やスケジュール等について県と調整する必要がある。

施策④ 企業人材の確保と育成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
<p>雇用対策等事業 (産業観光局産業振興・雇用推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催、若年求職者への市内企業での就業体験機会の提供等 ・市内企業の企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への提供による情報発信支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者等合同企業説明会等の開催 10/11 就活フェスタ秋の陣 (参加求職者数 74 人) ・U I J ターンを意識した合同企業説明会の開催 8/4, 5 岡山に合説あり。夏の陣 (参加求職者数 303 人) ・就業体験先を決めるための合同企業説明会を開催後、マッチングされた企業と求職者で就業体験を実施 8/10 ジョブマッチング (参加求職者数 83 人、内就業体験者数 48 人) ・182 社の企業情報を掲載した企業情報冊子を 5,000 部作成し、県内県外大学、関係機関等へ配布 ・人事担当者向けセミナー等の開催 1/10, 16 スキルアップセミナー (参加企業数 58 社) 個別訪問指導の実施 (参加企業 5 社) ・マザーズハローワーク出張相談を岡山ふれあいセンター等市内 6 カ所で開催 (参加者数計 64 人) ・中高生向け合同職場体験イベントの開催 8/22 参加事業所数 20 社、来場者数 216 人 (中高生、保護者、教員) ・保護者及び学生と地元企業との交流会の開催 1/28 保護者のための就活セミナー「親として知っておきたい「今」の就活」 (参加者数 75 人) 2/13, 16, 21, 23 学生と社会人との交流会「岡山ワクワク WORK Cafe」 (参加企業 16 社、参加者数 102 人) 	<p>・今後若手人材確保がより困難になることが想定され、事業対象者の範囲を拡大させることで市内企業の人材確保を推進する。</p>
		進捗状況	

勤労者サポート プラザ事業 (産業観光局産 業振興・雇用推 進課)	<ul style="list-style-type: none"> 市内中小企業を対象とした福利厚生事業を行う「岡山勤労者サポートプラザ」が実施する会員加入促進事業等に対する補助 	<ul style="list-style-type: none"> 「勤労者サポートプラザ」が実施する会員加入促進事業等への補助を実施 会員数 17,146人(H30.3.31時点) 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き会員の増加が課題と考えており、会員のニーズに沿った事業の展開をしていく。
		進捗状況	概ね順調	

政策2 魅力と賑わいのある中心市街地の創出

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
快適で賑わいのある都心づくりの満足度（％）	20.4	24.9	23 (H31)	↑	政策局
中心市街地での賑わい創出に向けた整備やイベントが実施されたことにより満足度が向上しているものと考えられる。					
中心市街地の歩行者通行量（人） 上段：平日 下段：休日	3,925 5,405	4,324 5,654	4,500 5,800	↑	産業観光局
地区ごとにばらつきはあるものの、大型商業施設オープンに伴う来街者の増加、中心市街地の定住人口の増加等を要因として、全体として歩行者通行量は増加傾向にある。					
JR岡山駅乗降客数（1日当たり）（万人）	13.2	13.4	14.3	↑	都市整備局
駅前広場整備、新駅設置、改札の新設などによる鉄道利用環境の改善によって、利用者が増加しているものと考えられる。					

総括

総合評価

施策① 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

- ・西川緑道公園内で毎月定期的に開催されているパフォーマー事業や沿道店舗と連携した市民主体の西川緑道公園筋歩行者天国の定期開催により、西川界隈の魅力や賑わい創出が図られている。また旭川を中心とした賑わいの拠点づくりについても国と連携しながら進めており、歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくりに向けて、さらなる魅力発信を行っていく。（都市整備局）

施策② 賑わいにつながる回遊性の向上

- ・県庁通りについては、セミナーやワークショップの開催により、賑わい創出に向けた県庁通りのポテンシャルや実現の可能性を関係者が共有し、まちづくりの気運も一層高まってきている。今後も、道路空間再編（一車線化）によるハード整備だけではなく、地元や沿道事業者との官民連携による取組により、民地を含めた一体的な道路空間の活用を目指す。
- ・平成24年度に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、自転車走行空間整備、駐輪場整備、ももちやりの運用、自転車ルールやマナーの啓発等に取り組んでおり、平成30年度は、引き続き事業を進捗させるとともに、計画の中間評価を行い、施策メニューの実施状況や数値目標の達成状況を確認し、今後に向け、目標や実施期間の見直しを行う。
- ・路面電車の岡山駅前広場への乗り入れについては、平成26年度より中心市街地活性化政策パッケージに位置づけて検討を進めており、平成27年度には、「経済性（事業効果）」、「利便性（乗換）」に優れる平面乗

り入れ案を市の計画案として提示した。平成 28 年度からは、乗り入れに伴う駅前広場のレイアウト案について関係者等と協議しながら検討を進め、平成 30 年 5 月 22 日にはレイアウト案が確定した。平成 30 年度は、岡山の顔としてふさわしい駅前広場のデザイン検討や、環境影響評価の手続き等を進めていく。(都市整備局)

施策③ 魅力的な商店街の振興

- ・商店街振興施策では、空き店舗対策や基盤整備事業の活用実績があり、引き続き商店街活性化に資する事業の活用促進を図っていく。また、商店会連合会へは、連合会の行う顧客誘致事業に対して支援を行った。引き続き商店街・商店会連合会の支援を継続するとともに、昨年度から開始した商業グループに対する補助など、商業振興施策の拡充を図っていく。(産業観光局)

施策④ 高次都市機能の充実・強化

- ・市街地再開発事業の促進については、現在、2 地区を補助金交付地区として事業を推進中であり、新たに 1 地区で都市計画の手続中である。その他 9 地区においても事業計画内容を検討中であり、順調に進捗している。今後も、高次都市機能の集積と利便性の高い居住空間を創出するため、地区権利者が組織する組合等に対して継続的に助言・指導等を行っていく。(都市整備局)

主な事務事業

施策① 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
西川魅力にぎわい創出事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・西川パフォーマー等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催 ・西川緑道公園筋（平和橋～桶屋橋南）における歩行者天国の定期開催化による賑わいづくり ・パークマネジメントによる西川緑道公園の魅力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・西川パフォーマー事業者と市が協働して、定期的に西川緑道公園でイベントを実施 <p>【西川パフォーマー事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定事業（パフォーマー主体）＝30 回実施 ・活用事業（市主体）＝3 回(5 日)実施 (公園内滞在者数：計 24,959 人) <p>【西川緑道公園筋歩行者天国実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6 月、7 月、10 月、1 月、3 月の計 5 回(5 日)開催 (ホコテン内滞在者数：計 8,641 人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・西川緑道公園筋歩行者天国に関しては、市民主体の実行委員会による安定した運営と、定期開催の定着化を図る。 ・各種事業の開催により、さらなる西川緑道公園界隈の魅力発信を行う。 ・西川緑道公園周辺へと賑わいを広げていくため、仕組みや運営方法を検討していく。
		進捗状況	

旭川かわまちづくり事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川さくらみちの整備や烏城公園（石山公園地区）の再整備等 市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 旭川さくらみち歩行空間整備工事（浜樋門から上流約 600m 区間） 旭川さくらみち桜並木の桜の更新（伐採 8 本、新植 1 本） みんなでつくる水辺フェス♪～岡山旭川 2018 の開催(10/22：荒天中止) 石山公園活用検討会の開催(3 回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> イベント実施時の利便性向上に向け、石山公園の再整備を進める。 市民や観光客が憩い、賑わいの拠点にもなるカフェの公募を実施する。
		進捗状況	

施策② 賑わいにつながる回遊性の向上			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
県庁通り歩いて 楽しい道路空間 創出事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 県庁通りにおける交通規制を伴う社会実験での賑わい創出の効果、歩行者や自動車交通等への影響等を検証した上で、の県庁通りの再構築に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 7 月 22 日 第 1 回県庁通りまちづくりセミナー 参加者：110 名 平成 29 年 11 月～平成 30 年 1 月 まちづくり勉強会 1 回 まちづくりワークショップ 2 回 平成 30 年 2 月 17 日 第 2 回県庁通りまちづくりセミナー 参加者：40 名 	<ul style="list-style-type: none"> 県庁通りの空間構成や魅力、賑わいづくりに関し、関係者と協議を行っており、出来る限り早い時期に協議をとりまとめ、最短で平成 32 年度の工事完成を目指す。 民間プレーヤーの発掘・育成、公共空間の使い方（ルール作り）や仕組みを検討していく。
		進捗状況	

自転車先進都市の推進 [一部再掲] (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 道路状況に応じた自転車走行空間の整備 放置自転車の解消に向けた駐輪場の整備や、放置禁止区域の指定・拡充・指導・啓発の実施 コミュニティサイクル「ももちやり」の利用促進等 	<ul style="list-style-type: none"> 桃太郎大通りにおける自転車走行空間整備 (L=824m) 市道本町柳町線, 市道本町表町線における自転車走行空間整備 (L=1,925m) 民間自転車等駐車場整備補助制度の継続運用 ももちやりの運用 (平均利用回転数 3.85 回/日台) 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車走行空間整備について、年次計画を立て、整備率を向上させる。 駐輪容量が不足している表町周辺への駐輪場整備を進める。 ももちやり導入後の事業評価を通し、現在の運営課題への対策も含め、持続可能な事業となる運営内容を検討する。 	進捗状況	順調
				進捗状況	概ね順調
まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れに向けた取組の推進 バスロケーションシステム等の案内情報の充実等 	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車の乗り入れに伴う岡山駅前広場のあり方について、公開会議を2回開催し、関係者等の意見を聴取 バスロケーションシステムを導入した事業者が1社増え、全7社のうち5社がシステムを導入 	<ul style="list-style-type: none"> 乗り入れに伴う駅前広場のレイアウトやデザイン案について、関係者等と協議しながら取りまとめていく。 バスロケーションシステムを導入していない事業者に対し、導入を働きかけていく。 	進捗状況	概ね順調
				進捗状況	概ね順調

施策③ 魅力的な商店街の振興					
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性		
商店街等地域商業の活動への支援 (産業観光局産業振興・雇用推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 商店街等が行う商店街活性化に向けた取組や、地域商業の活性化に向けた取組への支援 市内中心部の顧客吸引力や商業力等を計るために必要な各種調査の実施 商店会連合会が主催する魅力的なイベントの開催、調査研究事業等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客誘致事業として「備前岡山ええじゃないか」等の事業支援 小売商業振興対策事業として、まちづくり計画等策定事業1件、空き店舗対策事業2件、基盤整備事業1件、情報化対策事業1件に対し支援 地域商業グループ活動支援事業2件、大学生店舗応援事業4件に対し支援 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客誘致事業については継続実施していく。 地域商業活性化対策として、商業グループに対する補助や大学生店舗応援事業を継続実施していく 	進捗状況	概ね順調
				進捗状況	概ね順調

施策④ 高次都市機能の充実・強化

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
市街地再開発事業の促進 (都市整備局市街地整備課)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対する、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金の交付 市街地再開発事業等を検討する初動期の地区権利者が組織する研究会等の自主的なまちづくり活動への支援 	<p>【市街地再開発事業】 補助金交付地区</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山下一丁目1番地区 表町三丁目10番11番23番24番地区 <p>【市街地再開発等促進事業】 補助金交付地区</p> <ul style="list-style-type: none"> 表町三丁目15番地区 		<ul style="list-style-type: none"> 市街地再開発事業に対して助言・指導を行うと共に、事業の進捗状況を把握しながら、財源（国交付金）の確保に努めていく。 初動期の地区権利者が組織する研究会等の自主的なまちづくり活動を引き続き支援する。
		進捗状況	順調	
土地利用の適正誘導（高次都市機能の充実・強化）[一部再掲] (都市整備局都市計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 総合設計制度や高度利用地区等の容積率の割増制度を活用した民間開発の誘導 容積率のあり方や大街区化など土地の集約化、高度化、都市環境の改善を誘導する施策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 都心の容積率や新築動向などの調査分析を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 都心の土地の集約化、高度化、都市環境の改善を誘導する施策の検討を行う。
		進捗状況	順調	

政策3 多彩で活力ある農林水産業の振興

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
新規就農者数（人）	27	29	40	↑	産業観光局
農業次世代人材投資事業や就農相談等の就農支援の取組により増加している。					
担い手への農地集積率（％）	25.3	36.9	37.5	↑	産業観光局
機構集積協力金や担い手への規模拡大奨励金などの取組により、目標値に向けて着実に増加している。					
多面的機能制度取組面積（ha）	2,609	3,088	7,025	↑	産業観光局
地元への説明会を実施するなど制度の周知等の取組により、平成29年度は前年度から約135haの取組面積が増加している。					
岡山産の野菜・果物等の購入を意識している市民の割合（％）	56.4	60.5	65 (H31)	↑	産業観光局
「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」等の開催により、市民の地産地消への関心が高まったと考えられる。					

総括

総合評価
<p>施策① 意欲ある農業者による多様な生産の選択と拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山市就農サポートセンターを設置し、192人の相談を受け、各種就農相談や就農に関する支援補助金を実施することで新規就農者の確保に一定の効果をえた。また、国、県やJA等の関係機関と連携し、生産の拡大や農業所得の向上に資する近代化施設・機械等の導入が実施され生産性の向上につながった。生産者団体等と連携した市内産農産物のPRを引き続き行い販路拡大に努め、「儲かる農業」の実現に向け、これらの取組を推進していく。（産業観光局）
<p>施策② 生産基盤の整備と農村の再生・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 優良農地確保事業については、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、引き続き事業を行っていく。また、地元説明会を開催することにより、多面的機能支払交付金事業の取組面積が増加しており、今後も引き続き、取組面積の増加に努めていく。有害鳥獣対策については、平成28年度から予算を増額して対策を強化したことにより、イノシシの捕獲頭数がH27の2,672頭から、H28は3,154頭、H29は4,372頭に増加し

たほか、平成28年度に設立した岡山市鳥獣被害対策実施隊による、被害地区への環境整備や侵入防止柵に関する指導・助言、住宅地へ出没した際の緊急出動、専門講師によるイノシシ対策講演会などを行った。今後も農作物被害を防止するため引き続き事業を実施していく。(産業観光局)

施策③ 地産地消で市民が支え誇れる農業都市づくり

・「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」には約1万人が来場し、広く市民に岡山の農水畜産物の良さを紹介することができた。また、ブース出展に伴い、農業者と商工業者との異業種交流の促進が図られ、新たな取引が発生するなど、一定の成果を挙げた。都市と農村の交流推進については、市民農園、農業公園の情報発信など利用の促進を図るとともに、「地産地消バスツアー」を実施した。また、農業・農村資源調査の結果を基に、生産農家等への実地調査、ヒアリングのほか、岡山市在住の外国人によるモニターツアーを行った。引き続き、各地域の農業資源をいかした幅広い都市農村交流を図る必要がある。(産業観光局)

施策④ 森林の活用と水産業の振興

・森林の活用については、林道や森林公園の維持管理を行い、適正・良好な状態を図ることができた。水産業の振興については、ノリ養殖の安定生産・品質向上に向けた取組や、種苗放流、漁場環境保全の取組に対する支援を実施し、水産関係団体の後継者の育成など漁業経営の安定化を図ることができた。今後も引き続き、森林の活用と水産業の振興を推進していく。(産業観光局)

主な事務事業

施策① 意欲ある農業者による多様な生産の選択と拡大

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
農業の担い手の 確保・育成事業 (産業観光局農 林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 若手農業者モデル経営体の登録及び新規就農希望者への紹介 就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付 U I J ターン園芸農業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者数 29人 就農相談会 11回 農業体験研修 3件 若手農業者モデル経営体の登録 14経営体 奨励金給付 10件 U I J ターン園芸農業者の認定 1件 	<ul style="list-style-type: none"> 担い手の確保育成を図るため、就農に対するサポートや補助金の交付等を引き続き実施していく。今後も目標数値に向けて、引き続き事業を推進する。
		進捗状況	

<p>農業経営力向上 対策事業 (産業観光局農 林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援 ・園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援 ・担い手への農地集積に対する支援 ・農業者と企業の連携の支援 	<p>【経営所得安定対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の直接支払交付金申請者数 2,297 件 ・水田活用直接支払交付金申請者数 1,896 件 <p>【水田営農推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件、受益個数 29 戸、受益面積 5ha） <p>【園芸作物生産流通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 5 件、受益個数 370 戸、受益面積 119.13ha） <p>【畜産振興指導費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市畜産クラスター協議会による近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件） <p>【環境保全型農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 8 件、受益戸数 87 戸、受益面積 205.5ha） ・環境保全型農業直接支払交付金（件数 7 件、39ha） <p>【担い手の育成・確保の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積率 37.5%（目標） 平成 29 年度実績 36.9% <p>【次世代農業支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者と企業等それぞれの連携意向アンケート調査（連携に関心有；農業者 111 件、企業等 37 件） ・農業者向け企業等との連携にあたっての勉強会実施（2 回；延べ 48 名参加） ・農業者と企業等との連携相談会実施（4 回；農業者延べ 36 名、企業等延べ 26 社参加） ・農業者と企業等との個別マッチング（6 件成立、内 2 件モデル事業認定） 	<ul style="list-style-type: none"> ・国内の食市場が今後高齢化の進行や人口減少の本格化により縮小に向かう可能性がある中で、農業者の競争力をさらに高め、農業生産を継続していくため、「儲かる農業」の実現に向けた施策を推進していく。 ・農地の集積等により、農地荒廃に歯止めをかける。 ・担い手の確保や販路の拡大など経営力の強化をはじめとする農業が抱える課題の解消のため、企業等が農業者との連携等を図り、次世代の儲かる農業を目指すため、そのノウハウ等を活かした新たな取組を実現化することを支援する。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	

農産物販路拡大支援事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な食品見本市へ出展する農業者への補助 ・首都圏での地場農産物のPR活動 ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な食品の見本市への出展補助 8/23・24 東京（出展4社） 2/21・22 大阪（出展5社） ・市内産農産物の市内外でのPR 7/8・9 東京、千葉、神奈川での白桃とぶどうのPR 7/31 オーロラブラックパネル展 8/1・2 兵庫、大阪での白桃とぶどうのPR 等 ・農産物の研究・開発を支援（3団体） ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組（2件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知方法を工夫し、見本市への出店増につなげていく。 ・平成29年度は、ブランド化への取組支援制度の補助対象を拡大した。引き続き、農業者や農業団体の意向を踏まえ、より効果が期待できる内容を検討していく。

施策② 生産基盤の整備と農村の再生・強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
農業農村整備事業 (産業観光局農村整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の大区画化、排水改良、農業用施設の改修や補修・長寿命化対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した農業用施設等の改修用排水路及びため池、農道の改修など 389件 ・補修・長寿命化対策、補修計画の作成 排水機場の長寿命化対策 1件 機能保全計画作成 2件 ため池・排水機場の計画概要書作成 4件 ・管理の省力化、維持管理の軽減 樋門改良及び樋門電動化 38件 水路底張り工事及びスクリーン設置工事など 10件 ・農地の大区画化 吉田地区ほ場整備 1件（換地計画） 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業生産性の向上に資するほ場の大区画化や暗渠排水等による排水改良の推進等、地域要望に対する検討を行う。 ・農業用施設の長寿命化対策を推進する。

土地改良区等支援事業 (産業観光局農村整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な農業用施設の補修・維持管理を担う土地改良区や地域共同体等の組織、人材に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区等の組織、人材が適切に維持されるよう土地改良区への事務費等補助の交付 H29実績 21団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、土地改良区の組織、人材が適切に維持されるよう支援を継続するとともに、運営改善に取り組む土地改良区の支援等により組織の強化を図る。 ・農業水利土木員制度について、報酬改定を実施したが、周辺地域との格差が残っているため引き続き検討を行う。
優良農地確保事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農用地のかい廃の防止や保全、生産性の高い集団優良農地の確保に向け、農業振興地域整備計画に基づき、農用地等として利用すべき土地を農用地区域として設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・H29実績 13,929㎡ 優良農地の確保目標 H37年度 13,454.3㎡ 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業振興地域の整備に関する法律に基づき、引き続き事業を行っていく。
農村集落活性化事業 (産業観光農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度等の活用による水路の泥上げや農道の砂利補充等の農地維持に向けた地域の共同活動、及び中山間地域等における耕作放棄地の発生防止や農業生産活動の維持を図る取組に対する交付金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 【多面的制度】 ・61組織、3,088ha 【中山間制度】 ・51集落協定、1個別協定、329ha 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化や高齢化、担い手不足に伴う集落機能の低下の状況下の中で、農地の維持、農村環境・景観の向上に加え、集落機能の再生・強化を図り、農業振興及び地域活性化の中心となる地域のリーダーの育成・確保が課題である。

農作物被害対策事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ等有害鳥獣の駆除、駆除班活動への支援、侵入防止柵の整備推進 ・岡山市鳥獣被害対策実施隊による、農業者等に対する鳥獣被害防止のための啓発活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物鳥獣防止対策事業費補助金 電気柵 (18 か所、33,436m) ワイヤーメッシュ柵 (10 か所、10,523m) ・イノシシの捕獲 4,372 頭 ・捕獲柵設置補助 70 基 ・啓発活動 イノシシ対策講演会 1 回 出前講座 2 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣による農作物被害を防止するため、引き続き事業を実施していく。
	進捗状況	順調	

施策③ 地産地消で市民が支え誇れる農業都市づくり			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
地産地消推進事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消マルシェの開催や農業者と商工業者との異業種交流の促進 ・農業者と消費者の交流及び消費拡大に向けた地産地消バスツアー等の開催 ・市内産の米の消費拡大のための料理教室等の開催 ・小・中学校や老人クラブが中心となり実施する、地域での農業体験事業等の活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」開催。連携中枢都市圏自治体からのブース出展。農業者と飲食店のマッチング 来場者数 10,000 人 ・地産地消バスツアーの実施 年 4 回 ・スタンプラリー参加事業者数 20 事業所 ・米粉マップ掲載店舗 24 事業所 ・パネル展開催 (H29.10) ・米粉料理教室等 11 回開催 ・地域の老人クラブが主体となり、地域ぐるみで農産物の播種から収穫までの一連の作業を行う農業体験事業に係る経費の一部を補助 7 クラブ ・市内幼稚園、保育園、小中学校等が実施する農業体験学習の指導者に対する謝礼の一部を助成 92 校 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」の来場者数を増やす。農業者と飲食店のマッチングが継続取引につながるようにする。
進捗状況	概ね順調		

<p>都市農村交流施設・資源活用事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園（牧山ラインガルデン）や農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）を活用した都市農村交流の促進 ・農業・農村体験ができる施設等の地域資源をいかした農村観光の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 【牧山ラインガルデン】 ・総区画数 553 区画に対して、入園区画数 267 区画、利用率 48.3% 【岡山市サウスヴィレッジ】 ・跳ね橋の修繕、雨漏り修繕、利用者数 703 千人 【農業・農村体験】 ・農業・農村資源調査の実施 岡山市内の観光農園、農業系施設に対するヒアリング及び実地調査（市内 8 スポット） ・市内在住外国人向けモニターツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・牧山ラインガルデンについては、土地の賃貸借契約（H25.4.1～H35.3.31）終了時に合わせ、今後の施設のあり方について検討していく。また、施設修繕についても必要に応じて、順次修繕を行う。 ・岡山市サウスヴィレッジについては、施設の利用状況を見ながら、指定管理の更新時（平成 33 年度）に今後の施設のあり方について検討していく。また、施設修繕についても必要に応じて、順次修繕を行う。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	
<p>市場活性化事業 (市場事業部・市場事業部)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民イチバデーや夏休み親子市場勉強会、いちば大学、黄ニラ祭りなど、市場関係者等による食育や販売促進の一環として市場内で開催されるイベント等での旬の食材の試食・食べ比べによる岡山産食材の紹介及び魅力発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民イチバデー 6/18(日)試食(ブドウ、アサリ)各 300 食 ・夏休み親子市場勉強会 8/19(土) 参加人数 97 人 ・いちば大学 9/9(土) 参加人数 26 人 12/2(土) 参加人数 40 人 ・黄ニラ祭り 2/9(金)試食(黄ニラスープ)212 食 ・イチゴの食べ比べ 3/10(土)イチゴ 5 種類各 340 食 ・市場感謝デー 10/22(日) 来場者約 25,000 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで多様な世代が楽しめるイベントとなるようにするとともに、従来からの名産品に限らず様々な地元産品の PR に努めていく。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	

施策④ 森林の活用と水産業の振興

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)		今後の課題・方向性
林業振興事業 (産業観光局農 林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・林業者の移動・運搬道路及び地域住民の生活道路の保全を目的とした林道の維持管理 ・市民に憩いとレクリエーションの場を提供する森林公園の維持管理 ・森林整備地域活動支援交付金等を活用した、森林境界の確認や作業道改善への補助 	<ul style="list-style-type: none"> 【林道の維持管理】 ・草刈りの実施 ・台風による崩土撤去や倒木撤去の実施 【森林公園の維持管理】 ・市内3ヶ所の森林公園(たけべの森、瀬戸町森林公園、貝殻山市民憩いの森) ・遊歩道の草刈り等の実施 【森林整備地域活動支援交付金】 ・施業の集約化90haの実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・林業者や周辺住民の移動・運搬道路として、林道の適切な維持管理に努める。 ・市民の憩いとレクリエーションの場としての利用促進のため、市内3か所の森林公園の適切な維持管理に努める。
	進捗状況	概ね順調		
水産業振興事業 (産業観光局農 林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖の安定した生産と品質向上に向けた高性能な機械・設備の導入への支援 ・漁業資源、漁獲量の回復を目的とした種苗放流や漁場環境の保全活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・漁家経営の安定を図るため、水産関係団体へ事業助成を実施(4漁協、1連合会) ・漁業後継者グループの育成と水産業の持続的な振興のため助成を実施(4漁協) ・種苗放流 ヨシエビ 195kg アユ 1,040kg モロコ 177kg フナ 852kg 		<ul style="list-style-type: none"> ・水産関係団体や漁業後継者グループへの助成を継続し、漁業経営の安定化を図る。 ・種苗放流を継続して実施し、漁業資源の回復と漁獲量の安定化を図る。
	進捗状況	概ね順調		

政策4 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
観光入込客数（千人）	7,577	7,630	9,487	↗	産業観光局
デスティネーションキャンペーンによる効果と外国人旅行者の増加に伴い基準値から上昇している。					
コンベンション参加者数（人）	152,296	185,339	207,000	↗	産業観光局
平成29年度は全国規模の大会や教育・産業分野の会議の開催が増え、コンベンションの開催件数はこれまで最高だったことから基準値から上昇している。					
転入超過者数（人）	883 ※過去10年間 (H17～26)の平均	231	1,000	↘	市民協働局
移住希望者を対象に移住相談会や移住下見ツアーなどを継続して実施しているが、平成29年の転入超過者数は基準値より減少している。					

総括

総合評価

施策① 広域的な観光・インバウンドの推進

・国内観光では、岡山城と岡山後楽園の連携イベントの実施等により、両施設の入場者数は増加し、また、おかやま桃太郎まつり等の各種イベントを開催し、岡山の魅力を国内外に発信した。引き続き、岡山城・岡山後楽園の連携事業を展開して誘客促進を図るとともに、平成30年度に岡山県が実施するフルーツをメインテーマとした観光キャンペーンとの協働により、滞在型観光へとつなげていく。インバウンドでは、継続的なプロモーションにより岡山市の認知度が向上したことで、ゴールデンルートから延伸する観光客が増加し、台湾については相次ぐ直行便の増便により個人旅行客が増加した。また、連携中枢都市圏内の真庭市・吉備中央町と連携した「岡山型ヘルスツーリズム拠点化事業」では、ムスリム観光客をターゲットに、マレーシア・インドネシアでの現地プロモーションや現地メディア招請等の実施により、マレーシアから初めて教育旅行の誘致を行うなど一定の成果があったが、さらなる誘客促進のため現地への効果的なアプローチとムスリムを始めたとした外国人観光客の受入体制整備を行っていく必要がある。（産業観光局）

施策② 産官学連携によるコンベンションの誘致

・鉄道路線の利便性・優位性等を活かし、コンベンション開催補助拡充のPRやコンベンションの地元主催者との関係強化の取組等を実施したことに加え、平成29年度は全国規模の大会や教育・産業分野の会議の開催が増えたことから、国際会議等を含めたコンベンションは過去最高となり、参加者数も増加傾向にある。今後も産官学連携により、国際会議等を含めた積極的なコンベンション誘致を行っていく。（産業観光局）

局)

施策③ 戦略的なプロモーションによる都市ブランドの確立

・シティプロモーションにおいては、桃太郎のまち岡山創造・発信事業で、本市出身の女優:桜井日奈子さんを起用したプロモーション動画が公開 3 ヶ月で再生回数 100 万回を超え、市民からも好感をもって受け入れられたことから、市内外において「桃太郎のまち 岡山」の認知度や好感度の向上に繋がった。また、「未来へ躍動する桃太郎のまち岡山」のイメージ戦略として、桃太郎のまち岡山 Facebook 運営やロゴマークの活用促進を図るとともに、古代吉備の遺産群を舞台とした桃太郎伝説の日本遺産登録を目指し文化庁や関係機関と協議を継続した。

今後も、「桃太郎」を都市イメージとして積極的に情報発信するとともに、平成 30 年度に認定された日本遺産の活用を推進することにより、「桃太郎のまち岡山」としての魅力を手感できる観光素材の充実を図ることで、本市の都市ブランドの確立を目指していく。(産業観光局、市長公室)

施策④ 移住・定住の促進

・県内に対しては、常に転入超過で推移する中、県外に対しても、東日本大震災の影響により、一時的に大幅な転入超過者数となったが、次第にその動きも弱まっている。移住・定住支援策として実施している移住相談会、移住下見ツアーとも参加者から好評を得ているが、移住相談件数については減少傾向にある。今後も移住相談会や移住下見ツアーと併せて住まいの確保や就職・転職に向けた支援等を継続的に実施していく。また、「おかやまぐらし移住の窓口」を開設するなど、岡山連携中枢都市圏の自治体が協力した取組を始めたところであり、今後も状況を見ながら事業の拡充・見直しを行っていく。(市民協働局)

主な事務事業

施策① 広域的な観光・インパウンドの推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
観光資源の魅力アップ事業 (産業観光局観光振興課、プロモーション・MICE推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城と岡山後楽園との連携による烏城灯源郷と幻想庭園との同時開催等による、宿泊客の増加や滞在時間の延長の促進 倉敷市等他都市との連携を通じた吉備路をはじめとする広域周遊観光の促進 瀬戸内海沿岸の他都市等と連携した情報発信や、岡山をベース宿泊地とする広域周遊観光等の促進 「備前池田家」や「古代吉備の国」等、岡山連携中枢都市圏における共通のテーマに基づいた歴史・文化資源の収集及びストーリー化、情報発信等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力の向上 地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民謡の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山後楽園との連携による事業の広報・実施 岡山城入場者数 359,356 人 (対前年度 2.6% (350,324 人)の増) うち外国人 63,678 人 (対前年度 42.8% (44,594 人)の増) 各種メディア・雑誌等へ広域なエリアで連携した情報発信による観光客誘致 瀬戸内 4 県都市長会事業として、4 都市がタイの旅行会社やブロガーの招請ツアーを実施 おかやま連携中枢都市圏内の広域周遊観光の促進のため、作家「あさのあつこ」監修による短編集を制作 (3,000 部) 短編集完成記念対談イベントによる情報発信を実施 短編集に登場するスポットを巡るモニターツアー実施 郷土芸能補助 6 件 郷土民踊普及補助 総指導回数 55 件 		<ul style="list-style-type: none"> 岡山城や岡山後楽園、吉備路など既存の観光地をはじめ、連携中枢都市圏域内における歴史文化資源をストーリー化し、情報発信することにより、岡山市固有の観光資源や宿泊地としての魅力向上を図り、滞在型観光の推進に繋げる。平成 30 年度に認定された日本遺産の整備・活用や、国内外への情報発信により、地域の活性化を図る。
		進捗状況	概ね順調	
岡山まつり開催事業 (産業観光局観光振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 夏の花火やうらじゃに代表されるおかやま桃太郎まつり、国の重要無形民俗文化財に指定された西大寺会陽など、岡山らしさを味わえるまつりや滞在を促すイベントの充実等を通じた岡山の魅力の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 各種まつり (イベント) の実施 第 17 回おかやま桃太郎まつり うらじゃ・花火大会 来場者数 88 万人 秋のおかやま桃太郎まつり 来場者数 16.3 万人 西大寺会陽・会陽冬花火 はだか約 1 万人 来場者約 3.3 万人 		<ul style="list-style-type: none"> 岡山らしさを味わえるまつりを継続実施し、幅広く情報発信することにより岡山の顔となるまつりの位置づけを目指す。
		進捗状況	順調	

<p>観光施設の活用事業 (産業観光局観光振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城天守閣をはじめとした市内各地の観光施設等の適切な維持管理や有効活用、市内各地の歴史・文化資源の統一看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置等による観光客の満足度向上につながる受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の「岡山城天守閣等のある方検討調査」を踏まえて、ハード・ソフト両面から必要な見直しを行うための実証実験事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> 特別展示「EMAKI 秀家伝」ほか 来場者 61,801人 (10/7~11/30) 不明門の活用 ワークショップ 計65人参加 3回 (8/19・8/23・8/26) 歴史講座 参加者数計174人 3回 (10/14・11/19・12/16) 岡山城座談会 参加者数計59人 (有識者からの意見聴取) 観光客受入体制整備のため、岡山の観光地を紹介した看板の設置 岡山歴史のまちしるべ 設置場所・設置数 高松エリア8基 	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験で評価の高かった岡山のシンボルである岡山城ならではの歴史・人物などをコンセプトとする空間演出を常設展示化するとともに、引き続き、検討調査や実証実験を踏まえ、岡山城の魅力アップに繋がる活用方法を見出す。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	
<p>おかやま観光情報発信事業(インバウンド推進) (産業観光局プロモーション・MICE推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 真庭市、吉備中央町との共同による東南アジア方面からのムスリム(イスラム教徒)観光客の受入体制の整備 岡山連携中枢都市圏での「岡山型ヘルスツーリズム」体験メニュー等の周遊観光パッケージ化及び育成・PR 外国人団体旅行客への宿泊費の助成 	<ul style="list-style-type: none"> 【ムスリム観光客の受入体制整備】 受入体制整備として、飲食店等に対するハラール対応セミナーの実施(全2回) ピーチマーク取得店舗(10店舗増) 個別指導 15施設 ムスリムツアーガイドの養成講座(全4回) 【周遊観光パッケージ化、育成・PR】 ガイドブックの作成 専用HPの配信・運営 マレーシア・インドネシア現地プロモーション・農業・農村等観光資源調査の実施(観光メニュー化に向けたヒアリング及び実地調査) 郷土芸能・日本文化、軽スポーツ等観光メニュー化(7件) 【外国人団体旅行客への宿泊費助成】 宿泊助成 159件 	<ul style="list-style-type: none"> 滞在型観光の実現に向けて、観光施設や飲食店との協働による受入れ体制整備、ピーチマーク取得店舗の増加及び認知度の向上、ムスリムツアーガイドの指導育成の充実に取り組み、ムスリム観光客をはじめとしたインバウンドの誘客促進に繋げる。 マレーシア・インドネシア両国における知名度が低いいため、継続的なプロモーションによる情報発信を行う。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	

施策② 産官学連携によるコンベンションの誘致

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
コンベンション 誘致対策事業 (産業観光局プロモーション・MICE 推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション開催補助金の交付（国際会議加算、託児サービスを含む）をはじめとする各種コンベンション開催支援 ・情報収集、セミナーの開催、主催へのセールス等の誘致活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション開催補助金 <p>開催件数 353 件 参加者数 185,339 人 補助件数 152 件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議の主催者となるキーパーソンとの関係強化等を図り、国際会議の積極的な誘致を行う。また、教育分野や学術・スポーツ大会等に対して、きめ細やかな支援体制により誘致・開催支援を行う。
		進捗状況	

施策③ 戦略的なプロモーションによる都市ブランドの確立

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
都市イメージの 発信 (市長公室広報広聴課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページや「桃太郎のまち岡山」Facebook を活用した情報発信、市が実施するイベントや事業への「桃太郎のまち岡山」のネーミング・ロゴ・イメージキャラクターの活用等、全庁的な取組による都市イメージの発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎のまち岡山 Facebook の運営 Facebook いいね数：9,800 ・桃太郎のまち岡山のロゴマーク・フレーズの活用を推進 ロゴマーク利用数：65（庁内外合計） ・「桃太郎のまち岡山」の都市イメージを発信するPR動画（菅井竜也王位出演）作成 再生回数：約 30,000 回 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの活用やフレーズ・ロゴマークの一層の活用等により、「桃太郎のまち」としての認知度向上を図る。 ・産業観光局と連携してプロモーションしていく必要がある。
		進捗状況	

おかやま観光情報発信事業（シテプロモーション） （産業観光局プロモーション・M I C E 推進課）	<ul style="list-style-type: none"> ・「桃太郎」をテーマとしたイベントの開催や土産物等の観光素材の創出による観光客が楽しむことができる観光地づくりの推進 ・岡山連携中枢都市圏での「岡山型ヘルスツーリズム」体験メニュー等の周遊観光パッケージ化及び育成・PR 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎伝説創造発信事業 「鬼カワイイ岡山市」PR動画の配信 期間：平成29年10月7日～ 場所：動画配信サイト（YouTube） 再生回数：1,101,733回 ※平成30年4月25日現在 ・桃太郎の日セレモニー 来場者数：1,000人 ・桃太郎大通りイベント「鬼カワ街歩きのススメ」 場所：市内飲食店27店舗 期間：平成29年10月7日（土）～11月30日（木） ・桃太郎伝説の地 吉備路周遊モニターバスツアー 期間：平成29年10月1日（日）～11月26日（日） 参加数：420人 ・郷土芸能等7件を新たに観光メニュー化 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜井日奈子を起用したPR動画の発信力が高く、市の認知度向上に効果があったことから、引き続き、桜井日奈子を起用したPR動画による情報発信に取り組みつつ、本市を訪れる観光客の満足度や話題性を高める観光素材の充実を図ることにより、都市ブランドの確立を目指す。
	進捗状況	概ね順調	

施策④ 移住・定住の促進			
事務事業名 （担当部局）	事業概要	取組実績 （H29年度）	今後の課題・方向性
移住・定住の促進 （市民協働局移住定住支援室）	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山市移住・定住支援協議会」を中心とした、岡山県や岡山連携中枢都市圏の市町等との協力による東京での移住相談会やセミナーイベント、移住下見ツアーの開催 ・移住支援専用ウェブサイトやFacebook等の内容の充実、「おかやまぐらし移住の窓口」を活用した、岡山市をはじめとする岡山連携中枢都市圏の市町の移住支援情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京での移住相談会・セミナー開催 4回（来場者数341人） ・移住下見ツアー開催 3回（参加者数20組56人） ・「お試し住宅」利用世帯 13世帯 ・移住支援専用ウェブサイトページビュー数 29,009回/月 ・移住相談件数 （本庁） 217件 （東京） 101件 ・メルマガ登録者数 1,701人 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山連携中枢都市圏の市町等と合同で、移住相談会や移住下見ツアーなどの取組を進めるとともに、「おかやまぐらし移住の窓口」を活用し、情報発信や相談体制の充実を図る。
	進捗状況	概ね順調	

政策5 周辺地域の拠点機能の充実と活性化

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
都市としての便利さと自然の豊かさとの調和の満足度（％）	30.8	31.3	32 (H31)	↑	都市整備局
都心での市街地再開発事業、大型店舗、病院、マンション等の活発な民間開発や、岡山操車場跡地での整備が進行するなど、都市としての便利さが向上していると考えられる。					
人口集中地区（D I D）人口密度（人／ha）	60	-	61	-	都市整備局

総括

総合評価

施策① 活力ある拠点の形成と適正な土地利用の推進

- ・岡山西部総合公園（仮称）整備事業については、隣接する民間導入施設の整備とも調整しながら、平成34年度の完成に向けて整備を進めていく。また、北長瀬みずほ住座再生事業については順調に進捗している。（都市整備局）

施策② 周辺地域の活性化と交流の促進

- ・中山間・周辺地域活性化支援事業については、モデル地域において地域と協議を進め、地域が主体となった体制づくりや課題解決に向けた活動への支援に繋げることができた。また、地域おこし協力隊については、導入対象地域を拡大し、2地域において平成30年度からの採用決定となり、概ね順調に進捗している。（政策局）
- ・地域が行う農地や農業用施設等の維持管理等の共同活動が適切に行われるよう、地元説明会を開催し、多面的機能支払交付金事業の取組面積が増加した。「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」には約1万人が来場し、広く市民に岡山の農水畜産物の良さを紹介することができた。また、ブース出展に伴い、農業者と商工業者との異業種交流の促進が図られ、新たな取引が発生するなど、一定の成果を挙げた。都市と農村の交流推進については、市民農園、農業公園の情報発信など利用の促進を図るとともに、「地産地消バスツアー」を実施した。また、農業・農村資源調査の結果を基に、生産農家等への実地調査、ヒアリングのほか、岡山市在住の外国人によるモニターツアーを行った。引き続き、各地域の農業資源をいかした幅広い都市農村交流を図る必要がある。（産業観光局）

主な事務事業

施策① 活力ある拠点の形成と適正な土地利用の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
土地利用の適正 誘導 (都市整備局都 市計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画法、農地法等の適正な執行及び都市計画マスタープランに基づく計画的な土地利用の推進 立地適正化計画制度を活用するなど、公共交通施策等の関連施策と連携した、コンパクトでネットワーク化された都市づくりの推進 	都市計画マスタープランの改訂、立地適正化計画の策定に向けた検討		市民等との合意形成を図りながら、都市計画マスタープラン等の策定手続きを進める。
		進捗状況	順調	
岡山操車場跡地 整備事業(健康・ 医療・福祉系施 設導入区域) (保健福祉局医 療政策推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 健康・医療の充実や賑わい創出に向けた施設整備・運営を行う民間事業者への定期借地方式による土地の有償貸付け 	優先交渉権者との契約締結に向け、事業調整・協議を行い、平成30年1月に定期借地権契約を締結。同3月に事業者により起工式実施		平成 30 年度末オープンに向け、市の方針に沿って事業が展開されているか、事業者と継続して協議を行っていく。
		進捗状況	順調	
岡山西部総合公 園(仮称)整備 事業 (都市整備局庭 園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場、芝生広場、見晴らしの丘等の配置による健康増進及び賑わい創出に資する緑あふれる総合公園としての整備 防災公園(広域避難場所、地域防災拠点)としての機能の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 用地購入 A=1.4ha 多目的広場整備 A=1.3ha 多目的広場周辺整備 A=1.5ha 		<ul style="list-style-type: none"> 既存施設を供用しながらの整備であるため、イベント等との利用調整が必要である。 隣接する民間導入施設と、境界部分の施工時期や意匠等の調整が必要である。
		進捗状況	概ね順調	
岡山操車場跡地 整備事業(市営 住宅・社会福祉 施設導入区域) (都市整備局住 宅課)	<ul style="list-style-type: none"> 北長瀬みずほ住座の建替え、子育て支援・高齢者支援の福祉施設等の併設 	<ul style="list-style-type: none"> 建替え事業者決定(積水ハウス、中国建設工業、綜企画設計、不二ビルサービス、岡山千鳥福祉会) 民設民営で保育施設を併設 		平成 32 年度の完成を目指す。
		進捗状況	順調	

北長瀬駅北土地 区画整理事業 (仮称) (都市整備局市 街地整備課)	・市施行による土地区画整理事業の推進	・地域の方々と土地区画整理事業につ いての協議を実施	・地域の方々とまち づくりについて、 継続して協議を 進めていく。

施策② 周辺地域の活性化と交流の促進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
中山間・周辺地 域活性化支援事 業 (政策局事業政 策課)	・地域の課題解決に向けた地域 住民自らの手による活動に対 する支援	・モデル地域（北区御津宇甘西地域、 東区犬島、南区小串地域）において 体制づくりのワークショップの実施 や課題解決に対する支援を実施 ・地域の担い手育成を目的とした講演 会を実施	・地域の担い手育成 に合わせて、課題 解決を目的とし た活動に対して 支援を行う。
地域おこし協力 隊事業 (政策局事業政 策課、北区役所 総務・地域振興 課)	・主に中山間地域等への地域外 の人材の誘致及び地域住民と の協力による地域活性化の促 進	【御津・建部地域】 ・建部地区に1名採用 ・配置隊員数：御津2名、建部3名 ・活動内容：地域住民グループ等への 支援や休耕地を活用した農作物栽 培、農産加工品の販売、地域情報の 発信などの地域振興活動 【導入拡大地域】 ・制度の説明会を開催し、導入希望の あった地域の内、受け入れ態勢が整 った地域について募集した結果、牧 山地区2名、千種学区1名の平成30 年4月1日採用を決定	・引き続き受け入れ 態勢が整った地 域から募集を開 始する。

農村集落活性化事業【再掲】 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度等の活用による水路の泥上げや農道の砂利補充等の農地維持に向けた地域の共同活動、及び中山間地域等における耕作放棄地の発生防止や農業生産活動の維持を図る取組に対する交付金の交付 	【多面的制度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 61 組織、3,088ha 【中山間制度】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 51 集落協定、1 個別協定、329ha 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎化や高齢化、担い手不足に伴う集落機能の低下の状況下の中で、農地の維持、農村環境・景観の向上に加え、集落機能の再生・強化を図り、農業振興及び地域活性化の中心となる地域のリーダーの育成・確保が課題である。
		進捗状況	概ね順調	
地産地消推進事業（農業者と消費者等の交流促進）【一部再掲】 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地産地消マルシェの開催や農業者と商工業者との異業種交流の促進 ・ 農業者と消費者の交流及び消費拡大に向けた地産地消バスツアー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」の開催。連携中枢都市圏自治体からのブース出展。農業者と飲食店のマッチング 来場者数 10,000 人 ・ 地産地消バスツアーを実施 年 4 回開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おかやま秋の収穫祭 地産地消マルシェ」の来場者数を増やす。農業者と飲食店のマッチングが継続取引につながるようにする。
		進捗状況	概ね順調	

<p>都市農村交流施設・資源活用事業【再掲】 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民農園（牧山ラインガルテン）や農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）を活用した都市農村交流の促進 ・農業・農村体験ができる施設等の地域資源をいかした農村観光の促進 	<p>【牧山ラインガルデン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総区画数 553 区画に対して、入園区画数 267 区画、利用率 48.3% <p>【岡山市サウスヴィレッジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跳ね橋の修繕、雨漏り修繕、利用者数 703 千人 <p>【農業・農村体験】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業・農村資源調査の実施 岡山市内の観光農園、農業系施設に対するヒアリング及び実地調査（市内 8 スポット） ・市内在住外国人向けモニターツアー 	<ul style="list-style-type: none"> ・牧山ラインガルデンについては、土地の賃貸借契約（H25.4.1～H35.3.31）終了時に合わせ、今後の施設のあり方について検討していく。また、施設修繕についても必要に応じて、順次修繕を行う。 ・岡山市サウスヴィレッジについては、施設の利用状況を見ながら、指定管理の更新時（平成 33 年度）に今後の施設のあり方について検討していく。また、施設修繕についても必要に応じて、順次修繕を行う。
		進捗状況	概ね順調

政策6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
J R市内全駅乗車数（1日当たり）（万人）	10.9	11.4	11.7	↗	都市整備局
駅前広場整備、新駅設置、改札の新設などによる鉄道利用環境の改善によって利用者が増加しているものと考えられる。					
主要バス路線利用者数（1日当たり）（人）	31,500	31,810	31,500	↗	都市整備局
高齢化や観光需要の増加といった社会情勢の変化や、ノンステップバスの導入、わかりやすい運行情報の提供などの利用環境改善により利用者数を維持している。					
生活交通導入地区数（試行運転開始地区を含む）（地区）	-	1	4	↗	都市整備局
高齢化による自動車免許返納やバス路線の衰退により日常生活に必要な異動手段を失う人が増えており、実績値は昨年度から横ばいだが、生活交通導入に取り組む意向を持つ地域が増えつつある。					
自転車利用環境の整備に対する満足度（％）	15.5	20.2	22 (H31)	↗	都市整備局
自転車の走行空間や自転車駐車場の整備、放置禁止区域の拡大、ももちやりの運用などの実施によって、満足度が高まってきているものと考えられる。					
主要渋滞箇所数（箇所）	42	42	39	→	都市整備局
現状では、主要渋滞箇所の改良事業が完了した箇所が無いことから、基準値及び前年度実績値に対し横ばいとなっている。					

総括

総合評価

施策① 公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築

・公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築に向けて、各種施策を展開している。鉄道については、駅前広場等の交通結節点強化による利用環境の改善に取り組んできたこともあり、J R市内駅乗車数（1日当たり）は順調に増加している。バスについては、サイクル&バスライド駐輪場の整備、バスロケーションシステム等の案内情報の充実等による利用環境の改善に取り組んでいる。また、公共交通マップの配布、マイカー利用自粛の呼びかけ、小学生を対象としたバス教室などのソフト施策について継続的に取り組んでいる。さらに、吉備線L R T化や路面電車の岡山駅前広場への乗り入れといった計画、超小型モビリティの導入可能性についての検討を行っており、引き続き公共交通利用環境改善に向けた取組を進めていく。（都市整備局）

施策② 地域における生活交通の確保

・地域における生活交通を確保するため、既存の生活交通については、地元検討組織と一緒に運行計画改善

を図るとともに、新たな生活交通の導入に向けては、地元検討組織と一緒に導入検討や試験運行を実施するなど、着実に取組を進めている。(都市整備局)

施策③ 自転車先進都市の推進

・平成 24 年度に策定した「自転車先進都市おかやま実行戦略」に基づき、自転車走行空間整備、駐輪場整備、ももちやりの運用、自転車ルールやマナーの啓発、サイクリングロード整備等に取り組んだ。平成 30 年度は、引き続き事業を進捗させるとともに、計画の中間評価を行い、施策メニューの実施状況や数値目標の達成状況を確認し、今後に向け、目標や実施期間の見直しを行う。(都市整備局)

施策④ 道路ネットワークの充実・強化

・広域交通網の整備をはじめ、外環状道路、中環状道路、生活道路の整備は概ね順調に進んでおり、今後も主要渋滞箇所の解消に向けて各道路の整備を着実に進めていく。(都市整備局)

主な事務事業

施策① 公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
新たな総合交通 計画策定及び地 域公共交通網形 成計画策定 (都市整備局交 通政策課)	・公共交通を中心とした利便性の高い交通ネットワークの構築を目指して、その具体の将来像を定め、実現化のための方策を示す岡山市総合交通計画(仮称)を策定	・学識や住民など関係者からなる「総合交通計画策定調査検討会」の「作業部会」を 3 回開催し、交通体系の将来像や実現化方策、評価指標について検討		<ul style="list-style-type: none"> ・新たな総合交通計画は、平成 30 年度上半期での策定を目指して、検討会を開催し取りまとめを進める。 ・地域公共交通網形成計画は、平成 30 年度に 5 回程度の協議会を開催し検討を進める。
		進捗状況	概ね順調	
鉄道の利用環境 改善 (都市整備局交 通政策課)	・吉備線 L R T 化の検討や駅前広場等の交通結節点強化による鉄道利用環境の改善	・平成 30 年 4 月 4 日に、岡山市、総社市、J R 西日本の 3 者で、役割分担、費用負担の考え方について合意		<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市、総社市、J R 西日本 3 者が連携し、地元や議会等からの意見を広く伺いながら、基本計画を作成する。
		進捗状況	順調	

まちなかの魅力 や賑わいをつな ぐ公共交通の利 便性向上 [再掲] (都市整備局交 通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れに向けた取組の推進 バスロケーションシステム等の案内情報の充実等 	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車の乗り入れに伴う岡山駅前広場のあり方について、公開会議を2回開催し、関係者等の意見を聴取 バスロケーションシステムを導入した事業者が1社増え、全7社のうち5社がシステムを導入 	<ul style="list-style-type: none"> 乗り入れに伴う駅前広場のレイアウト案について、関係者等と協議しながら修正案を作成し、一定の整理ができた時点で次回の公開会議を開催。 バスロケーションシステムを導入していない事業者に対し、導入を働きかけていく。
	進捗状況	概ね順調	
バスの利用環境 改善 (都市整備局交 通政策課、道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> パーク&バスライド駐車場やサイクル&バスライド駐輪場の整備、バス路線の渋滞解消のための道路整備、バスロケーションシステム等の案内情報の充実等によるバス利用環境の改善 国・県とともに広域的バス路線の運行経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> サイクル&バスライド駐輪場を1か所整備（池の内バス停自転車等駐車場） バスロケーションシステムを導入した事業者が1社増え、全7社のうち5社がシステムを導入 低床バスの導入の補助（5台分） 広域的バス路線の運行経費の一部を助成 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きサイクル&バスライド駐輪場の整備等に取り組む。 バスロケーションシステムを導入していない事業者に対し、導入を働きかけていく。 引き続き低床バスの導入の補助に取り組む。 広域的バス路線の運行経費について必要に応じて助成する。
	進捗状況	概ね順調	
モビリティマネ ジメント (都市整備局交 通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通マップの配布、マイカー利用自粛の呼びかけ、小学生を対象としたバス教室などの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 転入者を対象に公共交通マップ約2万部を配布 マイカー利用自粛の取組として、国、県と連携して「スマート通勤」への参加を呼びかけ バス専用レーン遵守を呼びかけるチラシを約1千枚配布 小学生を対象としたバス教室を市内12の小学校で実施 大学生と外国人を対象に公共交通によるまちなかのスタンプラリーを実施し、公共交通に対する要望を聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、習慣化した車利用から公共交通への転換を図るための市民参加型のソフト施策に取り組む。
	進捗状況	順調	

超小型モビリティの導入可能性検討 (都市整備局自転車先進都市推進室)	<ul style="list-style-type: none"> 産官学の連携による新たな移動手段である超小型モビリティの都市交通への活用可能性に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> 活用可能性実証実験を実施 中心部でのシェアリング（ワンウェイ・有料） 期間：10/5～翌1/14 利用状況：平日・休日とも約7回／日の利用（回転率約0.7回／台・日） モニター活用 平津地区、妹尾地区、犬島地区で日常生活に活用（6か月～8か月） シェアリング実験では、約5割の利用者に、中心部への訪問意欲が向上するなどの効果があった。地域モニター活用では、道が狭い地域での地域活動（平津地区）や生活物資運搬（犬島）などの有効性が確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、実験結果を詳細に分析し、法制度の動向も注視しながら有効性を検討する。
	進捗状況	順調	

施策② 地域における生活交通の確保			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
生活交通の維持・改善 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの運行経費の一部助成や利用促進に資する運行サービスの改善 	<ul style="list-style-type: none"> 御津・建部コミュニティバスの運行改善について、H30年度からの実施を目指して、ルートやダイヤの改正案を作成 足守生活バスの運行改善について、H30年度の試験運行実施に向けて、2台・2路線で運行する改善案を地元検討組織と策定 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、住民・事業者・市が一緒になって、利用促進と運行改善に取り組む。
		進捗状況	

新たな生活交通の確保 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・迫川地区において、試験運行を実施しているデマンド型乗合タクシーの利用促進や運行改善を地元検討組織と連携して実施しながら、H30年度からの本格運行の運行計画を策定 ・千種地区、馬屋上・野谷地区、牧山地区において、地元検討組織とデマンド型乗合タクシーの運行計画（素案）を検討し、住民の利用意向を把握するためのアンケート調査を実施 ・角山地区において、地元検討組織を設置し、運行計画を検討するための交通実態に関するアンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活交通確保に主体的に取り組む意向のある地域とともに、検討を進める。
	進捗状況	順調	

施策③ 自転車先進都市の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
自転車走行空間の整備 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用ニーズや道路状況に応じた、安全で快適な自転車走行空間の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎大通りににおける自転車走行空間整備（L=824m） ・市道本町柳町線、市道本町表町線における自転車走行空間整備（L=1,925m） ・中心部と郊外部を接続するアクセス路線の選定 ・路上駐車施設設置区間における整備検討および地元への説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り有利な財源を活用することを前提に事業に取り組んでいることから、今後も財源配分について総合的に判断し、事業量を調整する必要がある。 ・整備率を向上させ、ネットワーク化を進める。 ・郊外部への整備展開について、自転車先進都市おかやま実行戦略の中間評価において検討する。
	進捗状況	順調	

駐輪場の整備 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車利用ニーズに応じた駐輪施設の整備及び放置禁止区域の指定・拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山駅東口高架下第2自転車等駐車場の再整備(627台分 有料化) ・岡山駅東口周辺の放置禁止区域の拡大 ・民間自転車等駐車場整備補助制度の継続運用 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪容量が不足している表町周辺への駐輪場整備を進める。
		進捗状況	
コミュニティサイクル「ももちやり」の利用促進 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサイクル「ももちやり」の利用促進と継続性確保のための施設配置や運用に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続運用(平成29 平均利用回転数: 3.85回/日台) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ももちやり導入後の事業評価を通し、現在の運営課題への対策も含め、持続可能な事業となる運営内容を検討する。
		進捗状況	
自転車ルール・マナー向上 (市民生活局生活安全課、都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の開催や街頭啓発活動の実施などによる自転車通行ルールや利用マナーの周知及び放置自転車の解消に向けた指導・啓発の実施 	<p>【生活安全課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校71校で自転車安全指導を実施し、計7,181枚の自転車安全運転免許証を交付 ・交通安全教室を計632回実施 ・春と秋の交通安全市民運動において街頭啓発活動を実施 ・自転車ルールマナー啓発イベント(平成29年9月開催) ・自転車ルールマナー啓発ラジオCM作製・放送(平成29年5月、9月放送) <p>【交通政策課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放置自転車防止のための街頭啓発指導(通年実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車ルールマナーの定着、放置自転車の解消に向け、今後も粘り強く継続していく必要がある。
		進捗状況	

サイクリングロードの充実 (産業観光局観光振興課、都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興も念頭に、関係機関と連携した、吉備路自転車道や吉備高原自転車道等におけるサイクリングに適した案内板や路面標示等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉備路自転車道 (L=14.5km) ・吉備高原自転車道 (L=19.2km) における路面サインの整備を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り有利な財源を活用することを前提に事業に取り組んでいることから、今後も財源配分について総合的に判断し、事業量を調整する必要がある。 ・吉備路自転車道については、認定された日本遺産との関連も踏まえたマップを作成する。
		進捗状況	順調	

施策④ 道路ネットワークの充実・強化				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性	
広域交通網の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要渋滞箇所の渋滞解消、広域交流の強化、高速道路へのアクセス強化を目的とした美作岡山道路（瀬戸JCT～熊山IC）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターチェンジ部切土工事 ・インターチェンジ部盛土工事、本線部舗装工事等 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多額の事業費が必要となることから、財源を確保しながら事業を推進する。
		進捗状況	概ね順調	
外環状道路の整備 (岡山環状道路) (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした、市道藤田浦安南町線、主要地方道岡山赤穂線、市道江並升田線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 【主要地方道岡山赤穂線】 ・JR工事委託、工事用道路、用地測量等 【市道藤田浦安南町線】 ・橋梁下部工等の道路改良工事 【市道江並升田線】 ・道路予備設計、用地補償等 		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多額の事業費が必要となることから、財源を確保しながら事業を推進する。
		進捗状況	概ね順調	

中環状道路の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・都心に集中する交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路下中野平井線の整備 ・国道 53 号方面からの交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路米倉津島線の整備 	【都市計画道路下中野平井線】 <ul style="list-style-type: none"> ・構造物詳細設計、地質調査、用地補償等 【都市計画道路米倉津島線】 <ul style="list-style-type: none"> ・事業化に向けた地元説明会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多額の事業費が必要となることから、財源を確保しながら事業を推進する。
	進捗状況	概ね順調	
生活道路の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・踏切内の歩道設置や交通安全施設の整備等による生活道路の安全確保 ・狭小幅員の道路の改良による緊急車両通行困難地域の解消等 	【市道泉田 1 号線ほか 108 路線】 <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事、用地補償等 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多額の事業費が必要となることから、財源を確保しながら事業を推進する。
	進捗状況	概ね順調	

政策7 魅力ある景観と快適な住環境づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
美しい都市景観の形成に対する満足度（％）	26.7	20.1	28 (H31)	↘	都市整備局
良い景観は長い時間をかけて形成されていくものであり、良好な景観が形成されるよう取組を進めて行く。					
公園・緑地の整備や緑化の推進に対する満足度（％）	40.8	25.2	44 (H31)	↘	都市整備局
公共空間における植樹、岡山西部総合公園（仮称）や旭川さくらみち歩行空間の整備工事に取り組んでいるが、基準値から15.6ポイント減となっている。					
住宅や住環境の整備に対する満足度（％）	18.4	19.5	20 (H31)	↗	都市整備局
本格的な空き家対策の効果も現れ、目標数値に向けて着実に増加している。					

総括

総合評価

施策① 美しく風格ある都市景観の形成

- ・都市景観形成事業については、平成29年度から市役所筋等で屋外広告物モデル地区の運用を開始するなど、順調に進捗しており、今後も引き続き、屋外広告モデル地区及び景観形成重点地区を拡充していき、魅力ある景観づくりを進めていく。（都市整備局）

施策② 水と緑あふれる憩いの空間づくり

- ・水と緑あふれる憩いの空間づくりのうち、緑のボリュームアップ事業及び、平成28年度から取り組んでいる「公園施設の長寿命化計画書」の策定のための調査・判定作業は概ね順調に進捗しており、平成30年度には、公園施設の長寿命化計画策定を目指す。（都市整備局）

施策③ 快適で暮らしやすい住環境づくり

- ・平成29年3月に住生活基本計画を策定し、今後10年間の住宅行政の指針を示した。また、平成30年3月に岡山市営住宅等長寿命化計画の改定を行い市営住宅等の中長期的な事業手法を設定したところであり、市営住宅等を基本とする住宅セーフティネットの充実と、住環境の整備に努めていく。空き家対策についても概ね順調に事業を進めており、引き続き、住宅及び住環境の整備に対する満足度を高めていく。（都市整備局）
- ・東山斎場再整備事業については、平成29年度から斎場本体の工事に着手し、平成31年2月の供用開始に向けて工事は順調に進んでいる。また、市北西部で計画している新斎場整備事業については、平成29年8月に都市計画決定、9月には事業認可を受けており、平成30年1月に岡山北斎場整備事業の入札公告を行っている。

馬屋上学区内で理解が得られていない住民の方々がいることから、引き続き丁寧な説明を行っている。これらの取組により、快適で暮らしやすい住環境づくりを進めていく。(市民生活局)

主な事務事業

施策① 美しく風格ある都市景観の形成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)		今後の課題・方向性
都市景観形成事業 (都市整備局都市計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 景観計画による景観形成重点地区と連動した屋外広告物モデル地区の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> H28年度に拡充した屋外広告物モデル地区の運用を開始 新たな屋外広告物モデル地区及び景観形成重点地区の拡充について検討 		<ul style="list-style-type: none"> 屋外広告物モデル地区及び景観形成重点地区を拡充する。
		進捗状況	順調	

施策② 水と緑あふれる憩いの空間づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)		今後の課題・方向性
緑のボリュームアップ事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 公共空間における植樹 (H21年度からの10年間で6万本) 岡山駅前広場や道路、公園等の重点的な個所での植樹や植栽管理 公共施設における緑のカーテン設置の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模緑のカーテン1施設 (北ふれあいセンター) 緑のカーテン栽培キット54セット 植樹4,676本 (総計50,691本) 		<ul style="list-style-type: none"> 今後も関係各課に働きかけ、公共施設の緑化に努める。
		進捗状況	概ね順調	
岡山西部総合公園(仮称)整備事業【再掲】 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 多目的広場、芝生広場、見晴らしの丘等の配置による健康増進及び賑わい創出に資する緑あふれる総合公園としての整備 防災公園(広域避難場所、地域防災拠点)としての機能の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 用地購入 A=1.4ha 多目的広場整備 A=1.3ha 多目的広場周辺整備 A=1.5ha 		<ul style="list-style-type: none"> 既存施設を供用しながらの整備であるため、イベント等との利用調整が必要である。 隣接する民間導入施設と、境界部分の施工時期や意匠等の調整を行う必要がある。
		進捗状況	概ね順調	

公園施設の長寿命化 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館や管理棟など大型施設を有する総合公園等の健全度調査の実施 ・ 維持補修費用の平準化を目的とした、全ての都市公園を対象とする公園施設長寿命化計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設予備調査の実施 ・ 健全度調査の一部実施 ・ 長寿命化計画の対象となる都市公園全 463 公園の内、調査未実施であった 107 公園について、施設の利用状況、劣化や損傷の状態を把握するため現地での調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 30 年度に長寿命化計画を策定する。 ・ 平成 30 年度より公園施設(遊具)の点検を年 1 回の頻度で定期的に行う。 ・ 公園樹・街路樹についても、現況調査を行い、対策の必要な樹木の抽出、詳細診断・対策の実施を進めていく。 	進捗状況	概ね順調
西川魅力にぎわい創出事業 [再掲] (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西川パフォーマー等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催 ・ 西川緑道公園筋(平和橋～桶屋橋南)における歩行者天国の定期開催化による賑わいづくり ・ パークマネジメントによる西川緑道公園の魅力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西川パフォーマー事業者と市が協働して、定期的に西川緑道公園でイベントを実施 【西川パフォーマー事業】 ・ 認定事業(パフォーマー主体) = 30 回実施 ・ 活用事業(市主体) = 3 回(5 日)実施(公園内滞在者数: 計 24,959 人) 【西川緑道公園筋歩行者天国実施】 ・ 6 月、7 月、10 月、1 月、3 月の計 5 回(5 日)開催(ホコテン内滞在者数: 計 8,641 人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西川緑道公園筋歩行者天国に関しては、市民主体の実行委員会による安定した運営と、定期開催の定着化を図る。 ・ 各事業の開催により、さらなる西川緑道公園界隈の魅力発信を行う。 ・ 西川緑道公園周辺へと賑わいを広げていくため、仕組みや運営方法を検討していく。 	進捗状況	順調
旭川かわまちづくり事業 [再掲] (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川さくらみちの整備や烏城公園(石山公園地区)の再整備等 ・ 市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭川さくらみち歩行空間整備工事(浜樋門から上流約 600m 区間) ・ 旭川さくらみち桜並木の桜の更新(伐採 8 本、新植 1 本) ・ みんなでつくる水辺フェス♪～岡山旭川 2018 の開催(10/22: 荒天中止) ・ 石山公園活用検討会の開催(3 回実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント実施時の利便性向上に向け、石山公園の再整備を進める。 ・ 市民や観光客が憩い、賑わいの拠点にもなるカフェの公募を実施する。 	進捗状況	順調

施策③ 快適で暮らしやすい住環境づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
岡山市住生活基本計画の策定 (都市整備局住宅課)	<ul style="list-style-type: none"> 市の現状や岡山市第六次総合計画、全国計画の見直し内容等を踏まえた、新たな「岡山市住生活基本計画」の策定(平成 28 年度) 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 3 月に策定した岡山市住生活基本計画を上位とし、岡山市営住宅等長寿命化計画を平成 30 年 3 月に改訂 		<ul style="list-style-type: none"> 岡山市住生活基本計画に基づき、住宅政策を着実に進める。
高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き)の整備 (都市整備局住宅課)	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地等の生活利便性の高い場所への高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き)の供給誘導 	<ul style="list-style-type: none"> エリアの拡充をするなど、事業者の参加意欲の向上を図ってきたが、事業者説明会への参加はあるものの、応募までには至らなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> 中堅所得層の高齢者に対する住宅支援は、既にサービス付き高齢者向け住宅もあることから、政策転換も視野に入れ検討する。
岡山操車場跡地整備事業(市営住宅・社会福祉施設導入区域)(北長瀬みずほ住座の再生)[一部再掲] (都市整備局住宅課)	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化の著しい「北長瀬みずほ住座」の岡山操車場跡地整備基本計画に基づく、市営住宅・社会福祉施設導入区域内での建て替え(平成 28 年度に事業者募集) 	<ul style="list-style-type: none"> 建替え事業者決定(積水ハウス、中国建設工業、綜企画設計、不二ビルサービス、岡山千鳥福祉会) 民設民営で保育施設を併設 		<ul style="list-style-type: none"> 平成 32 年度の完成を目指す。
空き家対策(都市整備局建築指導課・空家対策推進室)	<ul style="list-style-type: none"> 法及び条例に基づく措置と密接に連携した助成制度を軸とした空き家等の適正管理の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の現地調査を 965 件実施し、58 件を特定空家と認定。除却助成と自主撤去を含めて空き家除却 336 件を確認。 一般分のリフォーム助成を 18 件実施 空き家診断助成を 1 件実施 空き家情報バンクへ 1 件を登録し、1 件が賃貸・売買成立 		<ul style="list-style-type: none"> 特定空家等について、「助言・指導」後に改善が見られない空き家所有者に対し、条例に基づき対応する。 空き家の利活用促進に向けた取組が必要。
		進捗状況	順調	
		進捗状況	やや遅れ	
		進捗状況	順調	
		進捗状況	概ね順調	

東山斎場再整備事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 築後 40 有余年を経過し老朽化が進む東山斎場の建て替え整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地盤改良等の基礎工事をを行い、建物本体工事に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東山斎場の再整備完了後、既設斎場及び火葬炉の解体、駐車場整備工事をスムーズに行っていく必要がある。
	進捗状況	順調	
新斎場整備事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火葬需要ピークの必要炉数予測による、将来的な火葬炉不足及び災害時等のリスク分散を考慮した新斎場の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画決定と事業認可を受け、平成 30 年 1 月に入札公告を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 斎場整備に理解が得られていない住民の方々へ引き続き丁寧かつ真摯に説明を行うとともに、関連部局と連携し地元要望に対して真摯な対応を行っていく必要がある。 ・ 新斎場の運営手法について調査、検討していく必要がある。
	進捗状況	順調	
市営墓地維持管理事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市営墓地の適正な維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地内樹木の伐倒 47 か所 ・ 墓地内修繕の実施 83 か所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の埋葬のあり方を考えるにあたり、市民ニーズの把握方法や市営墓地のあり方を検討する必要がある。
	進捗状況	順調	

政策 8 歴史・文化による新たな魅力の創出と発信

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
歴史・文化ゾーン来訪者数（万人）	316	324	336	↗	政策局
<p>歴史・文化ゾーン内の多くの集客イベント等の開催（岡山城や後楽園における連携したPR、美術館や博物館における特別展等の開催などにより、平成29年度は目標値を達成した。引き続き、各施設のイベント等の周知により、来訪者の増加を図っていく。</p>					
文化財施設・講演会等への来訪者数（人）	46,815	49,137	47,300	↗	教育委員会
<p>発掘調査に関する現地説明会及び定期講座の開催、岡山城月見櫓等の公開を継続して行っており、平成29年度は目標値を達成した。今後もさらなる来訪者の増加を図っていく。</p>					

総括

総合評価

施策① 歴史・文化資産をいかしたまちの魅力の創造と発信

- ・岡山城周辺において歴史・文化資産を活かした現在アートの国際展である岡山芸術交流を平成31年度に開催するために、基本計画の策定やイベントを実施した。今後も引き続き、開催に向けた市民の機運醸成に取り組んでいく。また、おかやま国際音楽祭において、岡山城、吉備津彦神社、岡山神社といった地域資源に特設ステージを設け、同時期開催イベントとの連携や、幻想的なライトアップ、バラエティに富んだ音楽やパフォーマンスを展開することにより、街の魅力向上や発信に繋げることができた。（市民生活局）

施策② 歴史・文化資産の活用と継承

- ・文化財施設・講演会等への来訪者数が順調に増えており、市民の歴史や文化財への興味・関心や郷土の歴史的価値への認識が深まっている。（教育委員会）
- ・平成27年度から実施している歴史案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置について、平成29年度は新たに、地域の団体からの企画提案による看板の設置を進めており、市民・来訪者が歴史・文化に親しみ、楽しむことのできる環境づくりに向けた取組として順調に進んでいる。（政策局）

主な事務事業

施策① 歴史・文化資産をいかしたまちの魅力の創造と発信

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
岡山芸術交流の 開催 (市民生活局文化振興課)	・岡山城周辺の歴史文化ゾーンを主会場とした「岡山芸術交流 2016」の開催、実施結果の検証を踏まえた次回開催を目指した検討	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山芸術交流 2019」の開催に向けての諸準備 ・基本計画の策定（アーティスティックディレクター選任） ・広報活動（記者発表、ロゴマーク作成、公式 web サイト改修） ・プレイベントの実施（ピエール・ユイグ氏のパフォーマンス作品上演） 	・作品に気軽に親しむためのプログラムや、作品の理解が進むよう鑑賞ガイド等を充実させるとともに、運営をサポートするボランティアスタッフなど市民参加を促す取組を拡大させていく。
		進捗状況	
都心創生まちづくり事業 (政策局事業政策課)	・旧内山下小学校跡地や市民会館等の跡地活用に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・旧内山下小学校の体育館、校庭を中心に城下町の絵図展示や歴史を学ぶ「寺子屋」の開催、あかり空間の演出などイベントを中心とした社会実験を開催 来場者：延べ 1, 055 人 ・岡山城主要部跡地の活用に向けた検討体制や今後の進め方について、関係局課と検討 	・庁内検討会議を立ち上げ、引き続き導入機能等についての検討を進めていく。
		進捗状況	
観光資源の魅力アップ事業（岡山城と岡山後楽園のタイアップ）[一部再掲] (産業観光局観光振興課)	・岡山城と岡山後楽園のさらなる魅力向上に向けた、鳥城灯源郷と幻想庭園の連携をはじめとする各種連携イベントの開催や情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥城灯源郷と幻想庭園における実施期間の統一や動線の強化、広報媒体の統一化による一体的な運営に加え、両施設の一体的な情報発信・PR など、岡山後楽園との連携による事業の広報・実施 岡山城入場者数 359, 356 人 (対前年度 2.6% (350, 324 人) の増) うち外国人 63, 678 人 (対前年度 42.8% (44, 594 人) の増) 	・歴史文化ゾーンの賑わいのため、各観光施設間の連携を図り、来訪者・魅力度のさらなる増加・向上を目指す。
		進捗状況	

オリент美術館と県立美術館等との共同事業 [再掲] (教育委員会オリент美術館)	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等 	<ul style="list-style-type: none"> チケット（半券）提示による相互入館料割引～2館で約147人/月 美術館ボランティアの交流～2館で約6人/月参加 展覧会時の美術品の相互展示及び紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館だけでなく、エリア内の他施設とも特別展等の開催で連携していく。また、美術館学習プログラムの開発等で地元大学、教育現場との連携を図る。
観光施設の活用事業（岡山城の魅力アップ）[一部再掲] (産業観光局観光振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の「岡山城天守閣等のあり方検討調査」を踏まえて、ハード・ソフト両面から必要な見直しを行うための実証実験事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特別展示「EMAKI 秀家伝」ほか 来場者 61,801人（10/7～11/30） 不明門の活用 ワークショップ 計65人参加 3回（8/19・8/23・8/26） 歴史講座 参加者数計174人 3回（10/14・11/19・12/16） 岡山城座談会 参加者数計59人（有識者からの意見聴取） 	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験で評価の高かった岡山のシンボルである岡山城ならではの歴史・人物などをコンセプトとする空間演出を常設展示化するとともに、引き続き、検討調査や実証実験を踏まえ、岡山城の魅力アップに繋がる活用方法を見出す。
文化芸術に親しむ事業（おかやま国際音楽祭）[一部再掲] (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 多彩な音楽文化に触れることのできる「おかやま国際音楽祭」の開催 	【おかやま国際音楽祭2017】 <ul style="list-style-type: none"> 下石井公園における「下石井3DAYS」や吉備津彦神社など地域資源も活用し、誰でも気軽に立ち寄り楽しめるコンサートを提供 鑑賞者数 57,513人 	<ul style="list-style-type: none"> 同時期に開催される事業と連携を図りながら、各地域の資源を活かした音楽事業を、引き続き実施する。

施策② 歴史・文化資産の活用と継承			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
史跡造山古墳群保存整備事業 (教育委員会文化財課)	<ul style="list-style-type: none"> 造山古墳（全国第4位の規模で、実際に登れる古墳としては全国第1位の規模）を中心とした造山古墳群を保護・保存し活用するための整備 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡千足古墳の保存整備工事 史跡造山古墳の崖面部分の整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き国庫補助金の交付を受け、整備を促進する。

史跡岡山城跡の保存整備事業 (教育委員会文化財課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城跡について、城郭としての歴史的環境の整備、破損箇所等の保存修理による岡山城跡本来の景観の復元と活用 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡岡山城本丸下段のテニスコート跡地への遺構表示 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き国庫補助金の交付を受け、整備を促進する。
	進捗状況	概ね順調	
史跡公有化の推進 (教育委員会文化財課)	<ul style="list-style-type: none"> 大廻小廻山城跡、彦崎貝塚、万富東大寺瓦窯跡、造山古墳などの史跡の長期的な保護・保存を目的とした公有化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 史跡大廻小廻山城跡 (789 m²)、史跡彦崎貝塚 (391 m²) の公有化。史跡大廻小廻山城跡の公有化率は 24.4%、史跡彦崎貝塚は 100%。史跡万富東大寺瓦窯跡と史跡造山古墳は、公有化予定地の測量等を実施。 金蔵山古墳と造山古墳の範囲確認調査 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き国庫補助金の交付を受け、整備を促進する。
	進捗状況	概ね順調	
文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用 (教育委員会文化財課)	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査の成果や所管する文化財の公開、文化財に関する講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 発掘調査現地説明会を開催して調査現場を公開 埋蔵文化財センターでは、年間を通して毎月の定期講座(7月・8月の夏休み対応月は、子ども対象講座として、勾玉や鏡の製作体験)を開催 市役所1階市民ホールでは、前年度の調査成果を展示する発掘調査速報展を開催 通常は非公開の岡山城跡月見櫓を文化の日に合わせて公開 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを活用して、より詳細な情報発信に努めていくとともに、市民ニーズを取り入れた講座や企画展を開催していく。
	進捗状況	順調	
「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課、産業観光局観光振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインの案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置 	<ul style="list-style-type: none"> 40基の案内看板を設置 うち地域団体からの提案 32基 ※平成29年度末までの総設置基数 103基 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き案内看板設置を進める。
	進捗状況	順調	

観光資源の魅力アップ事業（歴史・伝統・文化の活用、継承） 【一部再掲】 （産業観光局観光振興課、プロモーション・MICE推進課）	<ul style="list-style-type: none"> ・「備前池田家」や「古代吉備の国」等、岡山連携中枢都市圏における共通テーマに基づいた歴史・文化資源の収集及びストーリー化、情報発信、広域周遊ルートの創出等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力向上 ・地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民謡の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・おかやま連携中枢都市圏域内の広域周遊観光の促進のため、作家「あさのあつこ」監修による短編集を制作（3,000部） ・短編集完成記念対談イベントによる情報発信を実施 ・短編集に登場するスポットを巡るモニターツアーを実施 ・郷土芸能補助 6件 ・郷土民踊普及補助 総指導回数 55件 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行行動意識の高い女性に影響力のある雑誌に短編集を素材にした周遊ルートに掲載し発信することにより首都圏からの誘客を図る。 ・昨年度制作した短編集を増刷し各種プロモーションに活用する。

政策9 暮らしに息づく文化芸術の振興

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
過去1年間に文化芸術を体験（参加・鑑賞）した人の割合（％）	45.2	62.4	60 (H31)	↑	市民生活局
岡山芸術交流、おかやま国際音楽祭、岡山市芸術祭等の開催や、小・中学校で子どもたちに文化体験の機会を提供するアウトリーチ事業等を展開したことにより、文化芸術を体験した人の大幅増につながった。					
文化活動の振興に対する満足度（％）	19.1	19.7	25 (H31)	↑	市民生活局
アウトリーチ事業や、市民が文化芸術への理解を高めるパブリックプログラム（芸術教育の普及活動）等を企画・実施し、市民の文化芸術への理解を深めることにより、満足度の向上につながった。					

総括

総合評価

施策① 文化芸術施設を核にした文化芸術の振興

- ・岡山シンフォニーホールを拠点とする岡山フィルハーモニック管弦楽団の体制を強化し、演奏会の魅力向上を引き続き図っていく。また、岡山芸術創造劇場（仮称）については、まちの賑わいと文化芸術の拠点となるような整備に向けて、「魅せる」「集う」「つくる」をコンセプトに引き続き整備を進めていく。（市民生活局）
- ・オリエント美術館が県立美術館と連携することにより、入館者数の増加という一定の効果があった。今後、エリア内の他施設とも連携していく必要がある。（教育委員会）

施策② 市民の文化芸術活動の推進

- ・「おかやま国際音楽祭 2017」や「第55回岡山市芸術祭」等の文化事業や子どもたちへの鑑賞・体験の充実を図る事業を概ね順調に実施しており、これら事業を継続するとともに、さらに誰もが文化芸術に親しみ、楽しめる事業や取組を検討していく。（市民生活局）

主な事務事業

施策① 文化芸術施設を核にした文化芸術の振興

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
岡山芸術創造劇場（仮称）の整備（旧：新しい文化芸術施設の整備） （市民生活局文化振興課）	<ul style="list-style-type: none"> 市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山市民会館・岡山市立市民文化ホールに替わる「岡山芸術創造劇場（仮称）」の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 「新しい文化芸術施設【岡山芸術創造劇場（仮称）】管理運営基本計画」を策定 市街地再開発組合が進める施設整備（基本設計）に関して、各関係機関との協議を実施 	<p>順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成 33 年度末完成に向けて整備を進める。 まちの賑わいと文化芸術の拠点施設として、管理運営などを市民とともに考えていく。
岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援 （市民生活局文化振興課）	<ul style="list-style-type: none"> 県内唯一のプロオーケストラである岡山フィルハーモニック管弦楽団の運営支援を通じた、プロの演奏に触れる機会の増加や都市の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 定期演奏会年 4 回を含む、年間延べ 147 公演を開催 鑑賞者数 47,082 人 市内小中学生に、岡山シンフォニーホールでの鑑賞機会を提供する「岡山市小・中学校音楽鑑賞教室」などの事業を継続して開催 	<p>概ね順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> 岡山独自の音楽スタイルを確立するとともに、プロの演奏に触れる機会を提供する楽団として、市民が親しみを持ち支える楽団となり鑑賞者増を図る。
岡山シティミュージアムの運営 （市民生活局岡山シティミュージアム）	<ul style="list-style-type: none"> 市民の営みやまちの誇りを次世代へ伝える文化の醸成や教育の場としての、岡山の歴史と文化をテーマとした常設展や特別展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市民に文化芸術に触れる機会を提供するため、常設展内小企画（6 回）、特別展・企画展（7 回）、ミュージアム講座（11 回）を開催 学校と連携し、学校利用（校外学習）を実施（1,035 人） クイズ形式の鑑賞ワークシートの作成・活用 インバウンド誘客のため、公衆無線 LAN（Wi-Fi）環境を整備するとともに、常設展の英語解説表記を充実 年間入場者数 101,560 人 	<p>概ね順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> 常設展の魅力向上や集客力のある多彩な特別展の開催、効果的な PR など、入館者増に向けた取組を検討していく。

オリент美術館と県立美術館等との共同事業 (教育委員会オリент美術館)	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等 	<ul style="list-style-type: none"> チケット(半券)提示による相互入館料割引～2館で約147人/月 美術館ボランティアの交流～2館で約6人/月参加 展覧会時の美術品の相互展示及び紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館だけでなく、エリア内の他施設とも特別展等の開催で連携していく。また、美術館学習プログラムの開発等で地元大学、教育現場との連携を図る。

施策② 市民の文化芸術活動の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
文化芸術に親しむ事業 (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 多彩な音楽文化に触れることのできる「おかやま国際音楽祭」の開催 地域の文化活動団体の表現の場である「岡山市芸術祭」の開催 岡山市出身の坪田譲治を顕彰する「坪田譲治文学賞」と市民の創作活動を奨励する「市民の童話賞」の実施 文化芸術団体や地域等と連携した文化事業の企画・実施等を推進する「文化振興推進プロジェクト」事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 各文化事業を実施し、気軽に文化芸術を楽しむ参加する機会を提供 おかやま国際音楽祭2017を開催 鑑賞者数 57,513人 第55回岡山市芸術祭を開催 鑑賞者数 45,795人 岡山市文学賞の実施 市民の童話賞応募者数 386人 岡山市文化芸術振興ビジョンを推進する文化振興推進プロジェクトの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術を活かしたまちづくりを進めるとともに、誰もが文化芸術を楽しみ、参加するための事業をNPO団体や文化芸術団体等と市民協働で推進していく。
子どもたちへの文化体験機会の提供 (市民生活局文化振興課)	<ul style="list-style-type: none"> アーティストが学校で子どもたちに授業を行うなど、子どもたちに文化体験の機会を提供する「チルドレン・ミート・アート・プログラム」事業等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【「チルドレン・ミート・アート・プログラム」】 学校アウトリーチ(ダンス・演劇)の実施 実施小学校4校 延べ381人 文化芸術体験教室・地域資源活用事業の実施 参加者 3事業 延べ140人 【岡山フィルハーモニック管弦楽団「青少年音楽普及事業」(抜粋)】 小中学校音楽鑑賞教室1,435人 スクールコンサートなど(学校訪問)6校 1,576人 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや若者を対象とした文化事業の充実を図る。 アーティストの学校訪問や学校から文化施設に向いて鑑賞するなど、現物や実演などに触れ・体験する機会を増やしていく。

政策 10 地域の活力を育むスポーツの振興

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
成人の週1回以上のスポーツ実施率（％）	34.3	31.0	47 (H31)	↓	市民生活局

おかやまマラソンの開催、一般財団法人岡山市体育協会の育成・支援などにより、スポーツ振興を図る事業を幅広く実施しているものの、平成29年度実績は、基準値から3.3ポイントの減少となった。平成29年度「岡山市市民意識調査報告書」の年代別スポーツ実施率が、30歳代24.4%、40歳代24.2%となっており、他の年代層と比較して低い状況となっている。このことから、目標値達成のためには、特に30歳代、40歳代に対するスポーツ環境の整備に取り組む必要がある。

総括

総合評価

施策① スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成

・ファジアーノ岡山、岡山シーガルズへの支援事業として、市民デーの開催や両チームのロゴ等をあしらったデザインマンホールの設置等により、岡山市民における両チームの認知度は高まっており、岡山市民の一体感の醸成に寄与している。また、おかやまマラソンについては、岡山らしい給食や海外枠の新設等の取組により、第1回から申込者数やボランティアの参加数、沿道応援者数、経済波及効果が順調に伸びている。今後もスポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成を図っていく。（市民生活局）

施策② 東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上

・2020年東京オリンピック等の事前キャンプ誘致については、平成29年度に補助制度を創設し、オリンピック競技5件、パラリンピック競技1件の計6件を誘致した。また、ホストタウン交流事業については、ブルガリア共和国出身の鳴戸親方（元大関 琴欧洲）を招いての交流事業や、学校給食にブルガリア料理の「ムサカ」を提供するなど、市民がブルガリア共和国を身近に感じられるよう様々な事業を実施した。これまで、ホストタウン相手国のブルガリア共和国バドミントン連盟やスペイン柔道連盟と、2020年東京オリンピック開催時の事前キャンプの実施に関する協定書を締結したが、今後も事前キャンプ実施に関する協定締結の実現に向け積極的な誘致活動を継続する。（市民生活局）

施策③ ライフステージに応じたスポーツの振興

・市民のスポーツ活動の拠点であるスポーツ施設については、老朽化施設の計画的な修繕や、多種目への対応を目的とした改修により、市民のスポーツ利用促進を図った。今後も、施設の適正管理を行うと共に、多種目に利用できる施設整備についての検討を進める。また、多様化する市民のスポーツニーズに弾力的かつ積極的に対応するため、平成28年度に法人化した一般財団法人岡山市体育協会等のスポーツ関係団体と連携し、ライフステージに応じた市民のスポーツ活動を推進していく。（市民生活局）

主な事務事業

施策① スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
トップチーム支援事業 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民デーでの各種イベントの開催や選手との交流イベント等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ファジアーノ岡山、岡山シーガルズのホームゲームのうち、各1ゲームを「市民デー」とし、各種イベントを実施 <ul style="list-style-type: none"> エスコートキッズを公募 音楽とのコラボレーション事業 市外からの転入者を無料招待 両チームのキャラクターをあしらったデザインマンホールを市内に 10ヶ所（各チーム5カ所）設置 両チームとのコラボポロシャツを職員向けに販売 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、トップチームの意見を聞きながら、さらに効果的な支援となるよう市の支援内容等について検討していく。
		進捗状況	順調	
おかやまマラソン (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 県や関係団体との共同による「おかやまマラソン」の開催 各種関連事業の実施による、岡山の魅力発信 	【おかやまマラソン 2017 開催結果】 <ul style="list-style-type: none"> マラソン定員 15,000 人、申込者数 26,229 人 ファンラン定員 1,200 人、申込者数 4,152 人 沿道応援数、EXPO 来場者数 296,000 人 ボランティア参加者数 5,112 人 経済波及効果額 14.7 億円 		<ul style="list-style-type: none"> 応募者数等の増加を目指したPRを行っていく。 将来にわたって持続的に発展していくための新たな取組を検討する。 制限時間拡大、スタート時間の繰り下げ、種目新設の要望がある。
		進捗状況	順調	

施策② 東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ誘致及びホストタウン事業の推進 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 2020 年東京オリンピック・パラリンピック等の開催に伴う事前キャンプの誘致 ホストタウン交流計画に基づく事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 2020 東京オリンピック・パラリンピック等の事前キャンプ 6 件 <ul style="list-style-type: none"> スペイン女子柔道 フィリピン女子バレー 台湾柔道 日本 3 人制バスケ (3×3) ブルガリア共和国バドミントン カンボジア車いす陸上 H29 年 12 月 3 日にブルガリア共和国バドミントン連盟と 2020 年東京大会の事前キャンプ実施に関する協定を締結 		<ul style="list-style-type: none"> 事前キャンプ誘致については、引き続き、県や県内の競技団体等と連携しながら、誘致活動を進めていく。 ホストタウン交流事業については、今後、交流計画に基づき、ブルガリア共和国を相手国とした事業を展開していく。
		進捗状況	順調	
競技スポーツの振興 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市で開催される全国大会等に対する負担金の支出 岡山市を代表して活躍する選手への激励金の支給や顕彰等 	<ul style="list-style-type: none"> 開催地負担金支出 (4 件) <ul style="list-style-type: none"> 山陽女子ロードレース大会 山陽女子ロードレース大会特別企画 全国ジュニアカヌースラローム岡山大会 R S K 全国選抜ジュニアテニス大会 岡山市各種大会開催地元負担金支出 1 件 岡山市優秀選手激励金支給 166 件 岡山市人見絹枝スポーツ顕彰事業 <ul style="list-style-type: none"> 個人：56 人 団体：6 団体 		<ul style="list-style-type: none"> 開催地負担金や激励金の支出、顕彰事業等を通じて、さらなる競技力向上を目指す。
		進捗状況	順調	

施策③ ライフステージに応じたスポーツの振興

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
体育施設整備事業 (市民生活局スポーツ振興課)	・スポーツ施設の計画的な整備、修繕の実施	・山田グリーンパーク野球場について、硬式野球利用が可能となる様防球ネット等を新たに設置	・財政負担の平準化を図りながら、老朽化施設やルール改正等に伴う修繕を行っていく。 ・国に対し補助充実に向けた働きかけを継続して行っていく。
		進捗状況	
体育施設管理事業 (市民生活局スポーツ振興課)	・スポーツ施設の適切かつ効率的な管理運営	・瀬戸町江尻レストパーク多目的広場人工芝改修工事、興除テニスコート人工芝改修工事及び瀬戸町運動公園テニスコート改修工事などの大規模修繕をはじめ、指定管理委託等を通してスポーツ施設の適切な管理運営を実施	・財政負担の平準化を図りながら、老朽化施設やルール改正等に伴う修繕を行っていく。 ・国に対し補助充実に向けた働きかけを継続して行っていく。
		進捗状況	
体育団体等育成事業 (市民生活局スポーツ振興課)	・地域のスポーツ統括団体である「一般財団法人岡山市体育協会」の育成・支援	【平成 29 年度補助金交付額】 5,246 万円 【平成 29 年度岡山市体育協会の事業内容】 ・学区体協 (91 団体)、競技団体 (42 団体) 及びスポーツ少年団 (223 団) の育成・支援 ・市民体育大会、西大寺駅伝競走大会、クロスカントリー大会等スポーツイベントの開催 (参加者数 16,275 人) ・加盟競技団体の競技力向上事業に対する補助金支給 (68 件)	・賛助会員の確保などの自主財源確保が課題である。 今後、財政基盤の強化を図るため公益財団法人化を目指していく。
		進捗状況	

学校体育施設開放事業 (市民生活局スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の身近なスポーツ拠点である学校体育施設の開放と管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校開放を行っている体育館照明の球換え、運動場夜間照明球換え、運動場整備用真砂土購入等を実施 ・利用促進を図るため、夜間照明設備を設置（旭操小学校） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内のほとんどの小中学校の学校開放が進んでおり、稼働率が高い。今後も、スポーツ振興くじ助成金を活用しながら需要に応じた運動場夜間照明設置に努める。
	進捗状況	順調	
障害者スポーツ振興事業 (保健福祉局障害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者体育センターの運営や障害者体育祭等の開催 ・全国障害者スポーツ大会への選手派遣等 	<ul style="list-style-type: none"> 【障害者体育センターの運営】 ・スポーツ講習会を12種目、延べ20回及び障害者親善スポーツ大会を9種目実施 【障害者体育祭等の開催】 ・岡山市障害者団体連合会と協力して、水泳訓練を実施（体育祭は実施予定であったが雨天中止） 【全国障害者スポーツ大会への選手派遣】 ・個人5競技について、選手24人を派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、障害者体育センターにおいて、講習会、スポーツ大会を実施するとともに、障害者体育祭等の開催、全国障害者スポーツ大会への選手の派遣等により振興を図る。
	進捗状況	概ね順調	

政策 11 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
子育て支援・児童福祉の充実に対する満足度（％）	16.7	13.9	30 (H31)	↘	岡山っ子育て局
当該指標（平成 29 年度岡山市市民意識調査）について、「満足・やや満足」と回答した人の割合は 13.9%となり、基準値（平成 27 年度）より 2.8%悪化した。保育所等の待機児童数や子どもの貧困等が注目されたことなどが影響していると思われ、子育て環境の充実をさらに進めていく必要がある。					
保育所等の待機児童数（人）	729 (H28. 4. 1)	551 (H30. 4. 1)	0 (H33. 4. 1)	↗	岡山っ子育て局
保育の受け皿の確保が進んだことや、入園申込の増加が落ち着いてきたことに加え、保育コンシェルジュによる寄り添う支援に力を入れた結果、待機児童数は減少した。					
放課後児童クラブ入所希望児童（潜在ニーズを含む見込み）に対する入所できた児童の割合（％）	87.7 (H28. 4. 1)	85.4 (H30. 4. 1)	100 (H33. 4. 1)	↘	岡山っ子育て局
積極的な施設整備等により受け皿の整備は進んだ反面、共働き世帯の増加、施設拡充に伴う潜在ニーズの顕在化等により基準値よりも悪化した。今後も施設整備や人員確保支援等の取組を進めていく必要がある。					
男性も女性も仕事と家庭を両立できるのがよいと考える市民の割合（％）	82.4	84.1	85 (H31)	↗	市民協働局
企業や働く人を対象に女性活躍、ワーク・ライフ・バランスへの理解促進を図るシンポジウム、セミナー等を行っており、目標値に向けて着実に上昇している。					

総括

総合評価

施策① 仕事と子育ての両立のための基盤整備

・保育所等の待機児童数については、保育の受け皿の確保が進んだことや、入園申込の増加が落ち着いてきたこと等により待機児童数は減少した。今後も引き続き待機児童 0 人を目標とし、事業を推進していく。また、「放課後児童クラブ入所希望児童（潜在ニーズを含む見込み）に対する入所できた児童の割合」については、利用希望者の増加に対応し、積極的に施設整備を行ったが、大幅なニーズの増加により、基準値より悪化したため、引き続き施設整備や人員確保支援等の取組を進めていく。（岡山っ子育て局）

施策② 子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進

・企業を対象としたワーク・ライフ・バランス啓発シンポジウムや管理職向けセミナーなど、男女が共に仕事と生活を両立できる環境づくりに向けた事業は概ね順調である。引き続き、中小企業においてもワーク・ライフ・バランスのための取組が進んでいくよう、企業が取組の具体的な効果を実感できるデータや実践的な先進事例を情報発信するなど、効果的な啓発を一層進める必要がある。（市民協働局）

施策③ 母子の健康づくりへの支援

- ・平成 28 年度に開設した「おかやま産前産後相談ステーション」の周知が進み、妊娠届出時の専門職による相談は増加している。また、出産後の乳児家庭全戸訪問事業についても訪問ボランティア等による高い訪問率が維持できている。今後も引き続き、親の孤立化防止と産前・産後の切れ目ない支援ができるよう事業を継続推進していく。(保健福祉局)

施策④ 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援

- ・子育ての負担感や不安感をやわらげる支援は、保護者を一時的に子育てから解放する様々な事業や子育て応援サイトの充実など概ね順調に推移しており、今後も利用の拡大を目指していく。(岡山っ子育て局)

主な事務事業

施策① 仕事と子育ての両立のための基盤整備

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
私立保育所の施設整備 (岡山っ子育て局こども園推進課)	・私立保育所の新設・増築を実施する事業者に対する施設整備の補助金交付	・平成 28 年度に認可保育所整備運営事業予定者として決定した 4 事業者のうち 3 事業者に対し、施設整備に対する補助金を交付し、平成 29 年 12 月 1 日に 1 園が開園、平成 30 年 4 月 1 日に 2 園が開園、1 園が定員増(合計定員 340 人増) ・認可保育所運営事業者を公募し、事業予定者として 8 事業者を決定	・待機児童 0 人を目指し、引き続き事業を推進していく。
		進捗状況 概ね順調	
私立保育所の施設整備(老朽改修) (岡山っ子育て局こども園推進課)	・老朽保育所施設の建て替え、大規模改修等に対する補助金交付	・平成 28 年度に補助の対象として決定した保育所運営事業者に対し、建替え工事に対する補助金(2 か年計画の 1 か年目分)を交付(工事の完了は平成 30 年度を予定)	・子どもの安全のため、引き続き事業を推進していく。
		進捗状況 概ね順調	

地域型保育事業の整備 (岡山っ子育成局こども園推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域型保育事業者（小規模保育事業者、事業所内保育事業者）の公募等の実施 ・賃借物件で小規模保育事業所を開設する事業者に対する賃借料の補助金交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 27 年度から平成 29 年度に、地域型保育事業運営事業者として決定した事業者のうち、対象となる 8 事業者に対し、賃借料等に対する補助金を交付 ・平成 29 年 4 月 2 日から平成 30 年 4 月 1 日の間に、地域型保育事業所 8 園が開園（合計定員 204 人） ・地域型保育事業運営事業者を公募し、事業予定者として 6 事業者を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・待機児童 0 人を目指し、引き続き事業を推進していく。
	進捗状況	概ね順調	
延長保育・病児保育事業 (岡山っ子育成局保育・幼児教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所における、保護者の勤務形態の多様化等に伴う需要に対応した開所時間の延長 ・就労者等の子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の医療機関等における一時保育 	<ul style="list-style-type: none"> 【延長保育】 ・利用実績：5,239 人（ほぼ前年並み） ・補助額：88,895 千円（ほぼ前年並み） 【病児保育】 ・平成 29 年度は 17 市町による広域相互利用を開始 ・市内 6 施設 ・平成 29 年度利用実績 6,363 人（市外施設利用 254 人を含む） ・補助額：85,061 千円（含広域負担金） 	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれの事業も引き続き利用拡大を目指す。
	進捗状況	概ね順調	
最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進 (岡山っ子育成局こども園推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育提供区域ごとに施設を定めた市立幼稚園、市立保育所の幼保一体化による、施設の適正化、民営化等 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 4 月 1 日に建部認定こども園が開園 ・平成 29 年度中に甲浦幼稚園・保育園等の認定こども園への移行準備を進め、平成 30 年 4 月 1 日に甲浦認定こども園等 5 園が認定こども園として開園 ・平成 29 年度中に江西幼稚園、岡山中央幼稚園の民営化協議を進め、平成 30 年 4 月 1 日にいずれも民営化実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼保連携型認定こども園 30 園の開園に向け、引き続き事業を推進していく。 ・合わせて、その他の園の民営化等を進める。
	進捗状況	概ね順調	
保育士確保支援事業 (岡山っ子育成局保育・幼児教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格を持ちながら保育所等で就労していない「潜在保育士」への、保育士・保育所支援センターにおける就職相談やハローワークと連携した就職面接会等による就職促進を通じた保育人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日の登録者数 140 人 ・実習体験研修会の実施 6 回 ・就職面接会の実施 2 回 ・保育士応援セミナーの実施 2 回 ・出張相談の実施 週 2 回（マザーズハローワーク） 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の拡充を図り、潜在保育士の登録者数の増加を目指す。
	進捗状況	概ね順調	

保育士等処遇改善事業 (岡山っ子育成局保育・幼児教育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所等に勤務する保育士等に対する国の処遇改善事業（人件費の上乗せや賃金改善など）に加えた市独自の上乗せ補助の実施による保育人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・私立保育所等の保育士等に対して概ね2%の処遇改善を実施 対象者数：1,851人 対象施設数：93施設 		<ul style="list-style-type: none"> ・施設数の増加に伴う対象者数増に対応する。
		進捗状況	概ね順調	
放課後児童健全育成事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブ施設の計画的な整備、運営体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・構成児童数 H29.4.1現在6,831人（470人増） ・施設整備数 15クラブ（学校施設活用6クラブ、プレハブ建設9クラブ） 		<ul style="list-style-type: none"> ・整備が必要な施設数の増加に伴い、そこに配置する支援員等の確保が課題である。
		進捗状況	概ね順調	

施策② 子育てにおけるワーク・ライフ・バランスの推進				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性	
子育てパパ・プレパパ応援事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・パパ（概ね3歳までの子どもを持つ男性）・プレパパ（これから子育てをする予定の男性）を対象とした育児・家事参加に関する意識啓発 ・赤ちゃんのもく浴指導や疑似妊婦体験、料理教室、子どもとのふれあい講座など、育児に関する具体的な技術の習得ができる研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんのもく浴実習を行い、父性の確立、育児参加意欲の高揚を目指すとともに、疑似妊婦体験を行い、妊婦の負担への理解を促し、家事参加につなげた。8回136組参加 ・公民館と連携し、父親対象に料理教室と、子どもとのふれあい講座を実施。4回31組参加 ・子どもの成長発達についての研修や、遊び方、ふれあい方についての講座を実施。2回61組参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートから、意識の高揚は図れているが、家事・育児参加時間の増加にはつながっていない場合もあった。みんなで子育て推進事業と連携し、環境整備も含めてパパの家事・育児参加を促す事業を実施する。
		進捗状況	概ね順調	
みんなで子育て推進事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭を対象にしたワーク・ライフ・バランスの周知・啓発 ・企業等を対象にしたワーク・ライフ・バランスの必要性について理解を深めるための研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の父親を対象とした研修会を開催（年4回） ・企業の経営者や従業員を対象に研修会を開催（年5回） ・子育て期のワークライフバランスについてチラシを作成し、こんにちは赤ちゃん事業での配布物として子育て世帯へ配布（6,500枚） 		<ul style="list-style-type: none"> ・企業向けの研修については、業種業態・規模、参加者の仕事内容等の違いにより反応が異なるため、内容の工夫が必要。
		進捗状況	概ね順調	

女性が輝くまちづくり推進事業 (ワーク・ライフ・バランスの推進) [一部再掲] (市民協働局女性が輝くまちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営者や男性管理職等を対象にした講演会やセミナーの開催、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの重要性の啓発、企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等、ワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向け女性活躍シンポジウム1回開催 191名 ・男性管理職向けセミナー5回開催計119名 ・企業紹介事業 リーフレット 5,000部作成 紹介企業数2社 	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム、セミナー等は、順調に開催しているが、さらに参加者を増やすために、効果的なPRや関係団体との一層の連携が必要。

施策③ 母子の健康づくりへの支援			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
妊産婦相談支援事業 (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期から産後に特化した助産師等専門職による相談窓口「おかやま産前産後相談ステーション」の設置による妊産婦の相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出時面接相談 1,720件 ・その他面接相談 1,246件 ・電話相談 2,751件 	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出数は概ね見込み通りだった。今後も妊娠届出時等に専門職による相談支援の充実が図れるようステーションの拡充を図る。
乳児家庭全戸訪問事業 (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> ・生後4か月までの乳児のいる家庭への愛育委員(訪問ボランティア)の訪問による、子育てに関する情報提供や不安・悩み相談、支援が必要な家庭を適切な支援につなげるための取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問対象数6,247人 ・訪問件数6,097人 ・訪問率97.6% 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年高い訪問率を維持している。引き続き、育児の孤立化防止と地域の中で子育て支援につながる訪問に努める。

施策④ 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
子育て応援サイトの運営 (岡山っ子育て成局地域子育て支援課)	・妊娠から出産、育児に関する子育て支援情報の官民共同型のポータルサイトへの集約、一元化及び対象者へのタイムリーな発信による、いつでもどこでも必要な情報を得られる環境の整備	・月当たりの閲覧者数：平均 31,921 人 ・年間アクセス数：1,153,277 件 ・新規コンテンツの追加：19 件 ・サイト運営関係者の確保：86 者 ・子育てイベントでの周知広報：年 2 回 ・民間団体との協働イベントの開催：年 1 回		・子どもの成長につれ、サイト利用から離れていくユーザーがいることを踏まえ、周知・広報手段の工夫や、サイト構成の見直しを行い、欲しい情報が探しやすく、見やすい状態にする。また、情報提供等していただける関係者の確保に努め、よりよいサイト運営を行う。
		進捗状況	概ね順調	
一時預かり事業 (岡山っ子育て成局保育・幼児教育課)	・家庭において保育を受けることが困難となった乳幼児について、保育園・認定こども園で一時的に預かり、必要な保護を行う事業	・平成 28 年度から育休退園を制度的に見直し、出産した子どもが満 1 歳の誕生日を迎える月の月末まで通常保育の利用継続を認める取扱いとしたため、結果的に利用児童数が減少(利用者数 延べ 55,935 人)		・一時的に家庭での保育が困難になった就学前の乳幼児については、引き続きニーズが見込まれることから事業の維持を図っていく。
		進捗状況	概ね順調	
ファミリーサポート事業 (岡山っ子育て成局地域子育て支援課)	・ファミリー・サポート・センターでの、地域において育児の援助を受けたい者(依頼会員)と育児の援助を行いたいもの(提供会員)との仲介による会員間での育児の相互援助活動の支援	・ファミリーサポート事業活動件数 8,041 件 会員数 3,107 人 (内訳) 依頼会員 2,357 人 提供会員 507 人 両方会員 243 人		・事業の周知及び提供会員の確保を図っていく。
		進捗状況	概ね順調	
シルバー世代産前産後応援事業 (岡山っ子育て成局地域子育て支援課)	・シルバー人材センターの登録者による、事前登録した産前 1 か月から産後 5 か月の妊産婦を対象にした育児・家事支援の実施	・利用登録者数 137 人 ・支援者数 57 人 ・利用件数 829 件		・事業の周知及び支援者の確保を図っていく。
		進捗状況	概ね順調	

子ども医療費助成制度 (保健福祉局医療助成課)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに係る医療費の一部助成並びに小児救急医療の適正な受診についての啓発 	【子ども医療費助成制度】 <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度受給資格証所持者数 就学前児 40,872 人 小学生 36,633 人 中学生 2,262 人 合計 79,767 人 【小児救急医療適正受診啓発事業】 <ul style="list-style-type: none"> 出前講座「こんなときどうする？」の開催 (34 講座 632 人) 啓発グッズの配布等 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、適正受診の啓発に努める
		進捗状況	

政策 12 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
心豊かな岡山っ子応援団賛助団員（団体）	11	81	90（新） 60（旧）	↑	岡山っ子育成局
<p>賛助団員の確保に向け、事業の見直し及び広報活動等を行った結果、団員数が増加し、平成 29 年度は目標値を達成した。引き続き賛助会員として岡山市の子育て支援に関わっていただけるよう、工夫と一層の PR に努め、さらなる団員の増加を図っていく。なお、目標値を達成したこと及び賛助団員の要件を見直したことを踏まえ、目標値を 90 に上方修正した。</p>					
社会参加プログラムに参加して就職に至った発達障害者数（人）	-	8 (H28～29 の合計)	25 (H28～32 の合計)	↑	岡山っ子育成局
<p>社会参加プログラムへの参加により、就労への動機づけにつながったことから、目標値である年間 5 人に概ね達することができた。引き続き、プログラムの充実を図っていく。</p>					
里親等委託率（％）	13.3	13.9	23	↑	岡山っ子育成局
<p>市民協働による制度の普及啓発事業等による里親開拓や新規里親委託に努めるなかで、前年度に比較して施設退所児童の増加もあり、里親等委託率は若干の上昇となった。引き続き里親等委託の推進を図っていく。</p>					
青少年の健全育成に対する満足度（％）	11.1	9.8	20 (H31)	↓	岡山っ子育成局
<p>地域、家庭、学校が協力して青少年を見守る活動が定着してきており、岡山県の非行率は全都道府県中ワースト 3 位から 6 位まで改善されたものの、非行率は高い状況にあり改善の実感は薄いことから満足度が低下しているものとする。</p>					

総括

総合評価

施策① 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり

・「心豊かな岡山っ子応援団賛助団員数（団体）」は、平成 29 年度に事業の見直しを行い、積極的に広報活動を行った結果、子育て支援に賛同し参加協力できる団体数が増加した。また、プレーパークや防災キャンプについて、地域住民の育成、協力体制づくりをさらに進める。（岡山っ子育成局）

施策② 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援

・困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援については、子ども相談主事の配置により、虐待や問題行動等子どもの心配な状況を早期発見し、必要な支援に早期に結びつけることができた。発達障害者への支援や社会的養護体制の充実も概ね順調に推移している。新規里親登録数は減少したが、里親等委託率は若干上昇しており、引き続き制度の普及啓発や里親等への支援を進める。（岡山っ子育成局）

施策③ 若者の健全な成長と自立の支援

・若者の健全な成長と自立の支援は、青少年の健全育成については、概ね順調に推移しており、関係機関との連携をさらに目指していく。また、子ども・若者の支援については、県との連携や関係機関との調整が必要である。(岡山っ子育成局)

主な事務事業

施策① 子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
<p>心豊かな岡山っ子応援団 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て・子育てを社会全体で支えていく気運の醸成に向けた、家庭、地域、事業者、学校園、行政の代表 24 団体で構成する応援団による、官民協働での子育て支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山市こんにちは赤ちゃん事業」で約 6,500 世帯配付する絵本及び子育て情報チラシを提供 ・イベント会場で展示による啓発活動や募金活動を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・応援団の趣旨に賛同し、子育てを支援する賛助団員を引き続き増やす。また、応援団の事業についても様々な広報活動により事業自体の認知度を上げる。
<p>プレーパーク普及事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自発性を引き出し豊かな外遊び体験につながるノウハウを持った者(プレーリーダー)を中心とした地域住民との協働による、地域の公園等での、子どもたちが自然の素材を使った遊びや季節を感じる遊びなどの豊かな外遊びを体験できるイベント(プレーパーク)の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーパークを市内 6 か所で開催するとともに、地域住民をプレーリーダーとして育成するために、各プレーパーク開催地域でプレーリーダー養成講座を実施(43 名へ養成講座修了証を発行) ・外遊びの重要性と、地域ぐるみでの子育て支援環境の充実について、普及啓発するために、研修会を 2 回実施 ・自主的に外遊びに関する事業を実施した地域住民等の 3 団体に対して補助金を交付 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが豊かな外遊びができる場を地域に作るとともに、それを見守る地域住民を育成することが目標であり、平成 29 年度から、地域住民の自主開催を支援する補助金を創設した。しかし、継続的な開催のためには、財源の確保の他に、地域の人材の確保や開催を支援する仕組み作りが必要である。
		進捗状況	概ね順調	
		進捗状況	順調	

次世代育成体験活動促進事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した際に、自らの生命を守る防災技術や知識について、具体的な疑似体験を通じて学ぶことができる機会の提供（防災キャンプ推進事業） ・外国人と英語でコミュニケーションをとりながら、外国や日本の文化・生活体験や自然体験活動ができる機会の提供（おかやまイングリッシュビレッジ事業） 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災キャンプ推進事業を 11 公民館 18 会場で実施（参加児童、生徒数はそれぞれ 849 人、136 人） ・中国学園大学・中国短期大学を中心に地域からも協力をいただき、おかやまイングリッシュビレッジ事業を旧福谷小・中国学園大学で夏・秋の 2 回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災キャンプ推進事業の参加児童、生徒数は前年よりやや減少したが、今後も地域での協力体制づくりを進める。 ・おかやまイングリッシュビレッジ事業参加者の満足度は 95%であり、今後も市民協働を進める。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 困難を抱える子ども・若者やその家庭への支援			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
子ども相談主事の配置 (岡山っ子育成局こども福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・各福祉事務所に子ども相談主事を配置し、問題行動や不登校、虐待等に関する保護者や教職員からの相談に対応（学校園や家庭に向いての対応） ・学校園と福祉等の関係機関との橋渡しによる問題解決の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士や教員OB等の福祉、教育の専門家として 6 福祉事務所に 3 名ずつ、計 18 名配置（平成 29 年度から月 1 回市立小中学校に勤務） ・岡山市版 S S W（スクールソーシャルワーカー）として、課題を抱える子ども及び保護者への支援、学校園の対応の助言、教育機関と福祉機関の連携の支援等に従事 ・相談件数：9,471 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場で虐待や問題行動等子どもの心配な状況を早期に発見し、必要な支援につなげていく。また、教育機関と福祉機関の効果的な連携を図り、問題解決に向けての支援を推進する。
		進捗状況	順調

発達障害者支援センター事業 (岡山っ子育成局発達障害者支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに不安のある家庭への相談対応及び関係機関と連携した就労支援等による発達障害者の自立及び社会参加の促進。 ・発達障害者が安心して暮らすための支援人材の育成や地域支援体制の構築 	【社会参加プログラム】 <ul style="list-style-type: none"> ・年間 28 回開催 ・実支援人数 29 人のうち 4 人が就職 【市民講座】 <ul style="list-style-type: none"> ・年間 2 回開催 ・第 1 回目「自分が輝ける場所 多様な個性～働くこと、楽しむこと～」 211 人が参加 ・第 2 回目「ひとでつながる にじいろライフ 多様な個性～働くこと、楽しむこと～を考える」 280 人が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験を伴う社会参加プログラムは有効であると考えられるため、引き続きプログラムを充実していくとともに、関係機関との連携・ネットワークを構築していく。 ・障害の有無にかかわらず、市民すべてが安心してこころ豊かに暮らせるために、一人でも多くの市民の方に発達障害について知ってもらうことが必要であるため、周知をより一層図っていく。
	進捗状況	概ね順調	
入所施設児童等福祉対策 (岡山っ子育成局こども福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・入所施設児童、里親等への委託児童及び自立援助ホーム入所者の福祉の向上を目的とした、施設の設置者又は運営者及び里親に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事費、見学旅行費、自転車・遊具購入費、球技会参加費、運転免許取得費等に対して補助金を交付 対象入所施設数 16 施設 対象里親数 16 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難を抱える子ども・家庭支援のため、引き続き事業を推進していく。
	進捗状況	順調	
退所児童等アフターケア事業 (岡山っ子育成局こども福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設等を退所した子どもたちの地域社会における社会的自立の促進を目的とした、生活や就業に関する相談、居場所の提供、住居支援等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援延べ件数 819 件 ・居場所の提供延べ利用者数 744 人 ・住居支援延べ件数 4 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・養護施設等を退所した児童の継続支援計画を策定し、自立促進を一層強化する。
	進捗状況	順調	

里親委託等家庭養護の推進 (岡山っ子育成局こども総合相談所)	<ul style="list-style-type: none"> ・里親制度についての社会の制度理解の促進や一般家庭からの里親の開拓 ・保護を要する子どもの家庭的環境の中での安全・安心な生活に向けた、里親・ファミリーホームへの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・市単独及び市民団体との協働により里親制度の普及啓発事業を実施 ・市主催里親制度説明会 8 回 (参加者数 32 人) ・市民協働による里親フォーラム 1 回 (参加者数 80 人) ・市民協働による里親学習会、DVD 上映会等 5 回 (参加者数 105 人) ・市民協働による施設入所児童との交流事業 13 回 (参加者数延べ 137 人) ・一時里親事業の実施 (利用児童数 18 人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託可能な里親が限られている状況があり、市民団体との協働による里親制度の普及啓発事業等により対応力のある里親の開拓に努めるとともに、施設等と連携し里親への支援体制を強化していく。
	進捗状況	やや遅れ	
ひとり親家庭支援事業 (岡山っ子育成局こども福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・母子・父子家庭等の生活の安定に向けた生活相談や就労支援等の実施 ・子どもの基礎学力の向上、高等学校進学等を促進するための、児童扶養手当全額支給世帯の中学生に対する学習支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭相談件数 7,773 件 ・自立支援教育訓練給付金受給者数 7 人 ・高等職業訓練促進給付金受給者数 30 人 ・修了支援給付金受給者数 14 人 ・ひとり親家庭学習支援事業利用者数 56 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・相対的貧困率が高い傾向にあるひとり親家庭への支援を推進していく。
	進捗状況	順調	

施策③ 若者の健全な成長と自立の支援

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
青少年健全育成事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市青少年育成協議会、警察、学校、その他関係機関及び団体等との連携による、補導活動、相談活動、健全育成活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 巡回補導活動 補導回数 471 回、声かけ件数 4,527 回、駅前巡回パトロール 54 回、地域合同補導 17 回 健全育成活動 将棋大会 256 人、明るい家庭づくり作文、絵・ポスター4,724 編 広報・啓発活動 広報紙「いくせい」6 回発行、パネル展 環境浄化活動 有害図書等調査 地域教育懇談会 市内 210 か所、10,165 人参加 その他 研修会等 6 回、「SOS子どもかけこみ 110 番」ステッカー1,410 枚配布 	順調	<ul style="list-style-type: none"> 問題行動が複雑・多岐にわたることが多く、情報を共有する必要があるため、関係機関との連携をさらに目指す。
子ども若者育成支援事業 (岡山っ子育成局地域子育て支援課)	<ul style="list-style-type: none"> 「子ども・若者育成支援推進法」に基づく「子ども・若者支援地域協議会（仮称）」の設置 39 歳までのニート、ひきこもり、不登校などの諸課題を抱える子ども・若者の円滑な社会生活を支援するための、複数の実施機関の連携による支援体制の整備 	進捗状況	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 岡山県の施策と重複する部分が多いため具体的な連携を協議中。

政策 13 女性や若者が活躍できる社会づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合（％）	10.7 (H24)	22.0	16 (H29)	↗	市民協働局
企業や働く人を対象とする女性活躍の啓発事業を行っており、市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合は、上昇している。					
固定的な性別役割分担意識の解消度（％）	65.4	68.1	73 (H31)	↗	市民協働局
企業や働く人を対象とする女性活躍、ワーク・ライフ・バランスの啓発事業や、さんかくウイーク等における啓発事業を行っており、「男性は外で働くもの、女性は家庭を守るもの」とは考えない市民の割合は、上昇している。					
若者（20歳代）の地域活動への参加割合（％）	17.9	20.4	30 (H31)	↗	市民協働局
若者を対象とした地域応援人づくり講座の開催による人材育成等によって、若者の地域活動への参加の割合は目標値に向けて増加傾向にある。					

総括

総合評価

施策① 男女共同参画の推進

- ・企業を対象としたシンポジウムやセミナー、市内企業で働く女性のためのキャリアアッププログラム、女性の再就職を支援する講座など、職業生活における女性の活躍推進に向けた事業は概ね順調である。
- ・社会のあらゆる場での男女共同参画を進めるため、さんかく岡山等で開催した講演会やイベント等は順調であり、さんかくウイークにおいては、実行委員に参加する大学生が増えたことで、世代間交流が広がっており、引き続き、大学に呼びかけるなど幅広い年代の市民の参加を促進していく。
- ・DV等の人権侵害の根絶に向けて相談業務等の支援や啓発を実施したが、複雑・多様化する相談内容に適切に対応するため、今後も相談員の育成や関係機関との連携を一層進めていく。（市民協働局）

施策② 若者の力をいかした地域づくり

- ・地域活動を担う人材の育成につながる講座を36公民館で開催し、そのうち若者を対象とした講座は順調に増加している。安全・安心ネットワーク等地域組織は高齢化や後継者不足の課題を抱えていることから、持続可能な組織として地域課題の解決ができるよう、引き続き、若者の地域活動への参加を促進する必要がある。（市民協働局）
- ・市内大学の学生による地域活性化等の活動に対する支援については、一定のニーズと成果を踏まえて、その対象を拡大し、若者の力を活かした地域づくりの裾野を広げる。（政策局）
- ・ESDに関するインターンシップ・プログラムに参加することで、学生の社会貢献活動への参加や学びの

機会が増え、将来の地域コミュニティにおける担い手の育成につながっている。平成 29 年度は参加者数が減少したことから、大学や学生に対してより積極的に情報発信を行うとともに、引き続き公民館、NPO などの受入先の確保を図る。(市民協働局)

- ・雇用対策等事業は、若者の市内企業への就職を支援することで岡山への定着を図っており、引き続き積極的な情報発信を行い、各種事業への参加者増を図り、市内企業への就職促進を行い、若者の活躍の場を広げていく。(産業観光局)

主な事務事業

施策① 男女共同参画の推進				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
女性が輝くまちづくり推進事業 (市民協働局女性が輝くまちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営者や男性管理職等を対象にした講演会やセミナーの開催、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスの重要性の啓発、企業における働き方改革などの先進事例の情報発信等、女性活躍促進に向けたワーク・ライフ・バランスや多様な働き方の啓発 ・離職した女性のスキルアップや再就職支援、女性社員のキャリア形成の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向け女性活躍シンポジウム 1 回開催 191 名 ・男性管理職向けセミナー 5 回開催計 119 名 ・企業紹介事業 リーフレット 5,000 部作成 紹介企業数 2 社 ・女性の再就職支援事業(補助事業) 3 コース(9 回) 開催 計 47 名 ・女性活躍プログラム(女性向け 3 回連続講座と上司向け講座 1 回) 女性 22 名、上司 17 名 		<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム、セミナー等は、順調に開催しているが、さらに参加者を増やすために、効果的な PR や関係団体との一層の連携が必要である。
		進捗状況	概ね順調	
男女共同参画推進事業(さんかくウイーク) (市民協働局女性が輝くまちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画推進週間(さんかくウイーク)」の期間を中心とした、市民協働による講演会や講座、コンサートなど多彩な催しの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・さんかく岡山を中心に、市内 37 地区公民館等で、約 3 週間にわたり男女共同参画の理解を深めるためのイベントを実施。3,862 人が参加し、さんかくプランの数値目標である「さんかくウイークへの参加者数毎年 3,000 人以上」を達成 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民公募の実行委員の固定化が課題となっていたが、大学生の参加が増え、活性化している。今後は、世代間交流により、一層有意義な活動にしていく。
		進捗状況	順調	

男女共同参画推進事業（さんかく岡山） （市民協働局女性が輝くまちづくり推進課）	・男女共同参画に関する啓発講座や気軽に参加できる多彩なイベント、子どもを対象とした体験型プログラム、男女共同参画を推進する人材の養成を目的とした講座等の開催	・気軽に参加できる多彩なイベント等（さんかくマルシェ）23回、子ども向け体験プログラム（コドモさんかくゼミ）14回、男女共同参画を推進する人材養成講座（さんかくカレッジ）33回を開催し、計2,492人が参加	・子どもを対象とする講座をはじめ、内容の充実を図っており、引き続き幅広い年代の市民の参加促進に取り組んでいく。
		進捗状況	
男女共同参画相談支援センター運営事業 （市民協働局女性が輝くまちづくり推進課）	・専門家や関係機関との連携による、DV、セクハラ、その他の性別に起因する差別等に関する相談業務や必要な支援の実施	・相談件数2,367件（うちDV相談791件） ・特別相談27回（弁護士：14回、心理カウンセラー：12回、精神科医：1回） ・DV被害者自立支援事業6回 ・DV啓発事業4回	・複雑・多様化する相談内容に適切に対応するため、相談員の育成及び関係機関と連携した被害者への効果的な支援が課題である。
		進捗状況	

施策② 若者の力をいかした地域づくり			
事務事業名 （担当部局）	事業概要	取組実績 （H29年度）	今後の課題・方向性
安全・安心ネットワーク支援事業（若者の地域活動への参加促進）【一部再掲】 （市民協働局市民協働企画総務課）	・地域活動を担う人材の育成につながる講座の開催	・各公民館に地域担当職員を配置し、「地域応援人づくり講座」を開催 ・若者を対象とした講座を15館で開催	・持続可能な組織として地域課題の解決ができるよう、若者を対象とした講座をより多く開催していく。
		進捗状況	
岡山ESDプロジェクト推進事業（学生のESD活動への参加促進）【一部再掲】 （市民協働局ESD推進課）	・学生を対象としたESDに関するインターンシップ等のプログラムの提供	・学生が社会課題解決に向けて取り組む岡山のNPOや公民館の取組を体験するインターンシップを実施 【夏季】8月21日（月）～9月8日（金） 参加学生9名 【春季】2月19日（月）～3月6日（火） 参加学生6名	・参加学生や受け入れる公民館・NPO等を安定して確保する。 ・参加後も継続して社会貢献活動に参加する人材を育成する。
		進捗状況	

<p>雇用対策等事業 [再掲] (産業観光局産 業振興・雇用推 進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者やU I J ターン希望者を対象とした合同企業説明会の開催、若年求職者への市内企業での就業体験機会の提供等 ・市内企業の企業情報の収集・整理及び市内大学等の学生への提供による情報発信支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規学卒者等合同企業説明会の開催 10/11 就活フェスタ秋の陣（参加求職者数 74 人） ・U I J ターンを意識した合同企業説明会の開催 8/4, 5 岡山に合説あり。夏の陣（参加求職者数 303 人） ・就業体験先を決めるための合同企業説明会を開催後、マッチングされた企業と求職者で就業体験を実施 8/10 ジョブマッチング（参加求職者数 83 人、内就業体験者数 48 人） ・182 社の企業情報を掲載した企業情報冊子を 5,000 部作成し、県内県外大学、関係機関等へ配布 ・人事担当者向けセミナー等の開催 1/10, 16 スキルアップセミナー（参加企業数 58 社） 個別訪問指導の実施（参加企業 5 社） ・マザーズハローワーク出張相談を岡山ふれあいセンター等市内 6 カ所で開催（参加者数計 64 人） ・中高生向け合同職場体験イベントの開催 8/22 参加事業所数 20 社、来場者数 216 人（中高生、保護者、教員） ・保護者及び学生と地元企業との交流会の開催 1/28 保護者のための就活セミナー「親として知っておきたい「今」の就活」（参加者数 75 人） 2/13, 16, 21, 23 学生と社会人との交流会「岡山ワクワク WORK Cafe」（参加企業 16 社、参加者数 102 人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後若手人材確保がより困難になることが想定され、事業対象者の範囲を拡大させることで市内企業の人材確保を推進する。
	進捗状況	概ね順調	

学校支援ボランティア事業[再掲] (教育委員会生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生や保護者、地域住民が、学校支援ボランティアとして様々な特技等をいかして行う教育活動への支援 ・ 学生同士の連携をいかした授業や放課後学習等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生をグループ化して活動支援を行うモデル事業（学習活動サポーターズの取組）を 2 小学校と 1 中学校で実施 ・ 学校支援ボランティア連絡協議会を設立。事業全体の進め方や課題等を協議（平成 30 年 3 月開催） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデル事業を継続して実施。平成 30 年度は放課後学習会に特化して行い、課題に応じた改善や見直し、計画した企画を実施する。平成 31 年度以降の事業モデルを構築し、持続可能な推進体制づくりを進める。
	進捗状況	概ね順調	
大学生まちづくりチャレンジ事業 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生が地域や市内企業等との協働により実施する地域課題の解決等に資する活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生まちづくりチャレンジ事業として、防災・観光・医療・商店街の活性化・地域資源の活用など 7 大学・12 事業に対して支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援対象となる大学を拡大し、より多様な活動を推進する。
	進捗状況	順調	

政策 14 知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
「学校に行くのが楽しい」と答えた子どもの割合（％）	小：85.8 中：83.5	小：85.9 中：84.1	小：90 中：88	↑	教育委員会
授業改善や学級集団づくりを推進しているが、小学校、中学校ともに基準値から上昇している。					
全国学力・学習状況調査のB問題（主として「活用」に関する問題）の偏差値	小6国語：50 小6算数：50 中3国語：48 中3数学：48	小6国語：51 小6算数：50 中3国語：49 中3数学：49	小6国語：51 小6算数：51 中3国語：50 中3数学：50	↑	教育委員会
子どもが輝く学びづくりプロジェクトによる授業改善の取組を進めた結果、小学校、中学校ともに目標値に向けて上昇している。					
「人が困っている時に進んで助けている」と答えた子どもの割合（％）	小：85.5 中：80.2	小：86.8 中：82.3	小：92 中：90	↑	教育委員会
道徳の授業研究や講演会の実施等により、児童生徒の道徳的価値の理解や実践行動につながり、目標値に向けて上昇している。					
1週間の総運動時間が60分以上の子どもの割合（％）	中2男子：91.9 中2女子：75.3	中2男子：93.4 中2女子：77.7	中2男子：93 中2女子：79	↑	教育委員会
運動習慣の取組の普及に努めた結果、目標値に向けて上昇している。					

総括

総合評価

施策① 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

- ・学力向上については、授業改善に向けた取組を進めた結果、全国学力・学習状況調査の結果は、目標値に向けて上昇傾向にある。しかし、全国平均と比較すると、小学校で全国平均並み、中学校では全国平均を下回っている。今後も、岡山市学力アセスの結果と合わせて、全国調査の結果の有効な活用で、児童生徒の学力等の経年的な把握、授業改善に向けた取組が効果的に行われるような仕組みづくりや場づくり、さらに家庭学習の充実を図っていく必要がある。また、英語教育については、教員及び児童生徒の英語力の向上を図ってきたが、まだ十分とはいえない。英語に触れ、使う機会を増やすことで、英語力を高める必要がある。（教育委員会）
- ・一人ひとりの課題に応じた学習支援については、習熟度別サポート事業や岡山っ子スタート・サポート事

業等が効果的に行われている。学校支援ボランティア事業では、学生グループによる学校支援により、児童生徒の学習の理解度や意欲の向上などの効果が認められるが、一方で、学生同士の横のつながり強化のために、小グループを作る・学校内にボランティア交流スペースを作るなどの対策を行ったが、有効に活用することができず、学生のグループ機能を充実させる難しさなどの課題も判明している。(教育委員会)

施策② 人や自然との関わりを通じた豊かな心の育成

- ・豊かな心の育成については、心豊かな子どもの育成事業による道徳授業プロデューサー事業の実施や芸術体験活動等が順調に進捗している。また、キャリアスタートウィークやユネスコスクール推進事業についても、概ね順調な進捗状況で、地域の方々との交流や体験活動等により、社会の担い手として主体的に学ぶ児童生徒の育成につながっている。(教育委員会)

施策③ 健康教育の充実による健やかな体の育成

- ・運動習慣の定着については、体育の授業時間以外で体を動かす重要性や子どもの運動習慣の定着に関する取組について、体育担当者の研修等を通じて周知を図っており、運動習慣の定着が進んでいる。(教育委員会)

施策④ 一人ひとりの育ちを支える指導・支援の充実

- ・不登校児童の出現率がやや高くなっている。一人ひとりの特性や課題に応じた指導・支援をさらに充実させる必要がある。(教育委員会)

主な事務事業

施策① 主体的な学びの推進による確かな学力の育成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
<p>学力向上推進プロジェクト (教育委員会指導課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査の結果分析と授業づくりへの活用 ・子どもの課題を踏まえた独自問題による岡山市学力アセスの実施と結果分析 ・大学等との連携による「中学校校区を単位とした学校園一貫教育～岡山型一貫教育～」の推進及び授業改善等に向けた取組の実施等 	<p>【岡山市学力アセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの課題を踏まえ、本市の教員が平成29年度試行実施の問題及び平成30年度実施の問題を作成。平成29年度試行実施の結果については市HPに掲載 <p>【子どもが輝く学びづくりプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校区での学力向上と学校評価を組み合わせ、「岡山型一貫教育」を推進 ・指導主事や大学教員が参加する公開授業や研修を行うことで、授業改善を推進（14園、23小学校、9中学校、で公開保育・授業を実施） <p>【授業これだけは！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力調査の結果をもとに、授業改善の方向性や具体例をまとめた「アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのガイドブック vol.2」を配付 <p>【指導教諭の活躍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが輝く学びづくりプロジェクト3年次実施校へ指導教諭を派遣 <p>【学力向上プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教員によるプロジェクトチームが、本市の実態に応じた学力向上のための取組を実施（7/20 ますかっ と夏季講座、10/25 ますかっ と秋季講座、1/16 ますかっ と冬季講座を開催） <p>【家庭学習これだけは！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の家庭学習についての取組の改善を図るため、家庭学習に関する好事例を紹介した資料を全校に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査及び岡山市学力アセスの結果をもとに、小4から中3までの児童生徒の学力状況を経年的に把握することで、岡山市の子どもに学力に係る課題を明確にするとともに、授業改善に向けた取組が効果的に行われるような仕組みづくりや場づくりを行っていく。
		進捗状況	

おかやまっ子チャレンジアッププロジェクト (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが自校の現状と課題を主体的に考え、中学校区で目標を設定して取り組み、解決をめざす実践の促進 ・市民の学校教育への関心度向上及び子どもの意欲向上に資するため、主体的に取り組む子どもの様子、他校の参考になる実践等の広報・周知の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や子どもたちの取組を市民に周知するイベント「おかやまっこ未来フェスタ 2017」を開催 ・「家庭学習」「メディアコントロール」「小中一貫した指導」「地域協働」等の参考となる取組を進めている中学校区を選考し表彰すると共に、取組をまとめたDVDを作成し、市立学校及び市民に配布し周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や子どもたちの取組を市民に周知するイベント「おかやまっこ未来フェスタ」への学校の主体的な参加方法や地域・保護者の意見の収集方法について、さらに工夫する必要がある。
習熟度別サポート事業 (教育委員会教職員課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 2～6 年生の授業における 10 人未満の小集団による習熟度別授業や放課後学習指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 クラスの平均児童数 10 名以上の小学校で 2 年生から 6 年生が対象。82 校に習熟度別サポーター94 人を配置 ・10 人未満の小集団で習熟度別授業や放課後学習指導を行うことで、基礎・基本の確実な習得を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師不足の中、資格を有する人材の確保が難しくなっている。
岡山っ子スタート・サポート事業 (教育委員会教職員課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小 1 プロブレム解消を目的とした一定規模以上の学校への教育支援員配置による円滑な義務教育のスタートの支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 年生 1 クラスに 30 名以上の在籍がある学級が存在する学校 (30 校) に岡山っ子スタートサポーターを 95 人配置 ・具体的に児童一人ひとりの課題を把握し、円滑な義務教育のスタートやつまずきの早期発見・早期解消を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童数の増減により、昨年度配置校だった学校でも未配置になることがあり、安定した児童支援が行われないという課題がある。

英語教育推進事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力・英語力向上のための校内研修への支援 ・英語教育推進指定校事業の実施による指導方法と教材開発研究の推進 ・小中学校へのALT（外国語指導助手）の配置 ・地域教材開発プロジェクトの実施 ・民間検定試験を活用した英語力向上事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを50人配置 ・英語教育推進者研修講座を受講した中核教員が各校で実施する校内研修へ講師を派遣 ・英語教育推進指定校（小学校1校、中学校1校）を指定し、授業公開及び研究協議会を実施 ・国の動向を踏まえた指導力向上を目指して、中学校英語担当者を対象に、文部科学省教科調査官等を招聘しての研修会を10月に実施（小学校外国語活動担当者対象には新教材に関する説明会を指導課が実施） ・新学習指導要領の全面実施に向けて、先進的な研究成果を広げるため、公開授業研究会を実施 ・外国人留学生等を中学校へ派遣し、岡山を英語で紹介する学習機会を設け、そこでの発表をもとに冊子を作成・配付 ・民間検定試験を活用した英語力向上事業をモデル校の7中学校で1学期と2学期に各校2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標として設定している生徒の英語力とは依然として開きがある。教員・子どもたちとも英語に触れ、使う機会を増やすことにより、子どもたちが身近なことについて外国人とコミュニケーションをとることができる英語力を高める必要がある。
教育課題別研究事業 (教育委員会教育研究研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協力校と連携した具体的な授業実践と指導方法の研究 ・研究成果資料の作成と研修等での活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協力校2校において、主体的・対話的で深い学びの実現の研究に取り組み、実態把握アンケート、指導主事・大学教員等による校内研修での出前講座、検証授業（公開）等を実施 ・研究成果物を全校に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善に関しては、指導課と連携し教員の授業力を向上させる必要がある。 ・研修とリンクした効果的な発信の場を工夫し、研究成果の普及を図る必要がある。

学校支援ボランティア事業 (教育委員会生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や保護者、地域住民が、学校支援ボランティアとして様々な特技等をいかして行う教育活動への支援 ・学生同士の連携をいかした授業や放課後学習等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生をグループ化して活動支援を行うモデル事業（学習活動サポーターズの取組）を2小学校と1中学校で実施 ・学校支援ボランティア連絡協議会を開催し、事業全体の進め方や課題等を協議（平成30年3月開催） 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業を継続して実施。平成30年度は放課後学習会に特化して行い、課題に応じた改善や見直し、計画した企画を実施する。平成31年度以降の事業モデルを構築し、持続可能な推進体制づくりを進める。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 人や自然との関わりを通した豊かな心の育成			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
心豊かな子どもの育成事業 (旧：はぐくむ心・あったかハート事業) (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の教科化に向けた道徳教育担当者の研究協議会及び授業研究の実施 ・子どもが地域等の様々な人の多様な生き方を学ぶ講演会の実施 ・リーフレットや郷土資料集等を活用した道徳の授業力向上の推進 ・小学校第6学年を対象とした演劇鑑賞会の実施等 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協議会の実施 道徳教育推進教師約130人参加 ・あの人の生き方に学ぶ講演会 8校に講師を派遣 ・道徳授業のプロデューサー事業 初年度6校、2年次2校、3年次2校で実施 ・芸術体験活動 57校約3,500人第6学年の児童が鑑賞 ・リーフレット「道徳科これだけは！」を岡山市内全教員に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施校が研修を通して得た成果を実施校以外の学校にも広げていくために、公開授業及び研究協議会の参加者を増やしていくことが必要である。
	進捗状況	概ね順調	
岡山キャリアスタートウィーク事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生を対象とした職場体験活動等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全38中学校の2年生を対象に、職場体験活動を実施（受け入れ事業所：2,100箇所超） ・キャリア教育の推進を図るための研修会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・各校での職場体験活動について、他の学校の取組や実践を共有し、広めていくことが今後の課題である。
	進捗状況	概ね順調	

ユネスコスクール推進事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のユネスコスクールや各地域のコンソーシアムとの交流と学校間ネットワークの充実 ・地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わるESD活動の推進 ・ESD実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立小中学校を対象にESDに係る研修会を8月に実施 ・ユネスコスクール推進校を対象の研修会を年3回実施 ・「岡山子どもESDフォーラム」を10月に実施 ・市立学校各校のESDに係る校内研修会への講師派遣を実施 ・ユネスコスクール推進校が地域とともに行う活動に対する費用助成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市立学校において、学校教育基本計画の中にESDの推進が位置付けられている。また、ESD推進に係る冊子を作成し、研修会等で活用した。それらの取組を継続し、岡山市立学校全校の取組をさらに推進していきたい。 	進捗状況	概ね順調

施策③ 健康教育の充実による健やかな体の育成					
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)		今後の課題・方向性	
運動習慣定着化事業 (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・運動するきっかけづくりとなる体育の宿題等の取組の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校中学校体育担当者の研修会において、運動習慣の取組についての資料による説明とグループ協議を実施 ・協力者会議委員による実践の成果を、市作成の指導資料冊子に掲載し、市内全ての小中学校に配付 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校中学校間での接続・連携を強めていく必要がある。 ・実践方法について担当教員の理解と共有を図る。 	進捗状況	概ね順調
子どもの命を守る岡山市立学校におけるAED整備及び応急手当普及員研修事業 (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校へのAEDの設置 ・応急手当普及員講習への教頭等を中心とした参加の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校の管理職42名が応急手当普及員の資格を取得 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当普及員研修と一次救命研修をうまくリンクさせていきたい。 	進捗状況	概ね順調

学校保健事業 (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門家と連携した薬物乱用防止教室等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導連絡等の機会をとらえて、薬物乱用防止教室実施を啓発。薬物乱用防止教室の実施率 88.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬物乱用防止教室の指導ができる外部講師を確保していく必要がある。
	進捗状況	概ね順調	
スーパー食育スクール事業における成果の普及事業 (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客観的数値を活用した指導の実施と家庭等と連携した食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業展開の拡大と迅速化を図るため、前年度の取組事例を整理して全校に提示 ・ 身体測定機器を活用した保護者対象の試食会等を実施（身体測定機器延べ使用者数 4,599 人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業等における児童生徒を対象とした身体測定機器の活用を図る。
	進捗状況	概ね順調	

施策④ 一人ひとりの育ちを支える指導・支援の充実			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
共に生きる子どもを育てる障害児支援事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育支援員、看護支援員の配置 ・ 実践研究校の指定による「特別支援教育の視点を生かした授業づくり実践研究」の実施 ・ 「特別支援連携協議会」、「合理的配慮検討会議」の開催 ・ 特別支援教育相談窓口による相談・支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育支援員 339 名配置 ・ 看護支援員 7 名配置 ・ 実践研究校の指定による「特別支援教育の視点を生かした授業づくり実践研究」の実施 3 校指定 ・ 特別支援教育相談窓口受理件数 211 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育支援員の配置について、基準の見直しが必要となっている。 ・ 特別支援教育相談窓口の利用について、受理件数の増加だけでなく、継続支援の内容の深化等を進める。
共に成長し合う学級集団づくり推進事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中学校における学級適応感測定のための質問紙調査等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問紙調査「hyper-QU」又は「ASSESS」を全小中学校で年 3 回実施 ・ 調査結果を活用した学級集団づくりを全小中学校で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師の見取りによる児童生徒理解と合わせて、共通指標を用いることで、更に児童生徒理解を進め、学級集団づくりに活かす。

スクールカウンセラー配置事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 小中高等学校へのスクールカウンセラーの配置による、子どもや保護者のカウンセリング、教職員への助言及びカウンセリングの技法の研修等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小中高等学校に「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置 配置校…36 小学校、37 中学校、1 高等学校、計 74 校 平成 29 年度から配置のない小学校へも勤務を開始 スクールカウンセラーのうち、経験豊富な 7 名をスーパーバイザーとして委嘱し、経験の浅いスクールカウンセラーに対して指導助言を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士の数を増やしたり、スーパーバイズ機能を充実させたりすることにより、スクールカウンセラーの資質向上を図る。
	進捗状況	概ね順調	
不登校児童生徒支援員配置事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校への不登校児童生徒支援員配置による、不登校の未然防止と深刻化する前の早期解決への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 48 校分、中学校 34 校分、合計 82 校分を配置 平成 28 年度の不登校児童生徒の出現率 (100 人当たりの人数) 小学校 : 0.64 人 (平成 27 年度 : 0.57 人) 中学校 : 2.79 人 (平成 27 年度 : 2.91 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 別室登校の児童生徒をより効果的に支援できるよう配置を進める。
	進捗状況	概ね順調	
教育相談室・適応指導教室整備事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市教育相談室・岡山市適応指導教室の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ラポート牧山の耐震改修工事が終了 岡山市中央卸売市場管理棟 3 階に南部適応指導教室を開室 (暫定設置) 教育相談室・適応指導教室を条例化 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年 4 月から岡山市教育相談室及びあおぞら操山を操山公民館 3 階に開室する。 南部適応指導教室の常設設置場所を検討する。
	進捗状況	概ね順調	
日本語指導講師派遣事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の能力が十分でない外国人児童生徒への日本語指導及び適応指導等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 帰国・外国人児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童生徒 26 名に対して、日常生活及び教科学習に必要な日本語指導及び適応指導のため、日本語指導支援員を延べ 377 回派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 帰国・外国人児童生徒の出身国が多様化しており、帰国・外国人児童生徒の母国語に対応できる日本語支援員の人材の確保が必要である。
	進捗状況	概ね順調	

政策 15 家庭・学校・地域が協働で進める教育力の向上

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
「子どもと向き合う時間が充足している」と答えた教職員の割合（％）	50.2 (H28)	53.2	60	↗	教育委員会
業務改善や負担軽減につながる事業の効果が出ており、基準値から上昇している。					
全 38 中学校区のうち、地域協働学校に指定した中学校区数（中学校区）	30	31	35	↗	教育委員会
基準値から上昇しているが、平成 28 年度の実績値と変わらない。未設置の中学校区においては、組織作りのための研修会を開き、2 中学校区が平成 30 年度の設置へ向けて準備を進めた。					

総括

総合評価

施策① 教職員の資質能力の向上と支援体制の充実

- ・教員の採用については、受験者数がやや減少している。今後、受験者数の増加に向けてさらに広く岡山市の教育をPRしていくことが必要である。教職員の育成については、若手の育成に重点を置いた取組が順調に進んでおり、各校のOJTによる若手育成の体制をさらに強化していく必要がある。（教育委員会）
- ・教職員の支援体制については、学校業務アシスト事業により、教職員の8割以上が「子どもと向きあう時間の確保につながった」と回答しており、当該事業の効果が表れている。また、部活動サポート事業は、部活動の充実と教員の精神的、時間的負担の緩和につながっている。（教育委員会）

施策② 安全・安心で快適な教育環境の整備

- ・安全・安心で快適な学校施設については、平成 29 年度に学校耐震改修整備事業が完了し、平成 30 年度完成予定の高島小学校校舎増築事業及び中学校普通教室への学校空調設備整備事業が順調に進捗している。（教育委員会）

施策③ 家庭・学校・地域の連携強化

- ・家庭・学校・地域の連携については、地域協働学校の指定及び家庭を支える社会全体への働きかけなどが進んだことにより、強化されてきている。また、地域コーディネーター（平成 30 年度からは地域学校協働活動推進員）配置校が増えることにより、学校園へのボランティアの導入が促進され、子どもの地域での多様な経験や地域の人と触れ合う機会などが増えている。（教育委員会）

主な事務事業

施策① 教職員の資質能力の向上と支援体制の充実

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
教職員研修事業 (教育委員会教育研究研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質能力の向上を目的とした、キャリアステージに応じた系統的・継続的な教職員研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・141講座の教職員研修を実施 ・教職経験5年までの経験年数別研修等の充実により、若手教職員の指導力向上を支援 ・授業公開等の実践的な研修により、教科指導力を育成 ・マネジメントについての研修を充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアステージに沿った育成指標を研修計画に反映させる。 ・経験年数や職種の異なる教職員に対するマネジメント力向上の研修も体系化し、系統的にマネジメント力の育成を図る。
		進捗状況	
教職員の力量を高める教育研究事業 (教育委員会教育研究研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・市の教育課題や学校のニーズに対応する実践的な調査研究の実施 ・教職員への教育情報の提供、調査研究の成果の普及や指導助言等 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で先輩教職員が若手教職員を育成することができる仕組みづくり（OJTの推進、先輩教職員から若手教職員への学校現場での「技・思いの伝達」が進むような支援）等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教職員育成の取組には、学校により差がある。様々な研修でOJTの必要性を周知し、研究成果物の活用を通じて、推進を図っていく必要がある。
		進捗状況	
若手教職員育成事業 (教育委員会教育研究研修センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教職員育成に関するOJTの研究及び推進 ・若手教師フォローアップ研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導教諭3名の示範授業DVDを制作し全校へ配付 ・若手教職員の育成につなげるためのOJTの研究及び冊子作成等を進めた。OJT冊子は全校へ配付 ・若手教職員の学びの充実と、先輩教職員のメンターとしての自覚の促進を図るため、初任研と5年研の合同研修、2年目研と指導教諭研との合同研修、若手教師フォローアップ研修等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内OJTによる組織的な若手教職員育成が軌道に乗るように、具体的なOJTの方法の周知や効果的な実践例の紹介を、引き続き行う必要がある。
		進捗状況	

特色ある岡山市 教職員採用試験 実施事業 (教育委員会教 職員課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市が求める「情熱」「力量」「人間力」のある教職員の確保を目的とした市単独での教職員採用試験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市教職員採用試験実施に向け、広報活動として一般説明会と大学説明会を実施 <p>【一般説明会】 県内会場 1 回、 県外会場 3 回（広島、大阪、神戸） のべ 114 名が参加</p> <p>【大学説明会】 県内 11 大学、 県外 30 大学 のべ 435 名が参加 結果として 682 名が出願</p> <p>【大学説明会（3 年生対象）】 県内 7 大学、 県外 8 大学 のべ 325 名が参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に教員採用試験の受験者数は減少傾向にある。岡山市についても昨年と比べ、受験者が減少している。岡山市の求める人材を確保していくためには、広く岡山市の教育を PR して受験者数を少しでも増加させていくことが課題である。
	進捗状況	概ね順調	
学校業務アシ スト事業 (教育委員会教 職員課)	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の事務処理等の業務改善と、児童生徒と向き合う時間の確保を目的とした、小中学校への学校業務アシスト職員の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 週当たり大規模校 30 時間、中規模校 20 時間、小規模校 10 時間、極小規模校 5 時間配置 学校へのアンケート 「勤務負担軽減につながっている」…83.0%、 「事業を活用することで、子どもと向き合う時間の確保につながる」…82.6% 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員のワークライフバランス実現に向けた取組の一つとして、教職員の負担軽減を図り、児童生徒と向き合う時間の確保ができているか、検証する。
	進捗状況	順調	
部活動サポ ート事業 (教育委員会保 健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> 部活動の充実発展と部活動顧問教職員の負担軽減を目的とした、中学校及び高等学校への外部指導者の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 市内 37 の中学校及び高等学校に、のべ 121 名の外部指導者を登録（募集時の予定人数 100 人） 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度から部活動指導員配置事業を開始し、教員の負担軽減が図れているかを検証する。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 安全・安心で快適な教育環境の整備

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
学校耐震改修整備事業 (教育委員会学校施設課)	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度までの完了に向けた学校施設の耐震化工事の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修工事の実施 小学校 25 校 39 棟 中学校 2 校 4 棟 耐震改築工事の実施 平成 29 年度完成 鹿田小、小串小、岡輝中 (全て前年度からの繰越事業) 		<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度ですべての学校の耐震化を完了した。
		進捗状況	順調	
校舎等増改築事業 (教育委員会学校施設課)	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に児童生徒数の増加が見込まれる学校の校舎等の増改築の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 高島小学校校舎増築工事に係る文化財発掘調査の実施及び新校舎建設工事の着手 増築校舎 鉄骨造 3 階建 延床面積 2,937 m² 		<ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度の完成に向けて、工事の進行管理等を適切に行うことが必要である。
		進捗状況	順調	
学校空調設備整備事業 (教育委員会教育企画総務課、学校施設課)	<ul style="list-style-type: none"> 教室内環境改善のための空調設備の早期導入 	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山市立学校における空調設備整備検討会議」の実施 検討会議の結果を踏まえ、平成 30 年 2 月に市の整備方針を策定し、全市立中学校の普通教室及び特別支援教室への一斉整備を決定 		<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業日の短縮についての検討や、空調運用指針の策定が必要である。
		進捗状況	順調	
小規模校における ICT を活用した学校づくり事業 (教育委員会就学課・指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ICT を活用した遠隔合同授業の実施等 	<ul style="list-style-type: none"> 導入校においてインターネットテレビ電話を活用した授業を実施 年間 3 回、導入校の担当者を対象に授業における ICT 活用や効果的な交流の方法についての研修会を開催 		<ul style="list-style-type: none"> 教職員の ICT 活用指導力の差が大きく、学校での取組にも差がある。効果的な交流方法や軽微なネットワーク障害の対処法を、研修等で周知していく必要がある。
		進捗状況	概ね順調	

ICTを基盤とする情報活用能力アップ事業 (教育委員会就学課・指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育ネットワークの最適化 ・情報教育カリキュラムの作成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領実施に向けて必要な児童生徒の情報活用能力及び情報モラルの育成について研究を深め、小学校で必修化されるプログラミング教育については、大学講師や学校と協力し、児童向け体験講座や教員向け研修会を実施 ・教育用・校務用パソコンのリース契約一本化に向けた段階的なリース契約を実施（平成31年度に一本化の予定） ・教育ネットワーク最適化事業では、全小中学校において、ネットワーク機器の更新や教職員用パソコンのウイルス対策等の集中管理、Webサイトの閲覧制限等、信頼性とセキュリティレベルの高い新教育ネットワークへの移行作業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省から平成29年末に示された情報化における方針を踏まえて、「岡山市学校教育における情報化基本方針」の作成を進めている。現在、学校間でICT機器整備状況が違うことから、児童生徒の情報活用能力の育成や教員のICT活用指導力に差が生じてきているため、ICT機器の整備計画も盛り込んだ方針の策定が急務である。
	進捗状況	概ね順調	
学校図書館の充実 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の教育内容と子どもの興味関心に合った図書資料の計画的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度開校の緑ヶ丘中以外の全小・中学校で学校図書館図書標準を維持 ・学校図書館システムにより正確な蔵書冊数を把握し、利用価値の低くなった図書の廃棄・更新を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各学校が保有する古い図書資料の更新を進める。
	進捗状況	概ね順調	

施策③ 家庭・学校・地域の連携強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
地域協働学校の推進と学校評価の充実 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域住民が学校運営に参画・評価できる「学校運営協議会」の設置促進による地域協働学校指定数の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度設置に向けた2中学校区（2中学校、5小学校、5幼稚園）の組織作りを支援 ・8月に学校園長、地域の方を対象に地域協働学校フォーラムを実施 ・2月に全学校園長及び学校運営協議会委員を対象に研修会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・未設置の中学校区では、学校運営協議会のメンバー選定に苦慮しているところもある。 ・平成37年度までに全校指定する。
		進捗状況	順調

家庭教育支援事業 (教育委員会生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育に関するリーフレットの配付や啓発イベント等の実施 ・地域や企業等が実施する研修会等への家庭教育支援アドバイザーの派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの配付やイベントの開催、アドバイザーの派遣などによる保護者や支援団体への啓発、支援を実施 ・家庭教育支援アドバイザー派遣回数 20 回 ・家庭教育支援フェア参加団体及び参加人数 24 団体/630 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー派遣のより一層の拡充を行う必要がある。 ・関連施策を行う庁内の関係課との共同事業実施や情報交換、互いの役割の明確化を進めていく。
	進捗状況	概ね順調	
地域コーディネーター事業 (教育委員会生涯学習課)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区又は中学校区単位での「地域コーディネーター」の配置促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校区または中学校区に、地域コーディネーターを配置し、地域コーディネーターが中心となって、学校関係者や地域の代表、地域住民・学生等のボランティア、保護者等が連携・協働しながら、学校支援活動を幅広く実施 ・14 団体 46 校園で実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度をもって事業終了。
	進捗状況	概ね順調	
スーパー食育スクール事業における成果の普及事業[再掲] (教育委員会保健体育課)	<ul style="list-style-type: none"> ・客観的数値を活用した指導の実施と家庭等と連携した食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の取組事例を整理して、全校に示し、事業展開の拡大と迅速化を図った。 ・身体測定機器を活用した保護者対象の試食会等を実施（身体測定機器延べ使用者数 4,599 人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業等における児童生徒を対象とした身体測定機器の活用を図る。
	進捗状況	概ね順調	

政策 16 生涯にわたる豊かな学びの充実

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
市立図書館の市民1人当たりの年間貸出冊数(冊/人)	6.3	6.1	6.4	↓	教育委員会
インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業や岡山連携中枢都市圏の図書館相互利用での貸出冊数は増加しているが、全国的な読書離れが進んでいることから、基準値から下落していると考えられる。					
公民館主催講座・クラブ講座における利用延べ人数(人)	815,750	811,425	816,000	↓	教育委員会
クラブ講座の講師・講座生の高齢化に伴い、クラブ講座が減少傾向にあり、基準値からやや下落している。					

総括

総合評価

施策① 豊かな学びの機会と場の提供

- ・図書館サービスの充実について、インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業は、モデル事業として実施している3か所の公民館での予約数が実施以前と比較して約4.4倍に増加している。また、岡山連携中枢都市圏の図書館相互利用でも、連携市町の住民一人あたりの年間貸出冊数が実施以前と比較して増加している。これらの事業も活用しながら、目標値を達成できるよう、利便性の向上に努める必要がある。（教育委員会）
- ・操山公民館の完成に伴い、中学校区単位で配置している公民館の設置が完了する。今まで以上に、公民館を核として地域活動が活発になるよう、多様化する学習ニーズに対応し多彩な講座活動に取り組む。（教育委員会）

主な事務事業

施策① 豊かな学びの機会と場の提供

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
公民館運営事業 (教育委員会生涯学習課公民館振興室)	・市民の様々な学習ニーズに対応した各種講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・主催講座数 1,160 講座 ・利用人数 294,983 人 (内訳) 共生のまちづくりの促進 211 講座、環境意識の高揚 97 講座、健康づくりの支援 106 講座、子育て・青少年の健全育成 229 講座、パソコン教室 128 講座、その他 389 講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの分野別の課題を E S D の視点から見直したり、地域課題解決の糸口となる学びの機会(講座)を充実させる。
		<table border="1"> <tr> <td>進捗状況</td> <td>概ね順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	概ね順調		
公民館建設事業 (教育委員会生涯学習課)	・地区公民館の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・操山地区公民館 平成 29 年 7 月 10 日 建物工事着手 平成 30 年 3 月 30 日 建物工事完了・建物引渡し 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震基準を満たしておらず、耐震改修が困難な旭・上道公民館について、建替えに向けた具体的検討・調整を行う。
		<table border="1"> <tr> <td>進捗状況</td> <td>概ね順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	概ね順調		
公民館耐震改修整備事業 (教育委員会生涯学習課公民館振興室)	・耐震診断結果に基づく公民館の耐震改修整備	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修工事完了 公民館(瀬戸・足守・東)3 館 ・灘崎公民館のウェルポート内への移転に伴う改修工事完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・木造の分館については、今後策定する個別施設計画の中で今後のあり方を整理する。 ・公共施設等マネジメントの基本方針を踏まえながら、他部局も含め協議・検討を行う。
		<table border="1"> <tr> <td>進捗状況</td> <td>概ね順調</td> </tr> </table>	
進捗状況	概ね順調		

公民館ESD活動推進事業 (教育委員会生涯学習課公民館振興室)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における地域ESD活動講座、ワークショップ等の開催 ・ESD活動に取り組むアジア地域CLC（コミュニティ学習センター）との交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ESD講座・地域再発見ワールドワークや地域ワークショップを開催 ・課題解決に取り組む公民館活動を共有し、発展させるため、ESD公民館大会を開催 ・インドネシア・韓国の視察団の受入れ（4公民館）及び交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館とCLCとの連携を深めるためアジアからの視察を受け入れ、住民との意見交換や交流を通じて、お互いの実践を高め合い学び合う交流を促進させる。
	進捗状況	概ね順調	
インターネット予約図書受取・返却窓口拡充事業 (教育委員会中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館におけるインターネット予約図書受取・返却窓口拡充モデル事業の実施・検証及び実施方針の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度に引き続き、モデル事業として高松・福田・高島の3公民館で実施 ・事業実施前の平成27年度と比較して、3館平均の予約数が約4.4倍に増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル実施期間（平成28・29年度）を1年間延長し、現行の3館に加えて、吉備・操山公民館でも実施。この結果を踏まえて、平成31年度以降の方向性を決定する。
	進捗状況	概ね順調	
図書館相互利用 (教育委員会中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山連携中枢都市圏域の市町住民の利便性向上につながる図書館相互利用の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年11月から、連携市町4市4町（玉野市、備前市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、美咲町、吉備中央町）と図書館の相互利用（本の貸出等）を実施 ・重要事業評価指標(KPI)・・・連携市町住民一人あたりの年間貸出冊数 平成27年度 → 平成29年度 5.9冊 6.0冊 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から相互返却（借りた図書館以外の図書館への返却）を実施するが、相互返却の利用数が増加するに伴い、かなりのコスト増が予想されることから、各自治体との調整が必要となる。
	進捗状況	概ね順調	
図書館業務システム活用による市民サービスの向上及び蔵書の適正管理 (教育委員会中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館業務システムの保守点検業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット予約図書受取・返却窓口拡充事業を継続 ・平成30年度のシステム更新に向け、「岡山市立図書館電算システム構築・運用保守等包括外部委託」の入札公告を実施（開札・契約は平成30年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルや人員体制の整備等を進め、拡充公民館へ新システムを導入する。 ・受託者と協議を進めながら、遅滞なく新システムが稼働できるようにする。
	進捗状況	概ね順調	

図書館施設の改修及び修繕 (教育委員会中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館の計画的な修繕の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年 1 月に財産活用マネジメントが実施した劣化調査の結果を踏まえて、危険度の高い個所や市民サービスに影響のある個所から優先的に修繕を実施 <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館 <ul style="list-style-type: none"> 第 3・第 4 駐車場の設備改修 エレベーター改修 瀬戸町図書館 <ul style="list-style-type: none"> 駐車場段差修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の安全や建物寿命に影響する、劣化度が重度、中度の個所を中心に、緊急度の高いものから順次修繕を行う。
	進捗状況	概ね順調	
郷土資料の保存と活用 (教育委員会中央図書館)	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料の適切な保存と展示など幅広い活用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 【郷土資料の保存】 <ul style="list-style-type: none"> 2 万件の貴重書のうち、古文書 200 件、貴重書 100 冊、新聞 42 カ月分のデジタル化終了 【資料の活用】 <ul style="list-style-type: none"> 郷土資料の展示 4 回（うち 1 回は近隣の博物館等 10 館と共通テーマで連携） 前項、連携展示の参加館によるシンポジウム 1 回 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土資料の保存作業を進めているが、劣化の進行に保存対策が追いついていない。資料をより深く理解し、優先度をつけて保存環境の改善とデジタル化に取り組む。
	進捗状況	やや遅れ	

政策 17 多様な主体による協働のまちづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
ESDプロジェクト参加団体数（団体）	246	275	300 (H31)	↑	市民協働局
平成 29 年度も岡山 ESD プロジェクトの活動を積極的に PR することなどによって、参加団体数は目標値に向けて着実に増加している。					
地域活動への参加割合（％）	39.9	43.3	52 (H31)	↑	市民協働局
地域応援人づくり講座の開催による人材育成、地域活動のサポート等によって、地域活動への参加の割合は目標値に向けて増加傾向にある。					
企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数（団体）	23	32	50	↑	市民協働局
事前報告会の開催など活動の学び合いや情報を共有する取組等によって、企業・NPO法人等が参加した安全・安心ネットワーク数は目標値に向けて増加傾向にある。					

総括

総合評価

施策① ESD活動の拡大と質の向上

- ・ ESD の啓発活動や活動団体の支援、地域で取り組む ESD 活動をメディアやインターネットを活用して情報発信するなど、ESD の認知度向上に取り組み、岡山 ESD プロジェクト参加団体の拡大につながった。今後も引き続き、岡山 ESD 推進協議会の取組を促進し、より質の高い ESD 活動の推進を図る。（市民協働局）
- ・ ESD の推進については、学校教育では、多様な研修やフォーラム等の実施により、ESD 活動の充実が図られるとともに、全ての市立学校において、教育計画に位置付けた ESD の取組が定着してきている。公民館では、全公民館で「ESD 活動推進事業」を取り組んできたことにより、様々な課題に対して当事者意識を持って考え、行動することのできる市民が徐々に育成されてきている。（教育委員会）

施策② 地域における主体的な活動の促進

- ・ 安全・安心ネットワークや町内会等地縁組織による防犯、防災、環境美化等の社会課題解決の取組が継続され、また、地域活性化イベント等の区づくり推進事業の採択件数も増加傾向にあるなど、地域活動は概ね活発に行われている。一方で、組織の高齢化や後継者不足等の課題もあることから、地域における主体的な活動が持続可能なものとなるよう、引き続き担い手の育成や活動経費の一部助成など様々な支援を行っていく。（市民協働局）

施策③ 多様な主体による協働の推進

- ・協働のまちづくり条例に基づき策定した協働推進計画に沿って協働の推進に努めた。市民協働推進本部、協働推進委員会、及び協働フォーラムによる推進体制を活かしながら、ESD・市民協働推進センターのコーディネート機能を一層強化し、条例に定める協働推進施策等を計画的かつ具体的に実施していくことにより、多様な主体の協働による社会課題解決の取組を促進していく。(市民協働局)
- ・地方創生に係る民間企業や大学との包括連携協定締結先を増やし、民間企業や大学等との連携の枠組の幅を広げている。今後は、これらの枠組を活用して連携事項の更なる具体化を図っていく。(政策局)

主な事務事業

施策① ESD活動の拡大と質の向上

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
岡山ESDプロジェクト推進事業 (市民協働局市民協働部ESD推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種フォーラムの開催、ESDコーディネーターの育成、学生を対象としたESDに関するインターンシップ等のプログラムの提供、優良事例の顕彰等を実施する岡山ESD推進協議会の経費への助成、ESD活動等の情報発信等 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がESD活動について理解を深め、話し合う場を提供する岡山ESDフォーラムや、ESD優良事例を顕彰するESD岡山アワードを開催 ・ESDフォーラム/ESD岡山アワード2017 10/21(土) 参加者：約120名 ・ESDの学習プログラムを企画できる人材育成のためESDコーディネーター研修を実施 10/12、11/2、1/11 参加者各19名 ・学生が社会課題解決に向けて取り組む岡山のNPOや公民館の取組を体験するインターンシップを実施 夏季8/21～9/8 参加学生9名 春季2/19～3/6 参加学生6名 ・岡山ESDプロジェクト活動支援助成金を36団体に交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ESD推進協議会を中心として各団体が主体的にESD活動に取り組むとともに、協働で事業を実施し、地域でのESD活動の拡大を図っていく。また、これまでの成果や構築してきたネットワークを活用し、SDGsの普及啓発も図っていく。
		進捗状況	

公民館 ESD 活動推進事業 [再掲] (教育委員会中央公民館)	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における地域 ESD 活動講座、ワークショップ等の開催 ・ ESD 活動に取り組むアジア地域 CLC (コミュニティ学習センター) との交流の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域 ESD 講座・地域再発見フィールドワークや地域ワークショップを開催 ・課題解決に取り組む公民館活動を共有し、発展させるため、ESD 公民館大会を開催 ・インドネシア・韓国の視察団の受入れ (4 公民館) 及び交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館と CLC との連携を深めるためアジアからの視察を受け入れ、住民との意見交換や交流を通じて、お互いの実践を高め合い学び合う交流を促進させる。
	進捗状況	概ね順調	
ユネスコスクール推進事業 [再掲] (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のユネスコスクールや各地域のコンソーシアムとの交流と学校間ネットワークの充実 ・地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わる ESD 活動の推進 ・ ESD 実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立小中学校を対象に ESD に係る研修会を 8 月に実施 ・ユネスコスクール推進校を対象の研修会を年 3 回実施 ・「岡山子ども ESD フォーラム」を 10 月に実施 ・市立学校各校の ESD に係る校内研修会への講師派遣を実施 ・ユネスコスクール推進校が地域とともに行う活動に対する費用助成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市立学校において、学校教育基本計画の中に ESD の推進が位置付けられている。しかし、その取組内容は学校によりさまざまであるため、より ESD の取組を浸透させていくことが今後の課題である。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 地域における主体的な活動の促進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 ・各公民館への地域担当職員の配置 ・公民館等での地域活動を担う人材の育成につながる講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付 (96 学区・地区中 94 学区・地区) ・各公民館に地域担当職員を配置し、地域応援人づくり講座の開催による人材育成、地域活動のサポート等を実施 (36 公民館で 168 回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワーク等地縁組織は高齢化や後継者不足等の課題を抱えていることから、持続可能な組織として、より地域課題の解決ができるよう、若者をはじめとした担い手の育成等必要な支援を行う。
	進捗状況	概ね順調	

電子町内会推進事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・電子町内会システムの講習会や意見交換会、パネル展等による普及啓発 ・スマートフォンやタブレット端末からの閲覧・更新が可能なシステムの再構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催 14 回、延べ 100 人が受講 ・岡山市連合町内会の中にある I C T 推進専門委員会と協力し、パネル展を 4 回開催 ・地域応援人づくり講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子町内会に多くの町内会が参加してくれるように、より一層の普及啓発に努めていく。
	進捗状況	概ね順調	
住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市内の 96 学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 ・町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、1,713 町内会に対し、自治振興報償金の支払 ・町内会集会所新築等補助金の交付 新築 4 件, 修繕 27 件, エアコン 53 件 ・コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業補助金の交付 70 件 ・町内会ハンドブックの作成・配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動が継続的に行われるように支援していく。
	進捗状況	順調	
区づくり推進事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・各区の区づくり推進事業審査会の審査を経て事業採択を行い、補助金を交付 (4 区合計 87 事業) ・各区のホームページやフェイスブック等で事業の情報を発信 ・事例報告等を行うフォーラムを開催 (町内会長ら 39 人が参加) ・地域活動のリーダーを養成する講座を開催 (町内会長ら 34 人が参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・区づくり推進事業の事例に学び合う機会を増やすなどして、事業件数の増加や内容の充実を図る。
	進捗状況	概ね順調	

コミュニティ推進事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の交流の場となるコミュニティハウスの適正な維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修が必要な9館のうち5館耐震改修工事を完了 長寿命化事業(外壁修繕)2館 生活様式の変化等を踏まえた改修 トイレ洋式化 5館 トイレ男女共用解消 2館 コミュニティだよりの発行やコミュニティ協議会会長・事務局長会議における事例発表等活動促進に資する情報を提供 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修等の施設の長寿命化及び利用環境の改善等の適正な維持管理や活動事例の共有により、コミュニティハウスを拠点とした地域住民の交流をより一層促進する。
		進捗状況	

施策③ 多様な主体による協働の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
ESD・市民協働推進センター 運営事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働事業の事業化支援 市民活動のリーダー養成講座や研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な主体の協働による社会課題解決の取組への支援(相談242件) 市民活動のリーダーを養成する講座を開催(23名が参加) 公民館職員と地域担当職員の研修会を開催(4回) 課題の解決方法を検討するワークショップの開催(4回開催 211名参加) 市民協働推進モデル事業の事業化支援(マッチング23件、協働事業化4件)や伴走支援(モデル事業8件中3件が一般施策化)を実施 	<ul style="list-style-type: none"> センターの利用促進を図るため、センターの認知度を上げる。さらに、研修会等を通じて地域活動の担い手を育成する。
		進捗状況	
市民協働推進モデル事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市の社会課題を市民と行政の協働で解決するモデル事業への経費の一部助成 市民と行政双方から課題を提案し、解決方法を検討するワークショップの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働推進モデル事業報告会を開催(95名参加) 平成29年度市民協働推進モデル事業8件実施。そのうち3件は一般施策化 ニーズ調査事業を3件実施 課題の解決方法を検討するワークショップを4回開催(211名参加)し、協働事業化の支援を行い、平成30年度モデル事業6件を採択 	<ul style="list-style-type: none"> 協働の効果の高い事業を実施するため、引き続き、ESD・市民協働推進センターによる伴走支援を行うとともに、報告会等を通じて情報を共有し、協働の手法を広げていく。
		進捗状況	

市民協働推進専用ウェブサイトの運営 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO、ボランティア、市民協働等に関する市民と行政両方の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア募集、市民活動支援制度、市民協働事業、若者の活動、企業の社会貢献活動等の情報を発信 ・市民活動団体等の情報を発信（600を超える団体の情報を掲載） ・ページビュー数(月平均 30,623PV)、ユニークユーザー数（月平均 6,982UU） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市民協働に関する市民と行政の情報発信に努めるとともに、利用の促進を図る。
	進捗状況	順調	
協働のまちづくり条例普及・啓発事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体の協働による社会課題解決の取組を促進するためのフォーラムの開催や優れた取組の表彰 ・協働のまちづくり条例普及のための啓発パンフレットの作成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・条例普及のためのパネル展をイオンモール未来スクエアで2日間実施 ・協働による優れた取組の表彰制度「おこやま協働のまちづくり賞」を募集し、大賞1取組、入賞4取組、奨励賞8取組を表彰。表彰式には225名が参加 ・市民協働推進本部会議・推進員会議の開催及び各課協働事業ヒアリングを実施 ・協働推進委員会（審議会）を5回開催、協働推進計画の評価等を実施 ・市民協働フォーラムを2回開催（1回はまちづくり賞表彰式と同時開催） 	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた取組の表彰、フォーラムの開催、ウェブサイトによる情報発信等により、引き続き、市民への協働の普及・啓発を図る。
	進捗状況	順調	
大学等との連携 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「おこやま地域発展協議体」をプラットフォームとした市内大学や経済界との各政策分野での連携の推進 ・大学の知識や技術、経済界の資源・知見をいかした、地域が抱える種々の課題の解決に資する検討・研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・2大学と包括連携協定を締結 川崎学園大学 H29.5.30 締結 岡山県立大学 H30.3.28 締結 ・平成29年度時点で、民間企業6社と包括連携協定締結し、52件の連携取組を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各民間事業者及び大学と定期的に協議の場を設け、包括連携協定の各連携事項の具体化を図る。
	進捗状況	順調	

施策④ 特色ある区づくりの推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
区別計画の推進	<div data-bbox="442 367 1086 434" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ※取組実績報告（区別計画編）に記載 </div>			
		進捗状況		

政策 18 国際的に開かれた多文化共生のまちづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
国際交流・国際化について満足している市民の割合（％）	11.1	9.4	13 (H31)	↓	市民協働局
市民や民間の参加を図りながら国際友好交流都市・地域を中心とした国際交流事業を幅広く実施しているものの、基準値から減少している。					
岡山市に住み続けたい外国人市民の割合（％）	83.1	72.9	88	↓	市民協働局
日本語教室等の外国人市民への支援や国際理解促進のための交流事業等を行い多文化共生の環境づくりに努めているが、基準値から減少している。					

総括

総合評価

施策① 国際交流の促進とグローバル人材の育成

- ・サンノゼ姉妹都市締結 60 周年記念事業など、国際友好交流都市・地域を中心とした交流や子どもの相互派遣等の事業は順調に進み、国際交流の機運の高まりや子どもたちの国際感覚の醸成につながっている。今後も、市民や関係団体との連携を深め、魅力的な事業の企画に努め、より幅広い市民の満足度が得られるよう、積極的な情報発信を図りながら施策を推進していく。（市民協働局）
- ・学校教育における海外の学校との交流は、ユネスコスクールを中心に概ね順調に進んでいる。英語教育については、研究協議会の実施や研修の充実等により、教員及び児童生徒の英語力の向上を図ってきたが、まだ十分とはいえない。英語に触れ、使う機会を増やし、英語力を高める必要がある。（教育委員会）

施策② 多文化共生の環境づくり

- ・岡山市外国人市民会議から提言をいただき、施策や事業の検討に生かしながら、多文化共生社会の環境づくりを推進している。近年、外国人市民の転入が増加していることも踏まえながら、外国人市民が地域の生活に溶け込み、地域社会の構成員としてともに生きることができるよう地域や関係団体等と協力しながら取り組んでいく。（市民協働局）

主な事務事業

施策① 国際交流の促進とグローバル人材の育成

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
国際交流推進事業 (市民協働局国際課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民や民間の積極的な参加を図りながら、国際友好交流都市・地域を中心とした海外の都市と、教育、文化、防災、医療、経済等の重点分野を絞った国際交流活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【サンノゼ市】 ・姉妹都市締結 60 周年記念事業として岡山市民友好親善訪米団をサンノゼ市へ派遣 【洛陽市】 ・岡山市公式訪問団を洛陽市へ派遣 ・洛陽市人民代表大会常任委員会訪日団が来訪 【富川市】 ・富川市民友好親善訪問団が来訪 【新竹市】 ・新竹市政府視察団が来訪 ・岡山市民友好親善訪問団を新竹市へ派遣 	<p>進捗状況</p> <p>順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民に参加してもらうため、魅力的な事業となるよう内容を工夫するとともに、情報提供の方法も考えていく必要がある。
子どもたちに重点を置いた国際理解の促進事業 (市民協働局国際課)	<ul style="list-style-type: none"> 国際友好交流都市・地域の子どものためのホームステイや、海外子ども派遣事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 【子ども海外派遣】 ・プロヴディフ市（ブルガリア）へ 10 人、洛陽市（中国）へ 8 人、富川市（韓国）へ 10 人、新竹市（台湾）へ 10 人、グアム準州（アメリカ）へ 6 人の中学生を派遣。海外の家族や子どもたちと交流を深め、文化体験、市内視察をするなど、ホームステイを実施 	<p>進捗状況</p> <p>順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・受入事業、派遣事業とともに市民の関心は高く、継続して事業を実施するためには、国際友好交流都市・地域との連携が不可欠であり、今後も丁寧な連絡調整に努めていく必要がある。

<p>英語教育推進事業[再掲] (教育委員会指導課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導力・英語力向上のための校内研修への支援 ・英語教育推進指定校事業の実施による指導方法と教材開発研究の推進 ・小中学校へのALT（外国語指導助手）の配置 ・地域教材開発プロジェクトの実施 ・民間検定試験を活用した英語力向上事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ALTを50人配置 ・英語教育推進者研修講座を受講した中核教員が各校で実施する校内研修へ講師を派遣 ・英語教育推進指定校（小学校1校、中学校1校）を指定し、授業公開及び研究協議会を実施 ・国の動向を踏まえた指導力向上を目指して、中学校英語担当者を対象に、文部科学省教科調査官等を招聘しての研修会を10月に実施（小学校外国語活動担当者対象には、新教材に関する説明会を指導課が実施） ・新学習指導要領の全面実施に向けて、先進的な研究成果を広げるため、公開授業研究会を実施 ・外国人留学生等を中学校へ派遣し、岡山を英語で紹介する学習機会を設け、そこでの発表をもとに冊子を作成・配付 ・民間検定試験を活用した英語力向上事業をモデル校の7中学校で1学期と2学期に各校2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標として設定している生徒の英語力とは依然として開きがある。教員・子どもたちとも英語に触れ、使う機会を増やすことにより、子どもたちが身近なことについて外国人とコミュニケーションをとることができる英語力を高める必要がある。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	
<p>次世代育成体験活動促進事業 (おかやまイングリッシュビレッジ事業)[一部再掲] (岡山っ子育成局地域子育て支援課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人と英語でコミュニケーションをとりながら、外国や日本の文化・生活体験や自然体験活動ができる機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国学園大学・中国短期大学を中心に地域からも協力をいただきながら、おかやまイングリッシュビレッジ事業を旧福谷小・中国学園大学で夏・秋の2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・おかやまイングリッシュビレッジ事業参加者の満足度は95%であり、今後も市民協働で進める。
	<p>進捗状況</p>	<p>概ね順調</p>	

ユネスコスクール推進事業[再掲] (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外のユネスコスクールや各地域のコンソーシアムとの交流と学校間ネットワークの充実 ・地域との協働による地域の自然環境や歴史等に関わるESD活動の推進 ・ESD実践の成果と課題の共有を目的とした発表会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立小中学校を対象にESDに係る研修会を8月に実施 ・ユネスコスクール推進校を対象の研修会を年3回実施 ・「岡山子どもESDフォーラム」を10月に実施 ・市立学校各校のESDに係る校内研修会への講師派遣を実施 ・ユネスコスクール推進校が地域とともに行う活動に対する費用助成を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市立学校において、学校教育基本計画の中にESDの推進が位置付けられている。また、ESD推進に係る冊子を作成し、研修会等で活用した。それらの取組を継続し、岡山市立学校全校の取組をさらに推進していきたい。

施策② 多文化共生の環境づくり			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
多文化共生のまちづくりの推進事業 (市民協働局国際課)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政情報の多言語化とホームページでの情報発信 ・外国人市民会議の開催及び提言書のとりまとめ ・地域・学校・NPO等との協働による外国人市民との交流会の開催や、就学前の子どもたちに対する外国語での絵本の読み聞かせ等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5期岡山市外国人市民会議を開催し、外国人自身が支援する側になれるような仕組みづくり、居住支援、外国人市民の地域社会への参加促進について審議 ・就学前の子どもたちに対して外国語での絵本の読み聞かせ、小学生に対して学校へ出前講座等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5期岡山市外国人市民会議から提言をいただき、施策や事業の検討に活かす。 ・平成30年度に「岡山市多文化共生社会推進プラン」を改訂する。
日本語指導講師派遣事業[再掲] (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の能力が十分でない外国人児童生徒への日本語指導及び適応指導等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国・外国人児童生徒のうち、日本語指導が必要な児童生徒26名に対して、日常生活及び教科学習に必要な日本語指導及び適応指導のため、日本語指導支援員を延べ377回派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰国・外国人児童生徒の出身国が多様化しており、帰国・外国人児童生徒の母国語に対応できる日本語支援員の人材の確保が必要である。

政策 19 誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
人権問題に関する講演会・研修会などに参加したことがある市民の割合（％）	45.9 (H25)	-	47 (H30)	-	市民協働局

総括

総合評価

施策① 人権意識の高揚

- ・人権フェスティバル岡山でのイベントや展示コーナーの工夫をはじめ、人権研修や講演会等で幅広いテーマを取り扱うことにより、参加者の確保ができています。また、人権啓発活動補助金では交付団体も新たに3団体増えるなど、市民協働による人権意識の高揚に向けた取組が着実に進んでいる。今後は、LGBTなど性的マイノリティへの差別や偏見など、複雑・多様化する人権課題に対応した取組を進めていく。（市民協働局）
- ・学校教育における人権教育については、研修講座や学校における研修の内容は充実してきており、教職員の資質向上や児童生徒の人権に関する知的理解の深化、人権感覚の育成に向けた取組が概ね順調に進んでいる。（教育委員会）

施策② 平和を大切にすることを意識の醸成

- ・岡山市平和の日である6月29日に毎年举行している岡山市戦没者追悼式や岡山シティミュージアムで開催をしている岡山戦災の記録と写真展参加者、来場者は遺族の高齢化に伴い減少傾向である。戦争体験者そのものが減少しており、より若い世代へ戦争体験等をどのように継承していくのが今後の課題である。（保健福祉局）

主な事務事業

施策① 人権意識の高揚

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
人権フェスティバル岡山 (市民協働局人権推進課)	・人権フェスティバル岡山の開催	・岡山市、岡山市教育委員会、岡山人権啓発活動ネットワーク協議会、岡山市国際交流協議会の共催で第22回人権フェスティバル岡山を12月3日に岡山ドームで開催(来場者12,000人)	・人権課題の複雑・多様化に伴い、ステージでのイベントや展示コーナーを工夫していく。
		進捗状況	
人権啓発推進事業 (市民協働局人権推進課)	・憲法週間における啓発イベント、各区等を単位とした講演会、映画会等の実施、企業等の人権研修への講師派遣	・岡山市・岡山市教育委員会の主催で憲法週間を記念した行事等を開催 5/9 市民のつどい(来場者700人) 9/10、10/21、11/18、1/13 人権のまちづくり塾(参加者計291人) 1/13 渡辺真由子さん講演会※人権のまちづくり塾との連携講座(来場者150人) 2/10 ハートフル映画会(来場者300人)	・人権課題の複雑・多様化に伴い、講演会・研修会の内容を工夫し、多くの市民の参加を促していく。 ・企業研修への講師派遣回数当初見込みを下回っているため、複雑・多様化している人権課題を的確に把握し、幅広いテーマを取り扱っていく必要がある。
		・企業等の人権研修への講師を派遣(29回、参加者1,712人) ・岡山労働局や県、市などが共催し、公正採用選考人権啓発研修会を実施 10/4 公正採用選考人権啓発推進員研修会(来場者563人) 2/9 公正採用選考人権啓発経営者研修会(来場者876人)	
人権啓発活動補助金 (市民協働局人権推進課)	・人権活動団体が行う啓発事業に対する経費の一部助成	・人権意識の高揚を目的とした団体が創意工夫をこらして行う人権啓発活動15団体、19事業に対して、補助金を交付	・人権課題が複雑・多様化しているため、幅広く人権啓発を行う必要がある。そのため、新たな補助事業者を掘り起こし、様々なテーマを取り扱うことができるよう工夫していく。
		進捗状況	

人権教育推進事業 (教育委員会指導課)	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育に関わる教職員の研修や授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園と中学校区の教職員対象の人権教育研修会、児童生徒対象の外部講師による人権学習 316 回に対し、開催支援を実施 ・幼稚園 2 園・小学校 4 校・中学校 2 校に対し、人権教育推進指定事業を実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・研修講座等で担当者や参加者が学んだ内容を学校園の全教職員へ伝達する。
		進捗状況	概ね順調	

施策② 平和を大切にする意識の醸成				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性	
岡山市戦没者追悼式 (保健福祉局福祉援護課)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦死者並びに戦災死者の顕彰と哀悼の意を表すための、岡山市主催による無宗教献花方式の戦没者追悼式の挙行 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度岡山市戦没者追悼式 日時：H29. 6. 29 場所：岡山市民会館 参加規模：1,600 人 (遺族、来賓、その他参加者) 		<ul style="list-style-type: none"> ・遺族関係の参加者は減少傾向。戦没者追悼式そのものは今後も継続するが、より幅広い年齢層が参加できるような工夫が必要である。
		進捗状況	概ね順調	
岡山空襲展示室事業 (保健福祉局福祉援護課)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦災資料等の散逸を防ぎ、次世代に平和の尊さを伝えることを目的とした「岡山空襲展示室」を活用した情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山戦災の記録と写真展 日時：H29. 6. 16 ～H29. 7. 2 場所：岡山シティミュージアム 入場者：2,916 人 1 日当たり入場者数：194 人／日 (対前年度比 122.8% (158 人／日)) 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料展示のあり方について、戦争体験者の減少などに対応し、より若い世代へ戦争体験等をどのように継承していくのかという視点での検討が必要である。
		進捗状況	概ね順調	

政策 20 生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
健康寿命（歳） 上段：男性 下段：女性	71.6 73.4 (H25)	71.6 74.3 (H28)	72.2 75.3 (H31)	↗	保健福祉局
「運動」「栄養・食生活」「生きがいづくり」を柱とした各事業を総合的に推進することで、健康寿命は延伸したが、さらなる延伸をめざして引き続き、保健施策・介護予防施策の実施が必要である。					
生涯現役応援センターに活動希望の登録を行った高齢者数（人）	61	363	660	↗	保健福祉局
事業の積極的なPR活動等により、登録会員は順調に増加している。					

総括

総合評価
<p>施策① 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命延伸に向けて、地域においては健康ポイント事業をはじめとして、各地区組織や健康ボランティアと連携しウォーキング大会の開催や市民体操を実施することでの日々の活動量増加を図った。また企業と健康づくりイベントを一緒に取り組むことで企業における健康づくりへの意識向上を図ることができた。（保健福祉局）
<p>施策② いきいきと活躍できる生涯現役社会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯現役社会づくりを進めるにあたっては、生涯現役応援センターやシルバー人材センターの取組を通して、高齢者の就労や社会貢献活動の機会拡大を図っている。特に、生涯現役応援センターについては、生涯現役社会の機運醸成のためのシンポジウムの開催や各種セミナー、出張相談会等を開催することにより、同センターに登録して地域で活躍する高齢者の拡大に努めており、登録者は着実に増加している。今後も事業の効果的なPR活動等により、意欲ある高齢者の登録を促進するとともに、幅広い分野の活動先を確保していく必要がある。（保健福祉局）
<p>施策③ 介護予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防の推進にあたっては、介護予防センターにおいて、各中学校区での介護予防教室の開催や、オリジナル体操（あっすれ！もも太郎体操）の普及を通じた地域活動グループの立ち上げ支援等を積極的に行ったことで、活動グループは現在 220 以上にまで拡大するなど、住民主体の介護予防への取組は広がりをみせている。今後も同センターの専門性を生かし、高齢者の自主的な介護予防活動を促進する必要がある。（保健福祉局）

主な事務事業

施策① 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)		今後の課題・方向性
健康ポイント事業 (保健福祉局保健管理課)	・健康づくり無関心層を含めた多くの市民の健康づくりの取組を促すことを目的とした、歩くことや運動すること等に対してインセンティブを付与する事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・健幸ポイントプロジェクト参加者数 5,000人 ・1日あたりの平均歩数 7,961歩 ・参加者の平均BMI 22.4 		・無関心層を含む多くの市民に対して拡げていくことが課題である。
		進捗状況	概ね順調	
桃太郎のまち健康推進応援団 (保健福祉局保健管理課)	・自社の従業員の健康づくりを進める企業や、市が実施する健康づくり関連施策に積極的に参加する企業を増やすなど、市全体の健康づくりの気運を高めることを目的とした事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・「桃太郎のまち健康推進応援団」登録事業所数 103事業所 ・イベント等への協力 延べ43事業所 ・健康講座への講師派遣 延べ4事業所 		・従業員の健康づくりに取り組む企業を拡げていくことが課題である。
		進捗状況	順調	
「健康市民おokayama21(第2次)」推進事業 (保健福祉局健康づくり課)	・市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「ええとこ発見図(ウォーキングマップ)」を活用したウォーキング大会の企画・実施 76回 参加者延べ4,782人 ・「OKAYAMA!市民体操」の普及 618回 参加者延べ51,404人 ・各地域推進会議体制状況 中学校区:27組織 小学校区:21組織 		<ul style="list-style-type: none"> ・推進会議で地域の健康課題を共有し、解決に向けた話し合いを行い、地域特性に応じた普及啓発を行っていく。 ・企業・職域との連携を推進していく。
		進捗状況	順調	
依存症対策推進事業 (保健福祉局こころの健康センター)	<ul style="list-style-type: none"> ・壮年期のアルコール依存症への移行防止を目的とした、企業での依存症予防プログラム出前講座の実施 ・アルコール依存症者の支援や適正な医療連携の確保を図るためのネットワークシステムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしくお酒を飲むための教室 実施回数:11回 参加者数(延べ):385人 ・アルコール専門研修 実施回数:4回 参加者数:356人 ・ネットワーク会議 実施回数:4回 出席者数(延べ):55人 (新規2人) 		・「おいしく飲むお酒の教室」実施事業所の新規開拓を図るとともに、ネットワークの周知、ネットワークのメンバー拡充に努める。
		進捗状況	概ね順調	

自殺予防対策 (ゲートキーパー講習会等普及啓発活動) (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民を対象とした心の健康づくりに関する意識の高揚及び自殺予防について知識の普及啓発を目的としたゲートキーパー講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパー講習会 実施回数：32回 受講者数：1,508名 	<ul style="list-style-type: none"> 講習の対象団体や対象者の拡大を図る。

施策② いきいきと活躍できる生涯現役社会づくり			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
生涯現役社会づくり事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯現役応援センターにおける高齢者と地域における活躍の場のマッチング支援 退職高齢者の社会参加の動機付けに向けたセミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 363 人 (H30.3月時点) 各種広報 (市民のひろば、社協だより、フリーペーパー ほか) 公民館単位の出張相談 13 回 福祉区単位の出張相談 6 回 全市単位の出張相談 6 回 労働局と連携した出張相談 1 回 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数は概ね見込みどおりだったが、今後は、さらなる登録者及び活動先の拡大に向け、事業のPR方法を工夫する必要がある。
シルバー人材センター事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 会員として登録した高齢者に対する、経験や能力を生かせる、臨時的かつ短期的・補完的な就業機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> 経営安定化のための補助金交付 市発注業務のセンター活用 741件 205,674千円 財務の健全化や業務円滑化のための人的支援として嘱託職員1名配置 会員拡大や業務効率化のための技術的助言等 会員数 1,634 人 (H30.3月時点) 	<ul style="list-style-type: none"> 会員数は最近の数年間はほぼ横ばいの状態が続いており、会員数拡大に向けた取組を推進する必要がある。

施策③ 介護予防の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
介護予防センター事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の一般高齢者を対象とした、各中学校区での介護予防教室の開催 介護予防体操の普及を通じた地域活動組織の育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 全中学校区で介護予防教室を実施(延べ参加者数：14,154人) オリジナル体操(あっすれ!もも太郎体操)の普及及び地域の通いの場の立ち上げへの支援 実施団体 平成27年度末 128団体 平成28年度末 177団体 平成29年度末 239団体	<ul style="list-style-type: none"> 住民主体の体操教室等の通いの場のさらなる拡大が課題であり、センターの強みを生かしたりハ職等による立ち上げ支援を今後も積極的に行う。
		進捗状況	
「健康市民おこやま21(第2次)」推進事業 [再掲] (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「ええとこ発見図(ウォーキングマップ)」を活用したウォーキング大会の企画・実施 76回 参加者延べ4,782人 「OKAYAMA!市民体操」の普及 618回 参加者延べ51,404人 各地域推進会議体制状況 中学校区：27組織 小学校区：21組織 	<ul style="list-style-type: none"> 推進会議で地域の健康課題を共有し、解決に向けた話し合いを行い、地域特性に応じた普及啓発を行っていく。 企業・職域との連携を推進していく。
		進捗状況	
生涯現役社会づくり事業[再掲] (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯現役応援センターにおける高齢者と地域における活躍の場のマッチング支援 退職高齢者の社会参加の動機付けに向けたセミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数363人(H30.3月時点) 各種広報(市民のひろば、社協だより、フリーペーパーほか) 公民館単位の出張相談13回 福祉区単位の出張相談6回 全市単位の出張相談6回 労働局と連携した出張相談1回 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数は概ね見込みどおりだったが、今後は、さらなる登録者及び活動先の拡大に向け、事業のPR方法を工夫する必要がある。
		進捗状況	

政策 21 豊富な医療・介護資源をいかした安心の暮らしづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
かかりつけ医がいる市民（60～80歳代）の割合（％）	63 (H24)	-	70 (H31)	-	保健福祉局
生活・介護支援サポーター養成数（人）	822	1,115	1,550	↗	保健福祉局
地域の生活支援の担い手を確保するための事業を実施するとともに、住民同士の支え合いによる地域づくりに向けた機運醸成や活動支援を進めた結果、養成数は順調に増加している。					
認知症サポーター数（人）	28,924	40,322	49,000	↗	保健福祉局
認知症について正しい知識を持ち、認知症を正しく理解することができるよう普及啓発に取り組んでおり、その取組の一つである認知症サポーター養成講座の受講者は、目標に向けて順調に増加している。					

総括

総合評価
<p>施策① 地域包括ケアシステムの構築</p> <p>・団塊の世代が75歳以上となる2025年（平成37年）を見据えた、地域包括ケアシステムの構築に向けては、在宅医療と介護の連携、認知症施策、地域住民等の多様な主体が参画して様々なサービスを提供する新しい総合事業の取組などを重点的に進めている。今後についても、昨年度策定した第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）（平成30～32年度）において、中長期的な視点に立ちながら、総合的・体系的な施策展開の方向性を示し、今年度から、各種取組を着実に推進していく。（保健福祉局）</p>
<p>施策② 在宅医療・介護の推進</p> <p>・在宅基盤整備（在宅医療を行う医師、看護師、薬剤師などの人材育成）、多職種連携事業、市民への普及啓発を3本柱に据えて在宅医療・介護連携推進の取組を行ってきたが、平成28年度に実施した市民と専門職に対する意識調査の結果によると、在宅医療を行う診療所数は伸び悩んでおり、市民が実際にかかりつけ医を持つところまでにつなげられていない。平成29年度は、病院ヒアリング等による地域の実状調査や、岡山市における医療連携のあり方等に関する協議会・在宅医療分科会で今後の施策のあり方の検討などを行い、在宅医療推進方針（第2次）を策定した。今後はそれらを踏まえ、在宅医療・介護サービス提供体制のあり方検討・構築ワーキング・モデル事業の実施や、地域ケア総合推進センターの退院支援機能の強化などを行うことで、指標の底上げを図る。（保健福祉局）</p>

施策③ 認知症対策の推進

- ・認知症サポーターの養成については順調に進捗している。今後は、広報紙への毎月の案内を継続するとともに、認知症サポーター養成講座を受講する機会の拡大を図り、認知症サポーターの養成を推進していく。(保健福祉局)

施策④ 持続可能な保険制度の運営

- ・国民健康保険制度の安定的な運営を目指し、保険料収納率向上や医療費適正化等の保険者努力に取り組んだ。国保財政運営の都道府県化に伴い、赤字補填目的の法定外繰入の解消・削減が求められる中、平成 29 年 10 月 20 日開催の市国保運営協議会において、赤字補填の法定外繰入の解消に向けて平成 30 年度から保険料率を改定していく方向性を示した。市民の急激な負担増を避けるため、段階的に保険料率を改定し、平成 35 年度を最後に赤字補填繰入を解消する。保険料率を改定していくにあたり、さらなる医療費適正化や保険料収納率向上に向けて取り組む必要がある。(保健福祉局)
- ・介護保険制度については、認定調査員・介護認定審査会委員等を対象に研修を実施し、要介護認定に関する知識、技能の向上を図っている。また、ケアプランチェック、介護給付実績の縦覧点検及び医療情報との突合、住宅改修等の点検、介護給付費通知等を継続して実施しており、適正な認定及び給付に努めている。介護保険制度を持続可能な制度として、安定的な運営を実現するために、継続的に効率化を図りながら事業を進めていく必要がある。(保健福祉局)

主な事務事業

施策① 地域包括ケアシステムの構築

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
在宅医療介護連携推進事業[再掲] (保健福祉局医療政策推進課)	・地域ケア総合推進センターにおける、市民や専門職を対象とした医療・介護の相談・支援、地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進、在宅医療・介護の人材育成、多職種連携等と情報共有の促進、市民向け講座による普及啓発等の実施	・地域ケア総合推進センター在宅医療・介護総合相談実績：324 件	・在宅医療推進方針（第 2 次）を踏まえ、在宅医療・介護サービス提供体制のあり方検討・構築ワーキンググループ・モデル事業の実施や、地域ケア総合推進センターの退院支援機能の強化などを行う。
		・岡山市認定在宅介護対応薬局数：91 件	
		・多職種意見交換会回数：63 回	
		・市民向け講座等参加者数：2,927 人	
		進捗状況	概ね順調

生涯現役社会づくり事業[再掲] (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯現役応援センターにおける高齢者と地域における活躍の場のマッチング支援 退職高齢者の社会参加の動機付けに向けたセミナー等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 363 人(平成 30 年 3 月時点) 各種広報(市民のひろば、社協だより、フリーペーパー ほか) 公民館単位の出張相談 13 回 福祉単位の出張相談 6 回 全市単位の出張相談 6 回 労働局と連携した出張相談 1 回 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数は概ね見込みどおりだったが、今後は、さらなる登録者及び活動先の拡大に向け、事業のPR方法を工夫する必要がある。
		進捗状況	
生活・介護支援サポーター養成事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を地域で支える担い手の養成を目的とした、市民向けの生活介護・支援サポーターの養成研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座修了者 129 名(平成 29 年度) フォローアップ講座受講者 298 名 フォーラム参加者 500 人 平成 27～29 年度の修了生へのアンケートを実施 <ul style="list-style-type: none"> ①既存の団体での活動 93 名 ②新たな活動グループ 35 名 ③個人的な活動 37 名 ④その他 6 名 (複数回答あり) 	<ul style="list-style-type: none"> 講座受講者の約半数以上が地域活動に結びつく効果を上げており、ふれあいサロンや認知症カフェなどでボランティアとして活躍している。フォローアップ講座等を継続実施することでさらに活動に結びつける。
		進捗状況	
認知症サポーター、サポートリーダー等養成事業[再掲] (保健福祉局高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成 認知症の人やその家族への適切なサポート、地域住民に対する自発的な啓発活動及びネットワーク活動の実践ができる「認知症サポートリーダー」の養成 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進 認知症サポーター養成事業(養成数: 6,024 人・累計 40,322 人) 認知症サポートリーダー養成事業(養成数: 46 人・累計 188 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症サポーターを量的に養成するだけでなく、養成されたサポーターが地域でのやさしい見守り体制づくりを強化するために様々な場面で活躍できるように支援していく。
		進捗状況	

高齢者施設の整備 (保健福祉局高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険事業計画に基づく、特別養護老人ホーム、老人保健施設及び認知症対応型共同生活介護（グループホーム）などの日常生活圏域ごとの整備状況等を踏まえた計画的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム新設 2 施設 58 床（@29 人×2）及び増床 2 施設 60 床が開所 ・老人保健施設新設 2 施設 160 床（@80 人×2）が開所 ・グループホーム新設 2 事業所 36 床（@18 床×2）を整備し、2 事業所 36 床分の事業者を決定 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 7 期介護保険計画の策定において、平成 30 年度～32 年度の整備方針が決定したことから、7 期計画の中に事業者の選定を行う。
	進捗状況	順調	
地域包括支援センター運営事業 (保健福祉局地域包括ケア推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合相談・支援」、「介護予防ケアマネジメント」、「虐待防止・権利擁護」、「包括的ケアマネジメント」のサービス提供を通じた、地域で暮らす高齢者に対する介護・保健・医療・福祉など様々な面からの総合的な支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に不安のある高齢者やその家族等からの総合相談を受付（50, 130 件） ・高齢者虐待の相談（165 件）や、権利擁護・成年後見の相談（178 件）に対応 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場に立った介護予防ケアマネジメントを提供（プラン作成件数 80, 695 件） ・多職種と連携し、在宅医療・介護の連携、認知症対策等を行い、高齢者一人ひとりの状況に応じた支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑・多様化する課題への対応力・調整力を備え、専門分野の強みを活かせる職員の育成や適正配置、一層の業務効率化等について検討を行い、地域包括支援センターの機能強化を図る。（地域包括支援センター体制の充実・強化）
	進捗状況	順調	

施策② 在宅医療・介護の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
在宅医療介護連携推進事業 (保健福祉局医療政策推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア総合推進センターにおける、市民や専門職を対象とした医療・介護の相談・支援、地域包括支援センターの活動支援及び認知症ケアの推進、在宅医療・介護の人材育成、多職種連携等と情報共有の促進、市民向け講座による普及啓発等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア総合推進センター在宅医療・介護総合相談実績：324 件 ・岡山市認定在宅介護対応薬局数：91 件 ・多職種意見交換会回数：63 回 ・市民向け講座等参加者数：2, 927 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療推進方針（第 2 次）を踏まえ、在宅医療・介護サービス提供体制のあり方検討・構築ワーキング・モデル事業の実施や、地域ケア総合推進センターの退院支援機能の強化などを行う。
		進捗状況	

在宅介護総合特区推進事業 (保健福祉局医療政策推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス改善インセンティブ事業や介護機器貸与モデル事業、介護予防ポイント事業の実施による、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス改善インセンティブ事業 参加事業所数：158 事業所 指標達成事業所数：62 事業所 ・介護機器貸与モデル事業 延べ利用者数：550 人 ・介護予防ポイント事業 利用者：約 58 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の継続・拡充とともに、新規事業について国と協議する。
	進捗状況	順調	

施策③ 認知症対策の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
認知症初期集中支援チーム (保健福祉局高齢者福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護の専門職で構成する支援チームによる、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族への訪問、必要な医療や介護の導入・調整、家族支援などの初期の支援の包括的・集中的な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア総合推進センターに認知症支援チームを設置し、支援対象者を支援（支援対象者 64 人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度は、市 H P への事業掲載、市民向けのチラシを作成し市民への事業 P R ができる体制を整え、また、認知症の初期から医療・介護福祉が連携して支援する体制を目指すことを今後の方向性とした。今後は、引き続き市民への事業 P R と認知症の初期に支援対象者の早期発見ができる仕組みの検討、地域での医療介護連携、特にかかりつけ医・認知症サポート医と連携ができる体制を検討する。
		進捗状況	概ね順調

認知症高齢者見 守り事業 （保健福祉局高 齢者福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明になった認知症高齢者の早期発見を目的とした、捜索協力者や捜索協力事業者に対するメールによる捜索協力依頼 ・徘徊により警察に保護された認知症高齢者のうち、身元不明で警察署から老人福祉施設へ保護依頼のあった人の一時的保護 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の徘徊・見守りSOSネットワークを構築し、行方不明高齢者さがしてメール事業を実施（登録者数：115人・協力者数：1,372件・メール配信数：4件） ・認知症身元不明高齢者の緊急一時保護事業を実施（一時保護数：4件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・行方不明高齢者さがしてメール事業を広く周知し、地域での見守り体制づくりを強化する。
	進捗状況	順調	
認知症サポーター、サポートリーダー等養成事業 （保健福祉局高 齢者福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成 ・認知症の人やその家族への適切なサポート、地域住民に対する自発的な啓発活動及びネットワーク活動の実践ができる「認知症サポートリーダー」の養成 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進 ・認知症サポーター養成事業（養成数：6,024人・累計40,322人） ・認知症サポートリーダー養成事業（養成数：46人・累計188人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーターを量的に養成するだけでなく、養成されたサポーターが地域でのやさしい見守り体制づくりを強化するために様々な場面で活躍できるように支援していく。
	進捗状況	順調	
認知症カフェ等 運営事業 （保健福祉局高 齢者福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき集うことができる場所の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹型カフェ運営事業者の公募により6事業者を決定し、各福祉区1ヶ所に基幹型カフェを設置 ・地域型カフェ運営事業者の開設・運営を広く支援（カフェ設置ヶ所数：23ヶ所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェを基幹型カフェ（各福祉区1ヶ所）と地域型カフェに機能分化し、開設・運営を広く支援する。 ・地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員と連携を図りながら、カフェ設置数の増加を推進する。
	進捗状況	概ね順調	
市民後見人養成 研修実施事業 （保健福祉局福 祉援護課）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人としての活動が期待できる知識等の習得を目的とした研修の実施 ・研修修了者が活動することにより経験を積み、市民後見人としてのスキルアップできる仕組みづくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修実施回数：13回 ・受講済者：30名 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、平成28年度に策定された国の成年後見制度利用促進基本計画も考慮した研修を行う。
	進捗状況	順調	

施策④ 持続可能な保険制度の運営

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
国民健康保険財政健全化推進事業 (保健福祉局国保年金課)	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険財政の安定的な運営に向けた、歳出面では効果的な医療費適正化対策、歳入面では収納率向上対策の積極的な推進 	<ul style="list-style-type: none"> 保険料収納率(現年度分)90.67% 特定健康診査受診率 27.0%(平成 30 年 6 月末時点) 		<ul style="list-style-type: none"> 国保財政運営の都道府県化に伴い、保険料収納率の向上や医療費適正化への取組がさらに求められる。
		進捗状況	順調	
要介護認定研修事業 (保健福祉局介護保険課)	<ul style="list-style-type: none"> 認定調査員、介護認定審査会委員及び市職員の要介護認定に関する知識・技能の向上のための研修の実施 要介護認定の資料である主治医意見書を作成する医師を対象とした研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 認定調査員研修：8回(198人) 介護認定審査会委員研修：5回(8人) 主治医研修：2回(79人) 		<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な介護保険制度の構築に向けて、常に効率化を図りながら事業を進めていく。
		進捗状況	順調	
介護給付費適正化事業 (保健福祉局介護保険課)	<ul style="list-style-type: none"> 要介護認定の適正化、ケアプランチェック、介護給付実績の縦覧点検及び医療情報との突合、住宅改修等の点検、介護給付費通知等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 要介護認定の適正化(委託分チェック 100% 13,144件) ケアプランチェック(41事業所 233件) 住宅改修等の点検 現地確認(75件) 軽度者に対する対象外種目の福祉用具貸与について、事業者からの居宅介護サービス計画の提出により確認(162件) 医療情報との突合、縦覧点検(5,818件) 介護給付費通知(68,614件) 		<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な介護保険制度の構築に向けて、常に効率化を図りながら事業を進めていく。 ケアプランチェック対象を予防事業へ拡充する。
		進捗状況	順調	

政策 22 ともに生き、ともに支え合う地域社会づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
障害者の福祉施設から一般就労への移行者数（人）	86	127	152（新） 120（旧）	↑	保健福祉局
就労移行支援事業所の活性化・関係機関の連携促進等により、平成 29 年度は目標数値を上回る成果となっている。このため、目標値を上方修正し、152 とした。					
就労支援を行った生活保護受給者数（人）	833	844	860	↑	保健福祉局
ハローワークとの連携や就労準備支援等、対象者の状態に応じた支援が進んだこと等から、対象者数が堅調に増加している。					
就労支援を行った生活困窮者数（人）	144	190	205（新） 170（旧）	↑	保健福祉局
「岡山市寄り添いサポートセンター」の周知が進み、就労に関する相談が増加傾向にあり、その相談に対して、着実に支援を実施していることから、平成 29 年度は、実績値が旧目標値（170）を上回る成果をあげている。このため、目標値を上方修正し、205 とした。					

総括

総合評価
<p>施策① 障害者の自立支援と社会参加の促進</p> <p>・ 障害者に対する就労支援については、就労移行支援事業所の活性化、関係機関が連携した障害者就労支援等の効果及び岡山市が実施した就職面接会等により、福祉施設から一般就労への移行実績が着実に伸びており、今後は職場への定着に対しても取組を検討していく。また、障害者が地域で安心して生活するための地域生活支援拠点の整備や訪問入浴を平成 29 年 10 月から実施した。（保健福祉局）</p>
<p>施策② 重層的なセーフティネットの構築</p> <p>・ 就労支援を行った生活保護受給者はやや増加している。また、就労支援を行った生活困窮者は、着実に増加している。引き続き、生活保護受給者に対する様々な角度からの就労支援を行うことにより、世帯の自立を推進するとともに、生活困窮者に対しては、支援拠点となる「岡山市寄り添いサポートセンター」の周知や関係機関等との連携を進め、就労支援のほか一人ひとりの状況に応じた支援を行う。また、生活保護受給者の健康診査受診や後発医薬品の使用を促進するとともに、頻回受診の適正指導を行うこと等により、医療扶助の更なる適正化を進める。（保健福祉局）</p>
<p>施策③ 地域福祉の推進</p> <p>・ 地域福祉を進める中心となる（社福）岡山市社会福祉協議会や（公財）岡山市ふれあい公社は、地域での支え合い活動やふれあいセンターの運営等を行う中で、人材育成にも力を入れている。両団体を始めとす</p>

る団体等と連携しながら引き続き地域福祉を推進していく。(保健福祉局)

主な事務事業

施策① 障害者の自立支援と社会参加の促進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
障害者就労支援 事業 (保健福祉局障 害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者を雇用する企業の開拓、就職面接会、就労支援研修会等による、障害者雇用の促進及び職場への定着の支援 ・ 雇用者の工賃向上に向けた、障害者就労施設が製作する商品の開発や販路拡大等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就職面接会 2 回実施 (8 月、1 月) 就職した障害者数 47 人 ・ 中小企業課団体との懇談会 2 回、支援機関と企業の交流会 1 回、企業交流会 2 回実施 ・ 福祉施設から一般就労への移行者数 127 人 ・ 働く障害者のための交流拠点 利用登録者累計 112 人のうち離職者 5 人 ・ 障害者就労施設商品ブラッシュアップ事業対象 3 事業所 ・ 障害者工賃レベルアップ支援事業対象 3 事業所 ・ 就労継続支援 A 型事業所経営改善応援事業 経営診断 5 事業所 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉施設から一般就労への移行及び職場定着を促進する。 ・ 障害者を雇用する企業の開拓を促進する。 ・ 障害者就労施設の工賃向上支援を実施する。
		進捗状況	
障害者の地域生活への移行の推進 (保健福祉局障 害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で生活する障害者の居住支援機能 (相談、体験の機会・場の提供、緊急時の受入れ・対応、地域の体制づくり等) の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年 10 月より、市内 3 箇所に地域生活支援拠点の整備を行い、24 時間の相談支援及び緊急受入れ等の体制を強化 ・ 平成 29 年 10 月より、訪問入浴サービスを開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夜間休日の相談対応や緊急受入等の基本的機能の充実に加え、地域の体制づくりの強化、体験の場の拡大等の機能の強化を図る必要がある。
		進捗状況	

障害者差別の解消の推進 （保健福祉局障害福祉課）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉課及び各区役所への手話通訳者配置による、聴覚障害者に対する意思疎通の支援 ・ 「障害者差別解消支援地域協議会」における、障害を理由とする差別についての事案の共有、解決に向けた協議の実施 ・ 障害者虐待の防止と早期発見に向けた、障害者虐待防止法の周知及び虐待通報に対する迅速な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉課及び各区役所に配置した嘱託職員（手話通訳者）により、聴覚障害者に対する意思疎通支援を実施 ・ 障害者差別解消支援地域協議会で、障害を理由とする差別についての情報共有を基に協議（2回実施） ・ 「手話言語等の普及及び理解の促進に関する条例」の制定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会としての新たな取組の検討。 ・ 手話の普及と理解を進め、障害に応じた意思疎通手段が利用しやすい環境の整備を図る。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 重層的なセーフティネットの構築			
事務事業名 （担当部局）	事業概要	取組実績 （H29年度）	今後の課題・方向性
生活困窮者自立支援事業 （保健福祉局生活保護・自立支援課）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複合的な課題を抱える生活困窮者の自立に向けた、住宅確保や就労準備、家計相談、学習支援等の包括的・継続的な支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活困窮者に対する相談支援の実施 新規相談人数 1,214 人 就労支援人数 190 人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関等と連携構築を進め、早期の相談支援を推進する。
		進捗状況	
生活保護適正実施の推進 （保健福祉局生活保護・自立支援課）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労可能な生活保護受給者に対する、関係機関や事業者との連携による就労支援を通じた能力活用及び世帯の自立の促進 ・ 生活保護受給者への適正受診指導や、健康面に着目した指導を通じた生活習慣病等の重症化予防及び自立の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活保護受給者に対する就労支援の実施 就労支援人数 844 人 ・ 保健師による健康管理支援の実施 ・ 後発医薬品の使用促進（数量ベース使用割合 72.1% 平成 29 年 6 月審査分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者の状態に応じた就労支援を行い、自立を促進する。 ・ 生活保護受給者の健康診査の受診や後発医薬品の使用を促進するとともに頻回受診の適正指導を行う。
		進捗状況	

施策③ 地域福祉の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
地域福祉基盤づくり事業 (保健福祉局福祉援護課)	<ul style="list-style-type: none"> 保健・福祉・生涯学習に関する施策を市民協働で進めていくための拠点である「ふれあいセンター」や「ウェルポートなださき」等の維持管理 民生委員・児童委員、社会福祉協議会、(公財)岡山市ふれあい公社等、地域で様々な活動を行う団体への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能を維持するため、必要な修繕を実施 ふれあいセンター入館者数 1,944,655 人 民生委員地区会長・副会長に対し研修を実施 1 回 (参加者 150 人) 地域福祉活動の中心となる団体の活動に対し、補助を実施 3 件 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を平成 32 年度までに策定する。
		進捗状況	
障害者の地域生活への移行の推進[再掲] (保健福祉局障害福祉課)	<ul style="list-style-type: none"> 地域で生活する障害者の居住支援機能(相談、体験の機会・場の提供、緊急時の受入れ・対応、地域の体制づくり等)の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 10 月より、市内 3 箇所に地域生活支援拠点の整備を行い、24 時間の相談支援及び緊急受入れ等の体制を強化 平成 29 年 10 月より、訪問入浴サービスを開始 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間休日の相談対応や緊急受入等の基本的機能の充実に加え、地域の体制づくりの強化、体験の場の拡大等の機能の強化を図る必要がある。
		進捗状況	
生活困窮者自立支援事業[再掲] (保健福祉局生活保護・自立支援課)	<ul style="list-style-type: none"> 複合的な課題を抱える生活困窮者の自立に向けた、住宅確保や就労準備、家計相談、学習支援等の包括的・継続的な支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者に対する相談支援の実施 新規相談人数 1,214 人 就労支援人数 190 人 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関等と連携構築を進め、早期の相談支援を推進する。
		進捗状況	

政策 23 災害に強く安全・安心な都市基盤の整備

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
下水道浸水重点対策整備率（％）	20	38.4	53	↗	下水道河川局
平成 29 年度は、事業が計画どおり完了した。					
住宅・建築物等の耐震化率（％）	83	85	95	↗	都市整備局
上段：住宅	87	90	95		
下段：避難路沿道建築物					
既存建築物の解体や耐震改修、建替等が進み、耐震化率が向上した。					
水道の基幹管路（口径 400 mm 以上）の耐震適合率（％）	41.8	45.5	45.8	↗	水道局
計画に基づき事業を実施し、耐震適合率が向上した。					
市中心部の下水道管きよの老朽化点検率（％）	30	54.3	71	↗	下水道河川局
予定していた老朽管の調査を 10 k m 実施し、点検率が向上した。					

総括

総合評価

施策① 総合的な浸水対策の推進

・下水道浸水重点対策整備率に係る事業は継続実施中であり、整備率は前年度に対して横ばいであったが、基準値から評価した場合、増加していることから概ね順調に進んでいる。下水道、河川、水路等様々なハード対策を実施するとともに、市民設置の雨水貯留タンク設置への助成制度を新たに創設するなどソフト対策にも取り組んだ。平成 29 年 4 月施行の「岡山市浸水対策の推進に関する条例」に基づき、浸水対策に取り組むための計画として、平成 29 年 10 月に「岡山市浸水対策基本計画 2017」を策定、平成 30 年 3 月に「岡山市浸水対策行動計画 2018」を策定し、今後も、市、市民、事業者が連携しながら総合的な浸水対策に取り組んでいく。（下水道河川局）

施策② 市有施設等の耐震化・長寿命化の推進

・市有施設等の耐震化・長寿命化の推進については、平成 32 年度の目標値に向けて、概ね順調に進んでいる。今後も継続して取り組み、耐震化の向上を図っていく。橋りょう長寿命化に向けた点検については、当初

の計画どおり順調に実施することが出来た。今後も点検を着実に進めるとともに、対策が必要な橋りょうについて、優先順位の高い箇所から順次補修を実施していく。(都市整備局)

施策③ 都市施設の安全・安心の確保

- ・都市施設の安全・安心の確保のうち、用水路等の転落防止対策については、平成 28 年度に実施した一斉点検による危険箇所の対策を順調に実施しており、引き続き優先度が高い箇所から集中的に対策工事を実施していく。市有建築物の耐震化については、計画どおり順調に進捗している。今後は「岡山市公共施設等総合管理計画」と整合を図り、効率的・効果的に耐震化を進める。(都市整備局)

施策④ ライフラインの計画的な整備・管理

- ・一部既存管路において、地域固有の地震動に対する管路の耐震適合性の確認及び耐震金具の取付を行ったことにより、水道の基幹管路（口径 400mm 以上）の耐震適合率は、28 年度実績値に対して 3.6 ポイント上昇し、45.5%となった。引き続き、大規模災害発生時における被害軽減を図るとともに、将来にわたって安定給水を確保するため、岡山市水道事業総合基本計画（アクアプラン 2017）に基づき、計画的な更新、耐震化に取り組む。(水道局)
- ・平成 29 年度は、老朽管の点検を 10 km 実施したことで、点検率が 7.8 ポイント増加し、老朽化点検率が 54.3%に向上した。また、管きよの耐震化調査及び処理場、ポンプ場の長寿命化、耐震化工事に着手しており、計画的に長寿命化、耐震化対策に取り組んでいく。(下水道河川局)

主な事務事業

施策① 総合的な浸水対策の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
浸水対策事業 (下水道河川局 下水道河川計画 課)	<ul style="list-style-type: none"> ・旭川や笹ヶ瀬川、砂川等、国や県が管理する河川の改修促進等 ・浦安、芳田排水区等の雨水きよ及び雨水幹線の継続的な整備 ・倉安川などの河川改修等の推進 ・河川・水路等既存施設の活用、可搬式ポンプの配置などによる浸水対策の推進 ・老朽化した農業用水路、農業用排水機場、ため池等の整備及び管理の強化 ・公共施設及び民間開発等に係る雨水流出抑制施設の設置の推進 ・洪水及び内水ハザードマップの普及啓発や土のう袋の配布等 ・タイムラインによる防災関係機関の横断的連携の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・国や県に期成会等により要望活動を実施 ・国や県による旭川堤防整備、笹ヶ瀬川、砂川など、河川改修工事及び堤防工事を実施 ・芳田排水区においても昨年の幹線整備に続き、取水ゲートの完成により整備が完了。また、浦安排水区の雨水渠は、201mの整備が完了 ・倉安川の河川改修工事L=137.9m整備 ・台風等の浸水被害に備え、土のう袋等の配布を3回、緊急時内水排除ポンプの配備を5回実施 ・浸水対策特別事業により、農業用水路の浚渫等を実施 ・市・市民・事業者が連携して浸水対策に取り組むため「岡山市浸水対策の推進に関する条例」を平成29年4月より施行 ・「岡山市浸水対策基本計画2017」、「岡山市浸水対策行動計画2018」を策定 ・平成30年4月からの一定規模以上の開発行為等に際しての雨水排水計画の協議の義務化を踏まえ、「雨水流出抑制対策の手引き」を策定、雨水流出抑制施設設置に対する助成制度を拡充 ・市民設置の雨水貯留タンク設置の助成を開始し、166件、約34m³の貯留施設を設置 ・雨水貯留タンクを小学校2校に設置 ・洪水、内水ハザードマップの公表を踏まえ、公民館等での出前講座を実施し、市民への浸水対策への意識啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後実施予定の浦安排水区の浸水対策において、ハード整備は効果が出るまでに時間と経費が必要。このため、他部局と連携し、局所的な対策も実施しながら、ハード対策、ソフト対策併せて浸水対策に取り組む。 ・「岡山市浸水対策の推進に関する条例」に基づき開始した開発行為等に伴い義務化した雨水排水計画により、雨水流出抑制施設の設置を実効性のあるものにするよう取り組む。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 市有施設等の耐震化・長寿命化の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
橋りょう耐震補強事業 (都市整備局道路港湾管理課)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路上の橋りょうや鉄道・高速道路等にかかる跨線・跨道橋の耐震補強 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強が必要な橋梁について、詳細設計 2 橋や、県施工の補強工事 2 橋について負担金を拠出 		<ul style="list-style-type: none"> 財源となる交付金の確保に向け、橋梁耐震補強を予算が手厚く配分される重点計画の対象とするよう、国に対して求めていく。
		進捗状況	概ね順調	
橋りょう長寿命化対策事業 (都市整備局道路港湾管理課)	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょうの長寿命化に向けた計画的な点検及び補修・補強 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市が管理する橋梁のうち、4,559 橋について定期点検を実施 長寿命化対策が必要な橋梁について、詳細設計 6 橋や修繕工事 5 橋を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 定期点検や、長寿命化修繕計画に基づく修繕工事を着実に実施するため、継続的な予算確保に努める。
		進捗状況	概ね順調	
市有建築物の耐震改修事業 (都市整備局公共建築課等)	<ul style="list-style-type: none"> 市有建築物における合理的・効率的な耐震化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震改修設計 7 棟 耐震改修工事 60 棟 早急な対応が必要な施設（学校園や避難・防災拠点施設）の耐震化進捗率 95.4%（229 棟/240 棟） 		<ul style="list-style-type: none"> <その他の施設>及び<別途検討施設>については、「個別施設計画」において耐震化を含めて施設の在り方を検討する。
		進捗状況	順調	
住宅・建築物耐震改修等補助事業 (都市整備局建築指導課)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅及びその他の建築物の耐震化のための経費の補助 	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断補助事業：計 135 件 耐震改修補助事業：計 20 件 耐震化率：住宅 85% 避難路沿道建築物 90% 		<ul style="list-style-type: none"> 木造住宅の耐震改修補助制度を継続し、耐震化率の向上を図る。 要安全確認計画記載建築物の補強設計、耐震改修の補助制度を創設により、避難路沿道の建築物の耐震化率の向上を図る。
		進捗状況	概ね順調	

宅地耐震化推進事業 （都市整備局開発指導課）	<ul style="list-style-type: none"> 大規模盛土造成地の位置、規模等の調査及び公表 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模盛土造成地の箇所を把握するための調査を実施（調査区域 224 ㎩） 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模盛土造成地と判明した箇所の詳細な範囲を調査し、その結果をマップとして公表する。 滑動崩落の可能性についても、調査を実施する。 	進捗状況	順調

施策③ 都市施設の安全・安心の確保					
事務事業名 （担当部局）	事業概要	取組実績 （H29 年度）		今後の課題・方向性	
用水路等安全対策事業 （都市整備局道路港湾管理課）	<ul style="list-style-type: none"> 用水路等の危険箇所に対する安全対策 	<ul style="list-style-type: none"> 特に危険性が高い約 905 箇所のうち、約 553 箇所について、対策工事を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特に緊急性が高い約 900 箇所の危険箇所について、平成 30 年度までに集中的に対策工事を実施する。 	進捗状況	順調
道路新設改良事業 （都市整備局道路港湾管理課）	<ul style="list-style-type: none"> 道路の改修や交通安全施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールや町内会等からの要望等に基づき、防護柵の設置や区画線の補修などの交通安全施設の整備や、道路改修工事を実施 路肩整備工事 204 件 排水路整備工事 101 件 舗装工事 200 件 安全施設設置工事 169 件 	<ul style="list-style-type: none"> 区画線等の交通安全施設や舗装面の不具合等を早期に発見し、速やかに対策を実施する。 	進捗状況	概ね順調

施策④ ライフラインの計画的な整備・管理

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
水道管路耐震化等更新事業 (水道局配水課)	<ul style="list-style-type: none"> 老朽管の更新、耐震化 災害時に拠点となる施設へ至る管路の耐震化 	<ul style="list-style-type: none"> 約 29km の老朽管を含む約 45km の水道管を布設・更新 災害時に拠点となる 4 施設への管路を耐震化 		<ul style="list-style-type: none"> 口径 100mm 以上の老朽管を重点的に更新する。併せて災害時に拠点となる施設への管路耐震化を推進する。
	進捗状況 順調			
水道施設耐震化等更新事業 (水道局配水課)	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した水道施設の更新、耐震化 	<ul style="list-style-type: none"> 三野浄水場薬品沈でん池の更新や旭東浄水場集中監視制御設備の改良など、基幹となる水道施設の更新、耐震化を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 施設整備計画に基づき、本市最大の三野浄水場を中心に更新、耐震化を推進する。
	進捗状況 順調			
下水道管きよの長寿命化、耐震化 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 総合地震対策計画に基づく重要路線の幹線および管きよ等の調査、耐震工事の実施 管きよの老朽化調査及び対策工事 避難所へのマンホールトイレの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 総合地震対策計画（第 2 期）を策定 管きよの老朽化調査は 10 km を実施、対策工事は 1.1 km が完了 管路及びマンホールの調査 1.1 km を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続的に総合地震対策計画に沿って事業を実施。 関係部局と協議、連携を図りながら、小学校など避難所への設置計画の作成。
	進捗状況 順調			
下水道施設（処理場、ポンプ場）の長寿命化、耐震化 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 処理場、ポンプ場の老朽化調査及び改築更新工事 旧耐震基準（昭和 56 年以前）の施設の耐震化や津波対策工事 	<ul style="list-style-type: none"> 処理場、ポンプ場の老朽化工事は、旭西排水センター、巖井ポンプ場ほか 2 ポンプ場の長寿命化工事を実施（継続中） 耐震対策は、旭西排水センターの放流渠（場外）の耐震化工事に着手 		<ul style="list-style-type: none"> 今後もポンプ場等の長寿命化対策が増加することから、平準化を図るなど、優先順位を決めた上で取り組む。
	進捗状況 概ね順調			

政策 24 地域防災力の強化と消防救急体制の充実

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
自主防災組織率（％）	62.4	64.5	75	↑	危機管理室
地域防災リーダーの育成、防災資機材の支給制度の改善や防災訓練の支援等、自主防災会への支援強化を継続して行ったことにより、自主防災組織率が2ポイント上昇したが、さらなる結成促進を図る。					
住宅用火災警報器の設置率（％）	67.7	73.2	85	↑	消防局
上段：設置率	53.8	64.0	70		
下段：条例適合率		（速報値）			
未設置世帯では「住宅用火災警報器を知らなかった」という理由が多くあったため、警報器の設置効果についての広報を強化する。					

総括

総合評価
<p>施策① 地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄の推進、総合防災訓練の実施については、概ね順調に事業が進んでいるが、自主防災会育成事業については結成団体数が低調であり、市民の防災意識の高揚を図る必要がある。（危機管理室） <p>施策② 消防救急体制の充実強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設整備、消防車両更新、消防指令システム更新等のハード面においては計画的に具現化している。一方で、住宅用火災警報器の設置推進については、設置率、適合率共に改善したものの、目標の達成には至っておらず、さらに市民に届く積極的な広報展開を検討していく必要がある。また、高齢者対象の救急需要対策についても、引き続き効果的な広報手段の検討と、他機関との連携を強化した継続的な取組が必要である。（消防局）

主な事務事業

施策① 地域防災力の強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性
自主防災会育成 事業 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 ・防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会資機材給付（結成）11件 ・自主防災会資機材給付（訓練）176件 ・自主防災会地域防災マップ給付8件 ・防災まちづくり学校受講生38人 ・公民館職員等防災講習会（防災士養成研修）受講生 30人 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成数は25件と低調であり、支援制度を改善する等により今後さらに市民の防災意識を高め、結成を促進する必要がある。
		進捗状況	
備蓄の推進 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内備蓄の周知啓発 ・分散備蓄の推進、備蓄物資の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄場所のない小中学校18か所に備蓄倉庫を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄場所のない小中学校への対応を継続して実施する。
		進捗状況	
総合防災訓練等 の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加による避難所運営訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練の実施（H29.9.3 東区西大寺緑花公園及び岡山市立西大寺南小学校、灘崎小学校ほか） ・水防訓練の実施（H29.6.4 南区福島旭川福島緑地） ・図上訓練の実施（H30.1.26 災害対策本部室） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4区すべてで住民参加による避難所運営訓練を実施する。
		進捗状況	
岡山市業務継続 計画（BCP） の推進 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時に、非常時優先業務を早期に復旧するための計画（BCP）の継続的な改善 ・大規模災害時に、応援部隊や救援物資を円滑に受け入れるための受援計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・発災後の応急対応を迅速かつ効率的に実施するため、未作成の部署における災害時対応マニュアルの作成を依頼（6月） ・庁内におけるマニュアル作成状況を確認（2月） ・受援対象業務（全364業務）について各業務ごとに受援業務シートを作成し、岡山市災害対策本部に受援係（人的受援担当）と物資係（物資担当）を新設し、災害時における受援の業務内容・役割等について明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を早期復旧するために作成した災害時対応マニュアルで訓練を行うことにより、整合性を確認し、随時見直し・改善を図っていく。
		進捗状況	

施策② 消防救急体制の充実強化			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
消防署所適正配置 (消防局消防企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防・救急車両の現場到着時間の短縮を目的とした、市街地における消防力のバランスに配慮した消防署所の適正配置の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 消防サービスの地域間の均衡化を図るため、また、大規模地震発生時でも防災拠点として消防力を最大限に発揮できるよう、旭東出張所の新築移転への取組を開始 個別施設計画を策定 適地選定、地権者と調整 地元説明(移転先、移転元町内会、議員へ新築移転を説明) 平成 28 年度に新築した 2 つの出張所のうち、旧建部出張所庁舎を解体、旧吉備津出張所の庁舎及び土地の売却に向け境界確定を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 時代の要請や環境の変化により、今後も変化し続ける岡山市において、消防サービスの均衡化を進めていく。また、防災拠点としての役割を最大限に果たせるよう、老朽化、経年劣化等を考慮し、計画的に消防署所を整備する。
		進捗状況	
消防団機庫整備 (消防局消防企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害時等に地域防災の拠点となる消防団機庫の機能強化と整備 	<ul style="list-style-type: none"> 朝日分団、灘崎第 1 分団、建部第 1 分団の 3 機庫を建築 	<ul style="list-style-type: none"> 機庫整備に係る土地取得について困難が予想され、他の市有施設との合築などについて検討が必要である。
		進捗状況	
消防団装備整備 (消防局消防企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員が災害現場等で活動するために必要不可欠な装備品(防火衣、耐切創性手袋、防火帽、防火長靴)の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 防火衣 105 着、防火帽 200 個、防火長靴 200 足を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の更新予定を考慮し、予算の平準化を図ることが必要である。
		進捗状況	
女性消防団員用ポンプ整備 (消防局消防企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 女性消防団員活動の充実を図り、地域防火体制を強化するための軽量ポンプ等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 5 地区(北・西・中・東・南)に女性消防団員用ポンプ及び現場活動用装備の配備を完了 	<ul style="list-style-type: none"> 配備が完了したため平成 29 年度で事業を終了する。
		進捗状況	

住宅用火災警報器の設置推進 (消防局予防課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防職員及び消防団員による戸別訪問での設置・維持管理指導 イベントや街頭でのパンフレット配布、地域コミュニティ及び関係業界団体への広報 	<ul style="list-style-type: none"> 3万世帯を対象に消防職員・消防団員が市民の住宅を訪問し、設置及び点検を指導した結果、訪問地域で設置率が6.1%、適合率が6.5%上昇 町内会加入の約28万世帯全戸にリーフレット配布事業、その他広報の強化を実施 平成29年度目標：設置率80%、適合率65%には到達できず 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度も対象を3万世帯に、継続実施する。
	進捗状況	やや遅れ	
消防法令違反の是正推進 (消防局予防課)	<ul style="list-style-type: none"> 立入検査により覚知した違反対象物のうち、放置することにより特に人命危険度が高い対象物の是正指導と違反の改修 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度違反対象の388件に対し、平成29年度中において202件是正(残り186件) 立入検査により新たに確認した重大違反対象物は並行して是正指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 危険度を重視した優先順位をつけ、計画的に実施する。
	進捗状況	順調	
住宅防火対策推進 (消防局予防課)	<ul style="list-style-type: none"> 住宅火災の怖さを伝える資料の作成と公開、保存版火災予防パンフレットの作成と配布 市民による初期消火訓練、通報訓練を実践的に行うための訓練資器材の充実 火災調査専用車両の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年1月以降平成27年末までの火災総数2,007件について、OCR文字データ化を完了 平成29年の火災件数243件のうち、類似火災検索のため一覧表を90件作成 調査担当者に対して消防大学校火災調査課修了者による伝達講習を実施 2日間 203名 現場調査支援を実施 調査支援 13回(2月末現在) 現場OJTの実施 鑑識調査 1回 4名 現場調査 2回 3名 出火防止の広報文をHPにアップ 	<ul style="list-style-type: none"> 早期に訓練機器等の導入を行う。 火災調査書に裏付けされた、火災になった原因や人の行為の分析結果により、わかりやすい市民広報を行う。 火災初期での出動体制を構築する。
	進捗状況	順調	

消防車両更新 (消防局警防課)	<ul style="list-style-type: none"> 常備、非常備消防が保有する車両の更新整備、適切な出動体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 常備車両 9 台 (指揮支援車 1 台、救急車 2 台、ポンプ車 3 台、電源照明車 1 台、支援車 1 台、火災調査車 1 台)、非常備車両 8 台 (ポンプ車 2 台、可搬積載車 3 台、軽可搬積載車 3 台) を更新 	<ul style="list-style-type: none"> 各種災害への対応力を強化するため、消防車両等更新計画に基づき、順次車両を更新する (現有: 常備車両 114 台、非常備車両 167 台)。 車両の状態等を総合的に勘案して情勢に合わせた計画的な更新を図る。
	進捗状況	順調	
消防ヘリコプター操縦士養成 (消防局警防課)	<ul style="list-style-type: none"> 消防ヘリコプター操縦士の計画的な採用と訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度操縦士採用選考試験を実施し、1 名を採用 平成 30 年 4 月 1 日採用 	<ul style="list-style-type: none"> 消防ヘリコプター機長認定基準を踏まえ、採用操縦士に養成計画を作成し、効率的な訓練を実施する。
	進捗状況	概ね順調	
救急救命士養成・教育 (消防局救急課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民病院の救急救命室における、救急救命士の再教育病院実習の充実強化や長期病院実習の継続実施、救急救命士の教育指導を行う指導救命士の養成 拡大した救急救命処置を実施できる認定救命士の計画的な養成 救急活動のレベルアップに向けた、救急救命士以外の救急隊員教育の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 処置拡大認定救急救命士 41 名を養成 再教育病院実習では、84 名の救急救命士に対して指導救命士が統一したカリキュラムのもと、指導を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 指導救命士が少なく指導者に対する負担が生じている。また、教育内容は、医学の現状に合致したカリキュラムに各年で計画的に更新していく必要がある。
	進捗状況	概ね順調	
高齢者対象の救急需要対策 (消防局救急課)	<ul style="list-style-type: none"> 熱中症と転倒・転落による事故を重点対象事案とした、高齢者施設での出前講座 消防音楽隊による高齢者施設訪問 (予防救急広報コンサート) 予防救急ポスター及びチラシの作成配布、ラジオ、テレビ及び広報誌による広報 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者及び高齢者施設職員を対象とした出前講座等を実施 転倒・転落による高齢者搬送者割合は 75% (平成 28 実績) から、78% (平成 29 実績) と 3 ポイント上昇 熱中症による搬送者数は 381 名と、前年から 57 名減少 	<ul style="list-style-type: none"> 手段、機会、媒体を常に変更し情報提供する必要がある。
	進捗状況	概ね順調	

消防指令システム更新整備 (消防局情報指令課)	・消防指令システムの適時・適切な更新、維持管理	・機器の老朽化等を考慮し、コンピュータ系機器の更新整備を実施 ・安定したシステム運用を図るため、点検・障害報告等を含めた保守を実施		・システム全更新の整備場所を検討する必要がある。
		進捗状況	順調	
消防・救急無線更新整備 (消防局情報指令課)	・消防・救急無線の適時・適切な更新、維持管理	・安定した設備運用を図るため、点検等を含めた保守を実施		・当設備の安定運用を図るため、計画的に更新する必要がある。
		進捗状況	順調	

政策 25 安全・安心な市民生活の確保

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
安全・安心な地域社会と感ずる市民の割合（％）	82.0	87.2	88（新） 86（旧） （H31）	↗	市民生活局
<p>地域防犯ボランティア支援事業をはじめとする各種事業に取り組んだ結果、安全で安心な地域社会と感ずる市民の割合が増え、前回調査から5%上昇し、平成29年度は目標値をクリアした。平成29年度で目標値を達成している状況を踏まえ、目標値を88%に上方修正した。</p>					
刑法犯認知件数（件）	7,186	5,372	5,000（新） 5,500（旧）	↗	市民生活局
<p>様々な防犯啓発を通して地域防犯意識が徐々に浸透したこと等により、前年に比べ1割以上の減少となり、平成29年度は目標値をクリアした。平成29年度で目標値を達成している状況を踏まえ、目標値を5,000件に上方修正した。</p>					

総括

総合評価

施策① 地域防犯力の強化と交通安全対策の推進

- ・安全・安心な地域社会を構築するための各種事業施策が徐々に浸透し、市民意識調査において安心安全と感ずる市民の割合が増加、刑法犯認知件数も着実に減少するなど、平成29年度においていずれも目標をクリアしている。地域防犯ボランティア支援事業は、地域に密着した講座や指導を行い、次第に効果を上げつつある。また特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業は、高齢者世帯への特殊詐欺被害の一定の抑止に繋がっている。今後とも、より効果的な成果が得られるよう改善を図りつつ、交通安全施策等その他事業も含め、着実に継続実施していく。（市民生活局）

施策② 消費生活の安全・安心の確保

- ・市民の安全・安心な消費生活のためには、消費者自身の自立が欠かせない。そのため、地域での出前講座に加え、平成29年度から新たに消費者教育の担い手を育成するための、市民、事業者向け消費者教育担い手講座や教員向け消費者教育研修会を実施した。また、平成30年3月に「岡山市消費者教育推進計画」を策定し、5年間の消費者教育の方向性を示した。今後、重点施策を中心にいつでも・どこでも・だれでも消費者教育を受ける機会が得られるよう引き続き各種事業を実施していく。（市民生活局）

主な事務事業

施策① 地域防犯力の強化と交通安全対策の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)	・地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、啓発、防犯講座等の実施	・防犯講座 80 回 ・地域での現地指導 64 回	・活動が活発な地域防犯ボランティア団体について、モチベーションを高めるため表彰していく。
		進捗状況	
防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	・町内会が新たに設置する防犯灯の取付け費用の一部助成等	・通学路防犯灯設置数（市設置）9 灯 ・防犯灯設置費補助数（町内会設置）553 灯	・町内会への防犯灯の設置支援及び町内会の設置要望に基づく通学路防犯灯の設置を行っていく。
		進捗状況	
特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	・市内の 65 歳以上の高齢者のみの世帯を対象とした、特殊詐欺等被害防止機能付き電話機の購入費用の一部助成の実施	・電話機の設置台数 135 台	・高齢者のみの世帯としている対象範囲について、ニーズと効果を踏まえて検討していく。
		進捗状況	
交通安全対策事業 (市民生活局生活安全課)	・春秋の交通安全運動期間を中心とした街頭啓発活動や保育園・幼稚園・小中学校における交通安全教室等の実施	・交通安全フェア実施（H29.9.24） 来場者数約 5,000 人 ・交通安全教室（幼稚園）491 回 "（小中学校）112 回	・警察や地域関係団体との連携を図り、交通事故発生件数の減少に繋がるよう啓発や各種行事を行っていく。
		進捗状況	
自転車安全運転免許証交付事業 (市民生活局生活安全課)	・交通安全教室における自転車実技講習の実施及び自転車に本格的に乗り始める小学 4 年生から 6 年生への自転車安全運転免許証の交付	・71 校において実施	・実技講習について、よりきめ細かな指導ができるよう工夫していく。
		進捗状況	

施策② 消費生活の安全・安心の確保

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
消費者教育推進事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活センターの機能強化に向けた相談員の能力強化 ・市民向け啓発講座の実施や市広報紙等による情報提供 ・消費者の視点に立った事業者向けの研修会の実施 ・学校と連携した消費者教育、消費者団体等との連携強化による消費者教育の担い手育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け啓発講座 133 回 ・事業者向け消費者志向経営講座 3 回 ・消費者教育担い手育成研修 12 回 ・メールマガジン、SNS (LINE @) などを活用した情報提供 (随時) ・小・中・高等学校に対し、未成年者のトラブル事例リーフレットを作成・送付 (毎月) 		<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山市消費者教育推進計画」に基づき、迅速な情報提供を行うとともに、様々な場で消費者教育を受けられる環境を引き続き整備していく。
		進捗状況	順調	

政策 26 岡山から広げる地域に根ざした環境づくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
ホテルの生息地（地点）	200	191	200 (H31)	↓	環境局
河川改修や夜間照明の設置などの影響が考えられるが、調査参加者の減少による調査不足も考えられるため、次回調査に向け、調査方法の改善を図っていく。					
多様な主体による自然体験プログラム開催数（回）	420	431	450	↑	環境局
生物多様性についての啓発行事などを開催したこともあり、目標値に向けて着実に増加している。					
美化推進重点区域内のごみのポイ捨て数（1主要通り当たりの1日平均）（個）	106	112	100	↓	環境局
美化推進重点区域でのごみのポイ捨てを減少させるため、巡回指導や広報・啓発を行っている。今回は低下がみられるが、引き続き巡回指導や広報・啓発を努めながら結果を注視する。					

総括

総合評価

施策① 生物多様性の保全と環境との共生

- 平成 29 年 3 月策定の「岡山市生物多様性地域戦略」に基づき、身近な生きものの里事業や環境教育関連事業を通して、総合的・計画的に生物多様性の保全と活用に係る取組を引き続き推進していく。ホテルの生息地が減少に転じたことから、水路の管理者等へ環境配慮要請を行うとともに、生息環境の保全に関する市民意識の向上に努めていく。環境影響評価制度については、平成 30 年 3 月に条例を公布した。平成 30 年度は、関係機関等と丁寧な調整を行ったうえ、施行規則と技術指針を制定し、平成 31 年 4 月の制度施行を目指す。（環境局）

施策② 環境教育・学習の推進

- いきものいろいろ交流プロジェクト事業については、夏休みに「いきものフェスタ」を開催し、多数の来場者に対して、生物多様性に関する市民理解の向上を図った。水辺教室等の環境教育推進事業については、多様な主体が自然体験プログラムを積極的に実施しており、なお一層の啓発等を推進するとともに、真庭市、赤磐市との連携取組も段階的に充実させていく。（環境局）

施策③ 市民、事業者との協働による美しく快適なまちづくり

- 美しい快適なまちづくりについては、美化推進重点区域・路上喫煙制限区域での巡回指導や広報・啓発を行い市民意識の向上を図った。また、美化活動では、清掃イベントの実施や地域活動での支援を行った。今後も引き続き、美しい快適なまちづくりに向けた巡回指導、啓発活動や地域美化活動の支援を推進していく。（環境局）

主な事務事業

施策① 生物多様性の保全と環境との共生

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
生物多様性地域 戦略策定推進事 業 (環境局環境保 全課)	・生物多様性保全の方向性を示 す「岡山市生物多様性地域戦 略」の策定及び戦略に基づく 多様な主体と連携した保全活 動の推進	・地域戦略の冊子（600 部）と小冊子 （2,000 部）を作成し啓発を実施 ・市民団体や事業者に呼びかけ、生物 多様性に関する活動普及を目指す 「にじゅうまるプロジェクト」（国際 自然保護連合日本委員会主催）の取 組団体を増やした（1→12）	・生物多様性の保全 と活用に関する 取組を促進する ための効果的な 仕組みを構築す る。
		進捗状況	
身近な生きもの の里事業 (環境局環境保 全課)	・地域住民等が身近な野生生物 をシンボルにして主体的に生 物多様性の保全活動を行って いる地域について、「身近な生 きものの里」として認定する 活動への支援	・2 地域（大野、観音寺用水）を新規認 定し全 16 地域に増加 ・既存の 14 地域に対しては、保全活動 に関する謝礼や資材提供などの活動 支援を実施	・既存の里の担い手 高齢化に対処す るための支援策 を検討する。 ・新規の里の発掘・ 育成・認定を推進 する。
		進捗状況	
ホタル調査およ び希少種保護事 業 (環境局環境保 全課)	・市民参加によるホタル調査(隔 年事業)及び保護団体と連携 した希少種保護事業	・ホタル調査を実施し、生息地は 191 か所で、前回調査から 9 か所減少 ・アユモドキ、スイゲンゼニタナゴ等 の希少種について、保護団体と連携 して保護活動を 3 回実施	・ホタルの生息地の 減少については、 河川改修や夜間 照明の設置など の影響が考えら れるものの、その 検証は困難であ り、調査参加者の 減少による調査 不足も考えられ るため、次回調査 に向け広報・啓発 を推進していく。
		進捗状況	
開発事業に対す る環境配慮の推 進 (環境局環境保 全課)	・一定規模以上の開発事業に対 する、「共生地区環境配慮届出 制度」や「環境影響評価制度 の導入」を通じた、岡山市の 地域特性に応じた環境配慮の 推進	・環境影響評価制度について、平成 30 年 3 月に条例を公布 ・調査・予測・評価等の手法を示した 技術指針の素案を作成	・施行規則と技術指 針を制定し、平成 31 年 4 月の制度 施行を目指す。
		進捗状況	

大気保全対策事業、水質保全対策事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・大気や水質等の常時監視の継続、法令排出規制基準の適合調査の実施、未規制化学物質の調査の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・規制基準遵守状況検査（大気 6 地点、騒音・振動 22 地点、悪臭 2 地点、水質 176 地点） ・環境基準常時監視（大気及び気象測定局 14 地点、自動車騒音 24 地点、有害大気汚染物質 6 地点、ダイオキシン類（大気）3 地点、公共用水域水質 76 地点、地下水質 9 地点、ダイオキシン類（公共用水域水質）13 地点、ダイオキシン類（地下水質）6 地点、ダイオキシン類（底質）13 地点、ダイオキシン類（土壌）10 地点） ・悪臭の規制において、瀬戸支所管内に臭気指数規制を導入 ・化学物質リスクコミュニケーションの環境保全協定への取り込み（4 事業所） ・土壌汚染指定区域等の立入調査（19 件） ・児島湖流域水質保全基金助成金の交付（9 件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌汚染対策法の改正により法の対象の事象の大幅な拡大が見込まれているため、執行体制の強化について検討する。
	進捗状況	概ね順調	

施策② 環境教育・学習の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
いきものいろいろ交流プロジェクト事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な自然体験プログラムの実施 ・生物多様性の保全と活用に関する「仕組み」と「担い手」づくりの実施 ・「身近な生きものの里」認定の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や市民団体が行う自然体験プログラムに講師派遣や資材貸与等の支援を実施 ・「いきものフェスタ」(8/23・24 来場者約 5,000 人) を開催し、生物多様性に関する担い手づくりを推進 ・新規に 2 地域（大野、観音寺用水）を身近な生きものの里に認定 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性の保全と活用に係る取組を促進するための効果的な仕組みと担い手づくりを進める。
		進捗状況	概ね順調

水辺教室等の環境教育推進事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生物多様性についての意識向上を目的とした、多様な主体が行う水辺等での環境教育に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館や市民団体が行う自然体験プログラムに講師派遣や資材貸与等の支援を実施 ・連携中枢都市圏取組として、自然体験エコツアーを2回実施(真庭市9/2参加者36人・赤磐市10/15参加者34人) 		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体による自然体験プログラムの更なる充実を目指して仕組み・支援方法を検討し推進する。
		進捗状況	概ね順調	
環境パートナーシップ事業<エコボランティア活動> (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で自発的に環境を保全・創造する活動を実践する市民や団体等に対する、「エコボランティア」としての位置づけ及び活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録団体に清掃用具等の資材を貸与し活動を支援 		<ul style="list-style-type: none"> ・参加団体数が横ばい傾向であるため、なお一層の広報・啓発を推進する。
		進捗状況	概ね順調	

施策③ 市民、事業者との協働による美しく快適なまちづくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)	今後の課題・方向性	
環境美化推進事業 (環境局環境事業課)	<ul style="list-style-type: none"> ・美化推進重点区域・路上喫煙制限区域での巡回指導や広報・啓発活動 ・一斉清掃など美化イベントの実施や地域での美化活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導や広報・啓発を実施したほか、一斉清掃等の美化イベントを14回実施 ・巡回指導 200回 ・啓発ティッシュ配布 5,860個 		<ul style="list-style-type: none"> ・美化推進重点区域・路上喫煙制限区域でのポイ捨てや路上喫煙の啓発・指導を継続する。
		進捗状況	概ね順調	

政策 27 低炭素型の環境にやさしいまちづくり

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
温室効果ガス排出量（千t - CO ₂ ）	6,476 (H25)	6,303 (H27 暫定)	6,000 (H30)	↑	環境局
<p>基準年に比べ、冬季の暖房需要の減少に伴う電力使用量の減少及び中国電力の火力発電量の減少や再生可能エネルギーの利用拡大に伴う排出係数の低減により、平成 27 年度の暫定値は、平成 25 年度の実績値に対し 2.7%減少している。</p>					
環境にやさしいライフスタイルの実践度（%）	46	50	56 (H31)	↑	環境局
<p>平成 29 年 5 月に国民運動「COOL CHOICE」への賛同を宣言し、地球温暖化防止に向けた啓発活動を実施したこと等により、再生可能エネルギーや省エネ性能が高い設備を利用することについての意識・行動の大きな高まりが見られ、実践度は基準値から 4 ポイント向上している。</p>					

総括

総合評価

施策① 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の促進

・「岡山市地球温暖化対策実行計画」に基づき、太陽光エネルギーに恵まれた市域全体で市民、事業者、行政が協力して市内に太陽光発電システムなどの再生可能エネルギーを積極的に導入するとともに、高性能建材を使用した建築物の省エネルギー化及び、燃料電池・蓄電池・エネルギー管理システムなどの省エネルギー設備の導入を促進した結果、市域の低炭素化が進み温室効果ガス排出量が減少している。今後も目標の達成に向けて、徹底した省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの最大限の導入など地球温暖化の防止に向けて取り組む。（環境局）

施策② 環境にやさしいライフスタイルへの転換

・平成 29 年度には、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」への賛同を宣言し、広報イベントやチラシの全戸配布を行った。また、照明などの家電設備は省エネな製品を選択する、クールビズ・ウォームビズをはじめとする低炭素なライフスタイルを選択する、などの温暖化防止に向けた各種啓発活動等を実施しており、概ね順調に進捗している。今後も市民・事業者と共に、環境負荷の少ない持続可能な社会づくりに配慮した行動を無理なく実施できる低炭素社会を構築する。（環境局）

・環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るため、公共交通中心の利便性の高い交通ネットワークの構築、並びに自転車先進都市の実現に向けた各種施策を展開しており、今後も引き続きこれらの取組を進めていく。（都市整備局）

主な事務事業

施策① 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の促進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
地球温暖化対策事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底した省エネルギーの推進 ・再生可能エネルギーの最大限の導入 ・電気自動車等の普及促進 ・次世代エネルギー導入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートエネルギー導入事業の推進 (太陽光発電設備等 3,134 件) ・市有施設への太陽光発電設備の導入 (H29 年度末 99 施設) ・公用自動車として電気自動車の導入 (H29 年度末 31 台) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「水素社会の構築」に向けた施策の創設・拡充を図る。 ・スマートコミュニティ構築に向けた調査・検討を行う。
		進捗状況	
バイオ燃料地域利用事業 (環境局産業廃棄物対策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオディーゼル燃料（BDF）の普及促進、啓発事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディラッピングバスの運行による、廃食用油使用拡大及び廃食用油回収の普及啓発の実施 ・車両用途以外へのBDF使用先の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・市有車両が減少しBDF使用量が伸び悩んでいる状態にあるため、使用量増加に向け、車両用燃料以外の、他用途での使用促進を図る。
		進捗状況	

施策② 環境にやさしいライフスタイルへの転換

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
温暖化防止に向けた意識改革と行動喚起 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・温暖化の防止に向けた実践を促す重層的・波動的な広報の実施 ・ノーマイカーデーの推進 ・ライトダウンキャンペーンやエコドライブ講習等による意識の転換 ・環境負荷低減に向けた市民の継続的な取組への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・クールチョイス広報イベントの実施 (1/21 来場者約 3000 人) ・クールビズ・ウォームビズの普及促進 ・ノーマイカーデーの実施 (1 回実施、削減通勤距離 6,740km) ・ライトダウンキャンペーンの実施 (7/7 来場者約 500 人) ・エコドライブ講習会の開催 (5 回実施、参加人数 49 人) ・グリーンカンパニー活動の支援 (平成 29 年度末 639 団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例的で限定的となっている啓発活動を、新たな手法も検討し、より一層の情報発信を図る。
		進捗状況	

<p>人と環境にやさしい交通ネットワークの構築 [一部再掲] (都市整備局交通政策課)</p>	<p>・「政策 6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築」の施策①～施策③の主な事務事業が該当</p> <p>※P ●～●参照</p>		
		進捗状況	概ね順調

政策 28 みんなで進める循環型社会の構築

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
ごみの資源化率（％）	22.7	29.3	28	↗	環境局
資源化に向けた指導・啓発活動や大規模事業者の資源化量及び民間事業者の資源回収量の増加により、目標値をクリアした。					
市民1人1日当たりのごみ排出量（g）	837	821	809	↗	環境局
ごみの分別や資源化に向けた啓発活動により、目標値に向けて着実に減少している。					
汚水処理人口普及率（％）	80.9	82.8	85	↗	環境局 下水道河川局
下水道整備事業（整備面積87ha）及び合併処理浄化槽設置補助金事業の円滑な履行により、目標値に向けて着実に増加している。					

総括

総合評価
<p>施策① ごみの減量化とリサイクルの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの資源化については、民間事業者による資源化物量の算入、ごみの分別の徹底と資源化に向けた指導・啓発活動や資源回収団体への補助、中間処理施設における資源化の推進等に取り組んでおり、概ね順調に進捗している。今後も引き続き、ごみの分別や資源化に向けた啓発活動等を推進していく。（環境局）
<p>施策② 廃棄物の適正処理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の適正処理を推進するため、最終処分場からの放流水質等に関する検査や、必要に応じた指導、また、スカイパトロール等による不法投棄等対策を着実に実施した。今後も引き続き各事業を推進し、監視体制を確保することで、不適正処理の未然防止や早期発見に努めていく。（環境局）
<p>施策③ 総合的な汚水処理対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から単独処理浄化槽及び汲み取り便所からの転換に対する補助金の上乗せを実施した効果もあり、合併処理浄化槽設置の補助金交付基数は高いレベルで推移している。今後も引き続き効果を検証するとともに、普及啓発を推進していく。（環境局） 下水道事業は、整備面積84haの整備が着実に進んでおり、下水道処理人口普及率は0.7ポイント増加し、66.8%となった。また、合併処理浄化槽の設置が進んだこともあり、汚水処理人口普及率が0.9ポイント増加し、結果汚水処理人口普及率が82.8%に向上した。今後も引き続きアクションプランに基づき、汚水処理整備の10年概成に向け取り組んでいく。（下水道河川局）

主な事務事業

施策① ごみの減量化とリサイクルの推進				
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
資源循環指導・啓発事業 (環境局環境事業課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民、事業者の4Rに対する意識・行動改革を促す情報提供や、分別アプリ・講座等による普及啓発 排出されたごみの組成分析による資源化物の混入割合の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別の徹底と資源化が行われるよう指導・啓発を実施 講座開催数 124回 ごみ分別アプリ導入(ダウンロード数4,762件 累計15,172件) 家庭ごみ組成分析調査を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 市民・事業者が4R活動に積極的に携わるための必要な動機付けとして、広報・啓発による意識の向上を図る。
		進捗状況	概ね順調	
減量化・資源化対策事業 (環境局環境事業課)	<ul style="list-style-type: none"> 資源回収活動を行う団体への支援や生ごみ削減活動の促進、資源化物の拠点回収の実施 事業系ごみガイドブックの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの排出抑制や分別の徹底と資源化が行われるよう支援制度を実施 資源回収推進団体報奨926団体 ごみステーション等整備費補助226件 生ごみ処理容器購入補助187件 ダンボールコンポスト無償配布1,500個 		<ul style="list-style-type: none"> 家庭系ごみの生ごみと事業系ごみの紙類・生ごみ減量対策の強化に取り組む。
		進捗状況	概ね順調	
中間処理施設での資源化推進 (環境局環境施設課)	<ul style="list-style-type: none"> 焼却施設から排出される焼却残さのセメント原料としての資源化 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立量の減量化に向け、当新田環境センター、岡南環境センター、東部クリーンセンターにおいてセメント原料化を実施 実績：平成29年度10,746トン (平成28年度10,971トン) 		<ul style="list-style-type: none"> さらなるごみの減量化と資源化を図るため、廃棄物処理の技術革新の動向を注視しつつ、費用対効果を検証しながら最終処分場の延命化と中間処理施設の施設整備を推進する。
		進捗状況	概ね順調	

施策② 廃棄物の適正処理の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
ごみ処理体制の 効率化 (環境局環境施設課)	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山ブロックごみ処理広域化基本計画」に基づく、岡南環境センター、玉野市東清掃センター、岡山市久米南町衛生施設組合クリーンセンターを統合した広域的な焼却施設の平成37年度の稼働に向けた整備 	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみの広域処理施設建設候補地を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29, 30 年度で広域処理施設建設候補地の選定を行い、その後、地元説明、施設整備計画策定、環境アセスメントを行い、平成 37 年度の稼働開始を目指す。
		進捗状況	
産業廃棄物対策事業 (環境局産業廃棄物対策課)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の最終処分場からの放流水質や、同焼却施設の排ガス中のダイオキシン類濃度等に関する行政検査の実施 産業廃棄物の処理施設の設置者等に対する必要な指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度行政検査実施件数 最終処分場放流水等 13 事業場 ダイオキシン類検査 2 事業場 	<ul style="list-style-type: none"> 生活環境の保全を図るため、引き続き実施する。
		進捗状況	
産業廃棄物不法投棄等対策事業 (環境局産業廃棄物対策課)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の不法投棄等の不適正処理事案の未然防止及び早期対応 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度スカイパトロール実施件数 10 回 産業廃棄物監視班による事業所等立入件数 8,221 件 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度と同様に引き続き実施する。
		進捗状況	

施策③ 総合的な汚水処理対策の推進			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
下水道整備事業 (下水道河川局 下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> アクションプランに基づく公共下水道の概ね10年程度での重点的な整備 	<ul style="list-style-type: none"> 整備面積 84ha 完了 下水道処理人口普及率 66.8% (0.7 ポイント増加) 新規整備地区(吉備津、高松、牟佐)の地形測量を完了 	<ul style="list-style-type: none"> 10 年概成に向け、D I D 地区を中心に進めるとともに、高松、吉備津、牟佐などの新規地区の整備を着実に進める。
		進捗状況	

合併処理浄化槽 設置補助金事業 (環境局環境保 全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道整備計画の無い地域や下水道整備計画の予定が当面無い地域における、自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・単独処理浄化槽及び汲み取り便所からの転換に対し、補助金を上乘せしめて合併処理浄化槽の設置を促進 ・補助金交付基数:870基(平成29年度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度から平成32年度までの間に補助金交付基数5,500基を目指す。
し尿処理施設の 整備・効率化 (環境局環境施 設課)	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した設備の改修や機能更新等 ・設備の小型化・効率化を図るための公共下水道への接続 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年12月契約 工期は平成31年3月31日 ・進捗率47.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ・埋設物等の調査確認作業に不測の日数を要したため、今後の工程の調整が必要である。
汚水処理施設の 効率化 (下水道河川局 下水道河川計画 課)	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道や農業集落排水の処理場の統廃合の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・芳賀佐山浄化センターの統廃合に向け、幹線工事L=991mの整備が完了 ・流通団地浄化センターの統廃合に向け、幹線工事L=209mの整備が完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道施設については、継続的に事業を実施する。 ・農業集落排水施設については、最適整備構想を策定し、計画的に事業を進める。

政策 29 分権・人口減少社会を踏まえた行政の推進

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
岡山市に住み続けたいと考える市民の割合（％）	79.2	79.4	85 (H31)	↑	政策局

平成 29 年度実績値は、基準値より 0.2 ポイント増加し上昇傾向となっている。引き続き、若者の定着や地域への愛着の向上に向け、地方創生、広域連携等の取組を全庁的に推進する。

総括

総合評価

施策① 地方創生の推進

・「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進については、平成 29 年時点での K P I（重要業績指標）の数値の約 7 割が前年度より上昇しており、順調に進捗していると考えられる。今後も地方創生推進交付金等の財源を活用して、着実に地方創生を推進していく。（政策局）

施策② 圏域をリードする広域連携の推進

・広域連携の推進については、平成 29 年 3 月に策定した岡山連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携施策を推進し、平成 29 年度は、連携事業（42 事業）のうち約 6 割の事業を実施した。また、ビジョンについては、新たな事務事業を追加するなどの改訂を行うとともに、連携市町のうち 4 市 1 町との間で連携施策を追加する変更連携協約を締結し、連携取組の拡充を図った。今後も、ビジョンに基づく連携施策を推進していく。（政策局）

施策③ 大都市制度の推進

・大都市制度の推進については、指定都市間での協議を通じて、国への各種提言活動を行っており、継続して取り組んでいく。（政策局）

主な事務事業

施策① 地方創生の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度実施する総合戦略掲載事業等の効果検証 ・国の「地方創生推進交付金」や民間企業の参画を促す「地方創生応援税制」等を活用した地方創生の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、新たな事業の追加等による一部改訂(6月)及び、各施策の評価・検証(8月～9月) ・地方創生に係る財源の活用 <ul style="list-style-type: none"> 地方創生拠点整備交付金事業の認定(1件) 地方創生推進交付金事業の認定(2件) 地方創生応援税制活用事業への寄附(11社) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、総合戦略及び交付金事業等の効果検証を行い、必要な見直しを図る。
		進捗状況	

施策② 圏域をリードする広域連携の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
連携中枢都市圏ビジョンの策定と連携取組の推進 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月に策定した「岡山連携中枢都市圏ビジョン」に基づく連携取組について、県等との情報共有を図りながら推進 ・8市5町の首長で構成する岡山都市圏連携協議会を中心とする、連携取組の推進に向けた協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携事業42事業のうち約6割にあたる25事業を実施 ・岡山都市圏連携協議会(1回) ・連携中枢都市圏ビジョン懇談会(1回) ・変更連携協約締結(3月) 連携市町のうち4市1町 ・岡山連携中枢都市圏ビジョンの改訂(3月) 新規事業の追加 連携市町の事業への新たな参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルにより連携取組を推進する。 ・協議中の事業の推進を図る。
		進捗状況	
瀬戸内4県都市の連携推進 (政策局政策企画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市・広島市・高松市・松山市で構成する「瀬戸内4県都市長会議」の定期的な開催、連携施策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回瀬戸内4県都市長会議(10月) 会場：高松市 栗林公園商工奨励館 内容：具体的取組報告及び平成30年度の取組方針決定 ・「タイFAMツアー(プロガー、旅行会社の招請)実施(7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光分野での連携施策を推進する。
		進捗状況	

施策③ 大都市制度の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
指定都市市長会 を通じた取組の 推進 (政策局政策企 画課)	・指定都市が市域内における全 ての事務を処理する、新たな 大都市制度である「特別自治 市」の実現や事務・権限の移 譲等についての指定都市市長 会等を通じた国への要請等	<ul style="list-style-type: none"> ・指定都市市長会議：3回 ・「国の施策及び予算に関する提案」を 関係各省庁及び政党へ要請活動 ・指定都市市長会各部会等による国へ の提言活動 		・指定都市市長会を 通じて、国に対す る要請・提言を行 っていく。
		進捗状況	順調	

政策 30 将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営

成果指標の状況

指標名（単位）	基準値	実績値	目標値	傾向	担当局区室
	H27	H29	H32		
実質公債費比率（％）	9.5	7.0	9%台	↗	財政局
平成 29 年度決算においては、県費負担教職員の権限移譲に伴う標準財政規模（分母）の増や元利償還金（分子）の減により、基準値となる平成 27 年度決算から 2.5 ポイント減となっている。					
行政窓口の充実に対する満足度（％）	18.7	16.4	25	↘	市民生活局 総務局
市民サービス拠点の整備やコンビニ交付など、市民の利便性の向上を図ってはいるが、基準値から 2.3 ポイント減となっている。					
岡山市役所の管理職に占める女性の割合（％）	8.4 (H27. 4. 1)	11.6 (H30. 4. 1)	14 (H33. 4. 1)	↗	総務局
性別にとらわれない適材適所の人事配置等、女性活躍に向けた取組により、目標値に向けて着実に増加している。					
広報・広聴、情報公開、市民参加の推進に対する満足度（％）	13.1	11.8	18	↘	総務局 市長公室
市長記者会見や広報資料などの活用促進、ホームページのアクセシビリティ向上、新しい発信ツール（SNS 等）への対応など、情報発信力向上に取り組んでいるが、基準値から減少している。					

総括

総合評価
<p>施策① 健全で持続可能な財政運営</p> <p>・健全で持続可能な財政運営については、実質公債費比率については、平成 21 年度の政令指定都市移行後、臨時財政対策債などの元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた通常分の借入額を 200 億円程度に抑制していることにより、近年、減少傾向にあるが、今後は、市有施設の耐震化や老朽化施設の改修・更新などの影響により公債費が増加する見込みであることから引き続き留意していくとともに、市民に分かりやすい情報提供が必要である。（財政局）</p>
<p>施策② 公共施設等のマネジメントの推進</p> <p>・公共施設等のマネジメントの推進については、平成 29 年 3 月に策定した「岡山市公共施設等総合管理計画」の周知を目的にマンガ版を作成し配布する等、市民等への意識の醸成を図ってきた。また、平成 30 年 3 月には固定資産台帳をホームページに公開し、資産情報の見える化を進めている。今後、個別施設計画を順次策定するとともに「岡山市公共施設等総合管理計画」を改訂するなど着実に取組を進めていく。（財政局）</p>

施策③ 効率的・効果的な市民サービスの提供と公民連携の推進

- ・ P P P（公民連携）手法の活用については、産官学金連携の情報交換の場である「岡山 P P P 交流広場」や未利用財産の民間活用に係るアイデア募集など、未利用地の有効活用の課題解決の取組を進めている。また、平成 30 年 2 月に、「岡山市 P P P / P F I 手法導入優先的検討規程」を策定し、一定規模以上の事業については、P P P / P F I 手法の導入を優先的に検討し、公民連携に向けた取組を進めていく。（財政局）
- ・ I C T ガバナンスの推進については、情報システム所管課による予算要求、調達、運用保守、評価が適切に行えるよう、予算ヒアリングや仕様書作成、プロジェクト管理などの支援を引き続き行う。また、社会経済環境の変化や技術動向を踏まえ、情報セキュリティポリシー等の改定を行うとともに、職員向けの情報セキュリティ研修や情報システムセキュリティ監査を実施し、情報セキュリティの強化に向けた取組を進めていく。（総務局）
- ・ 市民サービス拠点の整備については、福田地域センターを開所した。今後は、非木造庁舎は耐震診断を行い、診断結果を踏まえて、施設の長寿命化を図りながら、他の市有施設と併合（複合化）するなど、「岡山市公共施設等総合管理計画」に基づく「個別施設計画」の中で方針を定め、効率・効果的で持続可能な市民サービスの提供体制を構築していく。（市民生活局）
- ・ マイナンバーカードを利用したコンビニ交付については、平成 28 年 2 月から住民票の写しと印鑑登録証明書、平成 29 年 3 月から戸籍関係の証明書の交付を開始し、現在まで徐々に交付枚数は増加している。今後、コンビニ交付利用の普及啓発等を行い、コンビニ利用による市民の利便性の向上などを図っていく。（市民生活局）
- ・ マイナンバーカードの取得促進は、平成 28 年 1 月の交付開始から概ね順調に増加している。国による、カードの普及啓発の報道等に合わせ、広報紙やウェブページへ記事を掲載し、効率的な宣伝などを実施する。（総務局）

施策④ 組織力の向上

- ・ 岡山市役所の管理職（課長級以上）に占める女性の割合は順調に増加しており、目標に向けて、引き続き女性職員の活躍を推進するための取組を進めていく。（総務局）

施策⑤ 透明性の高い開かれた市政運営

- ・ ホームページの改善、市長記者会見や広報資料の活用促進、S N S の活用など、情報発信については着実に発信力を増しているものと思われるが、広報、広聴、情報公開、市民参加の推進に対する市民の満足度は基準値からやや減少した。市民等からの要望等も多岐・多様になってきており、引き続き、適宜・適切な情報発信に努めていく。また、広聴機能の充実に向けては、年間約 3,000 件の文書要望に対し、担当部署が責任を持って迅速で誠実な対応を行うよう、研修等を通じて職員の広聴マインドの向上に努めていく。また、市長と市民の懇談会や市民団体等との懇談会を複数回にわたって開催するなど、様々な機会をとらえて市民の要望や懇談に応じていく。（市長公室）

主な事務事業

施策① 健全で持続可能な財政運営

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
財政運営の健全性確保 (財政局財政課)	<ul style="list-style-type: none"> 事業の選択と集中や徹底した無駄の排除、有利な財源の活用や新たな歳入確保策等による、必要な財源を捻出、将来世代に負担に先送りすることのない財政運営の健全性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 臨時財政対策債などの元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた通常分の借入額を98億円に抑制 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、市有施設の耐震化や老朽化施設の改修・更新などの影響があることから、引続き留意が必要である。
		進捗状況	
市民に分かりやすい財政情報の提供 (財政局財政課)	<ul style="list-style-type: none"> 新地方公会計制度による財務諸表等の作成・公開 	<ul style="list-style-type: none"> 新地方公会計制度による財務書類等(平成28年度決算版)を作成し、市ホームページで公開 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、統一的な基準に基づく財務書類等を更新し、毎年の推移や他都市との比較等を行っていく。
		進捗状況	

施策② 公共施設等のマネジメントの推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
公共施設等マネジメント推進事業 (財政局財産活用マネジメント推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山市公共施設等総合管理計画」の平成28年度中の策定及び当該計画に基づく個別施設の管理計画の平成32年度までの策定 公共施設等の固定資産台帳の平成28年度中の整備及びマネジメントツールとしての活用 	<ul style="list-style-type: none"> マンガ版岡山市公共施設等総合管理計画の作成及び配布 平成28年度末時点の固定資産台帳を整備し、ホームページに公開 	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山市公共施設等総合管理計画」を踏まえた個別施設計画を平成32年度を目途に策定する。 固定資産台帳を毎年度更新し、毎年の推移や他都市との比較等を行っていく。
		進捗状況	

施策③ 効率的・効果的な市民サービスの提供と公民連携の推進

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
<p>PPP（公民連携）手法の活用 （財政局財産活用マネジメント推進課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等への多様な公民連携（PPP）手法の導入検討、民間との情報共有等による民間活力の活用推進 産官学金連携の情報交換の場である「岡山PPP交流広場」等を通じた、跡地等未利用地の再活用・売却の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山PPP交流広場」を2回（平成29年10月3日、平成30年2月2日）開催し、未利用地や公共施設等総合管理計画の情報提供、他都市の事例紹介、未利用地について民間活用アイデア募集のワークショップを実施 PPP/PFI手法に関する職員向けの研修会を実施（平成29年12月26日 午前・午後の合計2回） 平成30年2月に「岡山市PPP/PFI手法導入優先的検討規程」を策定 未利用財産の民間活用に係るアイデア募集（9件） 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、「岡山PPP交流広場」を開催し、情報提供や民間活用アイデア募集を行うなど跡地等未利用地について処分や利活用の促進を図るにあたり、参加企業・団体が具体的な提案がしやすい情報を提供し、実際の利活用事業につなげることが課題である。
		進捗状況	順調	
<p>ICTガバナンスの推進 （総務局ICT推進課）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強く情報セキュリティ対策が十分な、効率的で最適化された情報システムの導入・更新 	<ul style="list-style-type: none"> 情報システム所管課による予算要求、調達、運用保守、評価が適切に行えるよう、予算ヒアリングや仕様書作成、プロジェクト管理など支援を実施 岡山市情報セキュリティポリシー等の見直し 情報管理者、情報化推進員のほか一般職員を対象としたセキュリティ研修の実施 新規採用職員及び幼稚園教諭を対象としたセキュリティ研修の実施 全職員を対象としたセキュリティに関するeラーニングの実施 情報システムセキュリティ監査の実施 		<ul style="list-style-type: none"> 社会経済環境の変化や技術動向を踏まえ、情報セキュリティポリシー等について随時見直しを図りながら、ICTガバナンスを推進する。
		進捗状況	概ね順調	

市民サービス拠点の整備 (市民生活局区政推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・中区役所の整備（平成 28 年度オープン） ・吉備地域センター、高松地域センター、福田地域センター等の他施設との複合化による整備 	<ul style="list-style-type: none"> 【中区役所整備事業】 ・中区役所旧庁舎を解体 【吉備地域センター整備事業】 ・吉備地域センターの外構を整備 【福田地域センター整備事業】 ・老朽化が著しい福田地域センターを、福田公民館の敷地内に公民館との併設により整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の市民サービス拠点の整備について非木造庁舎は耐震診断を行い、その診断結果を踏まえて、施設の長寿命化を図りながら「岡山市公共施設等総合管理計画」に基づく「個別施設計画」の中で方針を定めていく。
	進捗状況	順調	
マイナンバーカードを利用したコンビニ交付の推進 (市民生活局区政推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードを利用した住民票や戸籍関係等の証明書のコンビニ交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付啓発用のリーフレット作成・配布 ・平成 29 年度交付実績：7,543 枚（証明書全体の約 1.0%） <参考> ・平成 28 年度交付実績：4,373 枚（証明書全体の約 0.54%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ交付開始後、徐々に交付枚数は増加しているが、更なるコンビニ交付利用の普及啓発等を行い、コンビニ利用による市民の利便性の向上などを図っていく。
	進捗状況	概ね順調	
マイナンバーカードの取得促進 (総務局行政事務管理課)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの新たな機能追加等への適切な対応及び国との連携による普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・交付開始(平成 28 年 1 月)から平成 29 年度末までの累積交付枚数：62,561 枚（交付率約 8.8%） ・平成 27 年度の制度開始当初より継続している市公式ウェブページでの広報の他、平成 29 年度は申請方法等記載したチラシを広報紙に折り込み全戸配布 ・税務署と連携し、確定申告会場にカード申請補助コーナーを設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・国による、カードの機能追加の発表や普及啓発の報道等に合わせ、広報紙やウェブページへ記事を掲載し、効率的な宣伝などを実施する。
	進捗状況	概ね順調	

施策④ 組織力の向上

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)		今後の課題・方向性
適正な定員管理 (総務局人事課)	<ul style="list-style-type: none"> 定員管理の適正化を図る方針の平成 28 年度中の策定による、より適正な定員管理の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 定員管理の方針に基づき、平成 30 年 4 月 1 日付人事異動により、人員配置の適正化に取り組んだ。 平成 30 年 4 月 1 日現在職員数 8,429 人 <p><参考> 平成 29 年 4 月 1 日現在職員数 8,433 人</p>		<ul style="list-style-type: none"> 定員管理の方針に基づき、より適正な定員管理に取り組んでいく。
		進捗状況	順調	
人材育成による 職員の資質向上 (総務局人事課)	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質や意識・意欲の向上に向けた、研修の充実や職員の育成及びキャリア形成を念頭に置いた人事配置等 	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 4 月に岡山市人材育成ビジョンを改訂 研修実績等 基本研修 16 回 1,809 人参加 有意義と回答した割合 95.4% 課題研修 14 回 641 人参加 有意義と回答した割合 93.0% 職場研修活性化支援研修 8 回 819 人参加 有意義と回答した割合 91.6% 派遣研修 7 団体 385 人参加 平成 30 年 4 月 1 日付人事異動において、若手職員や女性職員の早めの異動、専門性を必要とする部門の長めの人事ローテーション等を実施 		<ul style="list-style-type: none"> 改訂した岡山市人材育成ビジョンに基づき、引き続き、研修の充実を図るとともに、OJT（職場内研修）の活性化に取り組んでいく。 職員の育成とキャリア形成を推進するため、引き続き、弾力的な人事配置に取り組んでいく。
		進捗状況	順調	
女性の活躍推進 (総務局人事課)	<ul style="list-style-type: none"> 「女性が輝くまちづくり」の一環として、女性の積極的な登用等による、より多様性を持った組織づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市特定事業主行動計画に基づき、性別にとらわれない適材適所の人事配置等に取り組んだ。 岡山市役所の管理職（課長級以上）に占める女性の割合：平成 30 年 4 月 1 日現在 11.6%（平成 29 年 4 月 1 日現在 10.6%） 		<ul style="list-style-type: none"> 岡山市特定事業主行動計画に基づく取組を継続する。
		進捗状況	順調	

職員のワークライフバランスの推進 (総務局人事課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の士気や業務効率を高めるため、仕事と家事、子育て、介護等が両立できる職場づくりや、業務改善等の働き方改革の推進 ・ 人事異動により配置換えとなった課長級以上の職員及び新たに課長級となった職員によるイクボス宣言を実施し、ワークライフバランスの実現に向けた取組を推進。 ・ 平成 29 年度実績 (平成 28 年度実績) 男性職員の出産補助休暇取得率 94.8% (94.3%) 男性職員の子育て休暇取得率 100.0% (100.0%) 男性職員の育児休業等取得率 1.5% (1.6%) 年次休暇取得率 58.2% (55.2%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休暇等取得率の維持向上及び時間外勤務の縮減に取り組んでいく。
	進捗状況	概ね順調

施策⑤ 透明性の高い開かれた市政運営			
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)	今後の課題・方向性
伝わりやすい市政情報の発信 (市長公室広報広聴課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者や障害者等の利用者に配慮したタイムリーな情報提供を行うホームページやより親しみやすい広報紙等の情報ツールによる発信力の向上 ・ ICTを活用した新しい発信ツール (SNS 等) やモバイル端末への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの運営： 総ページビュー数 21,596,471 ・ SNS の運営： Facebook のいいね数 約 9,800 ・ 広報紙の発行： 月 286,000 部×12 か月 特集号 286,000 部×4 回 ・ 市政テレビ： 月 3 回×2 局 月 4 回×1 局 日 3 回 (月～金) ×1 局 ・ 市政ラジオの放送： 日 1 回 (月～金) ×1 局 週 1 回×1 局 ・ 記者会見 (22 回) ・ 記者発表 (28 回)、 広報資料提供 (1,956 件) 等パブリシティ活動の実施 ・ 職員研修の実施 (1 回) ・ 広報通信の発行 (6 回) 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「広報誌の区に関する情報充実」「ホームページのアクセシビリティ向上」「広報資料の提供数増加」など、情報発信のために利用しているツールの発信力のさらなる向上が必要である。 ・ SNS など新しい発信ツールの活用に取り組んでいく。 ・ 情報発信の充実には職員の広報マインドの向上が不可欠であり、研修等の充実などにより今まで以上に意識向上を図っていく。
		進捗状況	概ね順調

<p>広聴機能の充実 (市長公室広報 広聴課)</p>	<p>・様々な機会・手法を通じた市民ニーズの的確な把握及び市政運営への活用</p>	<p>・市長と市民との懇談会 2回 ・文書要望（広報広聴課受付分）66件 ・市民団体等との懇談会 15回 ・電話・Eメール・訪問等による要望・意見・苦情等（広報広聴課受付分）533件 ・一般相談（広報広聴課・区役所受付分）2,006件 ・弁護士による無料法律相談 994件</p>	<p>・個別広聴、集会広聴、課題広聴等の様々な機会・手法を通じて、市民の声を聴き、市政運営への活用をさらに図っていく。 ・広聴機能の充実には、職員の広聴マインドの向上が不可欠であり、職員への周知を引き続き図っていく。 ・「市長と市民の懇談会」については、市の主要施策・課題等について様々な分野・業種の方々と幅広い意見をいただける機会となるよう、テーマや参加者の選定等について工夫していく必要がある。</p>
	進捗状況	概ね順調	

取組実績報告

(区別計画編)

区づくりの将来目標

自然と共生し、歴史と文化が薫る 賑わいと交流のまち 北区

総括

総合評価

方向性 1 まちなかの魅力と賑わいの創出

西川緑道公園の特色をいかしたイベントの定期的な実施や、旭川周辺の整備事業、商店街の活性化事業への支援等の継続により、まちなかの魅力アップやにぎわい創出につながっている。また、県庁通りの回遊性向上に向けたセミナーやワークショップの開催により、地域や沿道事業者も一体となった魅力づくりを進めている。併行して、美化推進重点区域・路上喫煙制限区域での広報・啓発活動を実施し、まちなかの美化を進めている。まちなかの回遊性向上やにぎわいの創出をより一層推し進めるため、引き続き市民協働のもとでの取組を推進していく。

方向性 2 農村部、中山間地域の活性化

新規就農相談、関係機関と連携した研修実施、新規就農者への奨励給付金、初期経費への補助金等の施策、農業者の経営力強化のための企業との連携などへの支援等の実施により、新規就農者の確保等につながっている。農業従事者の高齢化、減少が進む中、今後も担い手の確保や育成、農業経営力の向上に向けた支援を継続していく必要がある。また、御津・建部地域に導入している地域おこし協力隊による取組が地域活性化に寄与している他、牧山地区においても地域おこし協力隊の採用が決まり、引き続き支援を継続していく。

方向性 3 企業立地の推進

本市が持つ優れた交通網による拠点性の高さや災害リスクの低さ等を活かして、県との共同による空港南産業団地整備を着実に推進し、また企業本社、中四国支店などの広域的営業拠点等の立地を進めた。若者を中心とした人材の首都圏等への流出を防ぎ市内への定着を図るため、広域的営業拠点など事務系職種の新たな雇用創出や、拠点強化を図る市内既存工場等の設備投資等への支援を引き続き進めていく。

方向性 4 歴史・文化など多様な地域資源の再認識と活用・発信

県との連携による岡山城の烏城灯源郷と岡山後楽園の幻想庭園同時開催をはじめとするイベントの開催等の継続により、外国人をはじめ観光客の増加に繋がっている。また、平成 28 年度の「岡山城天守閣等のあり方検討調査」を踏まえて、ハード・ソフト両面からの見直しを行うための実証実験事業を実施するなど、観光施設の魅力アップを図っている。さらに、各地域の埋もれた歴史資源を再認識し、市民や観光客が歴史・文化に触れる機会を増やす岡山歴史のまちしるべの設置支援においては、地域の団体からの提案により北区では 23 基の設置に至っている。今後も、岡山連携中枢都市圏の市町をはじめとする他都市との連携や、地域への愛着や誇りの醸成を図る取組を進めていく。

方向性 5 まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上

自転車走行空間や駐輪場の整備を行い、自転車利用環境の向上に努めた。今後、中心部と郊外部を接続するアクセス路線の整備を進めるほか、引き続き中心部においては駐輪場整備を進める必要がある。また、公共交通の利用が不便な地域のうち、御津・建部コミュニティバスや足守生活バスでは、利用を促進するため

の運行改善の検討を行った。牧山地区や馬屋上・野谷学区では地元組織とデマンド型乗合タクシーの導入に向けた検討を行い、住民の利用意向を調査した上で、引き続き、住民、事業者と一体となり、運行計画策定に取り組んでいく。

方向性6 持続可能で活力のある地域づくり

区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業等を通じて区民の自主的・主体的な地域活動が行われている。また、地域の特性をいかした健康づくり活動などをおして持続可能な地域づくりを進めている。こうした活動を継続・促進していくため、担い手育成を推進しており、引き続き取り組んでいく。

方向性7 連携・協働による防災・減災、防犯力の高い地域づくり

地域における防犯・防災活動の担い手不足が課題となっている中、防災意識の高揚を図るための出前講座の継続的实施や、内水ハザードマップの配布、自主防災組織率の増加に向けた支援事業の実施や地域防災リーダーの育成、地域防犯ボランティア団体への活動の支援などにより、地域の防災・防犯力の強化につながっている。今後も、地域との連携・協働のもとで地域防災・防犯力の底上げを図っていく。ハード対策においては、浸水対策の施設整備や下水道施設の耐震化、道路防災危険個所の調査を進めている。引き続き計画的なハード整備を実施していく。

主な事務事業

方向性1 まちなかの魅力と賑わいの創出		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
西川魅力にぎわい創出事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 西川パフォーマー等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催 西川緑道公園筋（平和橋～桶屋橋南）における歩行者天国の定期開催化による賑わいづくり パークマネジメントによる西川緑道公園の魅力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 西川パフォーマー事業者と市が協働して、定期的に西川緑道公園でイベントを実施 【西川パフォーマー事業】 認定事業（パフォーマー主体）＝30回実施 活用事業（市主体）＝3回（5日）実施（公園内滞在者数：計24,959人） 【西川緑道公園筋歩行者天国実施】 6月、7月、10月、1月、3月の計5回（5日）開催 （ホコテン内滞在者数：計8,641人）
旭川かわまちづくり事業 (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川さくらみちの整備や烏城公園（石山公園地区）の再整備等 市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 石山公園活用検討会の開催（3回実施）（北区） みんなでつくる水辺フェス♪～岡山旭川2017の開催（10/22：荒天中止） 旭川さくらみち歩行空間整備工事（浜樋門から上流約600m区間）（中区） 旭川さくらみち桜並木の桜の更新（伐採8本、新植1本）（中区）

<p>商店街等地域商業の活動への支援 (産業観光局産業振興・雇用推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街等が行う商店街活性化へ向けた取組や、地域商業の活性化に向けた取組への支援 ・市内中心部の顧客吸引力や商業力等を計るために必要な各種調査の実施 ・商店会連合会が主催する魅力的なイベントの開催や情報発信、調査研究事業等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化に資する支援策として、「備前岡山ええじゃないか」等商店街への誘客イベント支援等を商店街での商業振興のための補助事業とあわせて実施
<p>岡山まつり開催事業 (産業観光局観光振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の花火やうらじゃに代表されるおかやま桃太郎まつりなど、岡山らしさを味わえるまつりや滞在を促すイベントの充実等を通じた岡山の魅力の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種まつり（イベント）の実施 第17回おかやま桃太郎まつり うらじゃ・花火大会 来場者数 88万人 秋のおかやま桃太郎まつり 来場者数 16.3万人
<p>県庁通り歩いて楽しい道路空間創出事業 (都市整備局庭園都市推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁通りにおける交通規制を伴う社会実験での賑わい創出の効果、歩行者や自動車交通等への影響等を検証した上での県庁通りの再構築に向けた取組の推進 	<p>【セミナー・ワークショップの概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29.7.22 第1回県庁通りまちづくりセミナー 参加者：110名 ・H29.11～H30.1 まちづくり勉強会 1回 まちづくりワークショップ 2回 ・H30.2.17 第2回県庁通りまちづくりセミナー 参加者：40名
<p>環境美化推進事業 (環境局環境事業課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美化推進重点区域・路上喫煙制限区域での巡回指導や広報・啓発活動の実施 ・美化推進重点区域内での一斉清掃等の美化イベントの実施や地域での美化活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・美化推進重点区域での一斉清掃等の美化イベント実施 14回 ・巡回指導 200回 ・啓発ティッシュ配布 5,860個

方向性2 農村部、中山間地域の活性化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
農業の担い手の確保・育成事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 若手農業者モデル経営体の登録及び新規就農希望者への紹介 就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付 U I J ターン園芸農業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者数 29人 就農相談会 11回 農業体験研修 3回 若手農業者モデル経営体の登録 14経営体 奨励金給付 10件 U I J ターン園芸農業者への補助 1件 <p>※全市の実績</p>
農業経営力向上対策事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援 園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援 担い手への農地集積に対する支援 農業者と企業の連携の支援 	<p>【経営所得安定対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米の直接支払交付金申請者数 2,297件 水田活用直接支払交付金申請者数 1,896件 <p>【水田営農推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代化施設・機械等の導入補助(実施地区数1件、受益戸数29戸、受益面積5ha) <p>【園芸作物生産流通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代化施設・機械等の導入補助(実施地区数5件、受益戸数370戸、受益面積2,433,119.13ha) <p>【畜産振興指導費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山市畜産クラスター協議会による近代化施設・機械等の導入補助(実施地区数1件) <p>【環境保全型農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近代化施設・機械等の導入補助(実施地区数8件、受益戸数87戸、受益面積205.5ha) 環境保全型農業直接支払交付金(件数7件、39ha) <p>【担い手の育成・確保の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地集積率 37.5% (目標) 平成29年度実績 36.9% <p>【次世代農業支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業者と企業等それぞれの連携意向アンケート調査(連携に関心有;農業者111件、企業等37件) 農業者向け企業等との連携にあたっての勉強会実施(2回;延べ48名参加) 農業者と企業等との連携相談会実施(4回;農業者延べ36名、企業等延べ26社参加) 農業者と企業等との個別マッチング(6件成立、内2件モデル事業認定) <p>※全市の実績</p>

<p>農村集落活性化事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度等の活用による水路の泥上げや農道の砂利補充等の農地維持に向けた地域の共同活動、及び中山間地域等における耕作放棄地の発生防止や農業生産活動の維持を図る取組に対する交付金の交付 	<p>【多面的制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 61 組織 (北区 38 組織)、3,088ha (北区 763ha) <p>【中山間制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 51 集落協定、1 個別協定 (北区 50 集落協定、1 個別協定)、329ha (北区 325ha) で取組を実施
<p>地域おこし協力隊事業 (政策局事業政策課、北区役所総務・地域振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に中山間地域等への地域外の人材の誘致及び地域住民との協力による地域活性化の促進 	<p>【御津・建部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 配置隊員数：御津 2 名、建部 3 名 ※29 年度 建部地域に 1 名採用 ・ 活動内容：地域住民グループ等への支援や休耕地を活用した農作物栽培、農産加工品の販売、地域情報の発信などの地域振興活動 <p>【その他地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協力隊を既に導入している御津・建部地域以外の市域で導入希望地域を募集し、希望のあった牧山地区で 2 名の地域おこし協力隊の採用を決定

<p>方向性 3 企業立地の推進</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H29 年度)</p>
<p>空港南産業団地整備事業 (産業観光局産業政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山空港から南へ 4 km に位置する未利用県有地である元第 2 リサーチパーク用地を活用した、岡山県との共同による企業誘致のための産業団地の整備 (平成 30 年度分譲開始予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年 5 月に市県で締結した「空港南産業団地の開発に伴う協定書」に基づき、市県で役割分担して団地整備事業を実施 ・ 団地区域外における污水管理設工事 (污水管理設 L=845m) ・ 団地区域外における配水池やポンプ場といった上水道施設を整備
<p>企業立地推進事業 (産業観光局産業政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通アクセス性に優れた場所等の産業利用の適地に用地を確保できるよう努め、企業立地を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高速道路 I C 周辺等の交通アクセス性に優れた場所において、産業振興に資する土地利用を図るため農振法の規制緩和を求めて、「国への政策提言・要望」活動といった様々な機会を活用し、国への要望を実施

方向性 4 歴史・文化など多様な地域資源の再認識と活用・発信

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
<p>岡山芸術交流の開催 (市民生活局文化振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 岡山城周辺の歴史文化ゾーンを主会場とした「岡山芸術交流 2016」の開催、実施結果の検証を踏まえた次回開催を目指した検討 	<ul style="list-style-type: none"> 「岡山芸術交流 2019」の開催に向けての諸準備 基本計画の策定（アーティスティックディレクター選任） 広報活動（記者発表、ロゴマーク作成、公式 web サイト改修） プレイベントの実施（ピエール・ユイグ氏のパフォーマンス作品上演）
<p>岡山フィルハーモニック管弦楽団の活動支援 (市民生活局文化振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県内唯一のプロオーケストラである岡山フィルハーモニック管弦楽団の運営支援を通じた、プロの演奏に触れる機会の増加や都市の魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> 定期演奏会 4 回を含む年内延べ 147 公演を開催 鑑賞者数 47,082 人 市内小中学生に、岡山シンフォニーホールでの鑑賞機会を提供する「岡山市小中学校音楽鑑賞教室」などの事業を継続して開催
<p>岡山シティミュージアムの運営 (市民生活局岡山シティミュージアム)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民の営みやまちの誇りを次世代へ伝える文化の醸成や教育の場としての、岡山の歴史と文化をテーマとした常設展や特別展の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 常設展内小企画（6 回）、特別展・企画展（7 回）、ミュージアム講座（11 回）の開催 学校利用（校外学習）の実施（1,035 人） クイズ形式の鑑賞ワークシートの作成・活用 公衆無線 LAN（Wi-Fi）環境の整備 常設展の英語解説表記の充実
<p>オリエント美術館と県立美術館等との共同事業 (教育委員会オリエント美術館)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 隣接する県立美術館等との共同による情報発信、特別展の企画や学習プログラムの開発等 	<ul style="list-style-type: none"> チケット（半券）提示による相互入館料割引～2 館で約 147 人／月 美術館ボランティアの交流～2 館で約 6 人／月参加 展覧会時の美術品の相互展示及び紹介

<p>観光施設の活用事業 (産業観光局観光振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山城天守閣をはじめとした市内各地の観光施設等の適切な維持管理や有効活用、市内各地の歴史・文化資源の統一看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置等による観光客の満足度向上につながる受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度の「岡山城天守閣等のあり方検討調査」を踏まえて、ハード・ソフト両面から必要な見直しを行うための実証実験事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> 特別展示「EMAKI 秀家伝」ほか 来場者 61,801 人 (10/7~11/30) 不明門を活用して、歴史講座やワークショップを実施 岡山城座談会 (有識者からの意見聴取) ・観光客受入体制整備のため、岡山の観光地を紹介した看板の設置 <ul style="list-style-type: none"> 岡山歴史のまちしるべ 設置場所・設置数 高松エリア 8 基
<p>観光資源の魅力アップ事業 (産業観光局観光振興課、プロモーション・MICE 推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山城と岡山後楽園との連携による烏城灯源郷と幻想庭園との同時開催等による、宿泊客の増加や滞在時間の延長の促進 ・倉敷市等他都市との連携を通じた吉備路をはじめとする広域周遊観光の促進 ・瀬戸内海沿岸の他都市等と連携した情報発信や、岡山をベース宿泊地とする広域周遊観光等の促進 ・「備前池田家」や「古代吉備の国」等、岡山連携中枢都市圏における共通のテーマに基づいた歴史・文化資源の収集及びストーリー化、情報発信等による地域への愛着と誇りの高揚、観光資源としての魅力の向上 ・地域文化の創造を目的とした郷土に根付いた芸能の振興と民謡の普及促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山後楽園との連携による事業の広報・実施 <ul style="list-style-type: none"> 岡山城入場者数 359,356 人 (対前年度 2.6% (350,324 人) の増) うち外国人 63,678 人 (対前年度 42.8% (44,594 人) の増) ・各種メディア・雑誌等へ広域なエリアで連携した情報発信による観光客誘致 ・瀬戸内 4 県都市長会事業として、4 都市がタイの旅行会社やブロガーの招請ツアーを実施 ・おかやま連携中枢都市圏域内の広域周遊観光の促進のため、作家「あさのあつこ」監修による短編集を制作 (3,000 部) ・短編集完成記念対談イベントによる情報発信を実施 ・短編集に登場するスポットを巡るモニターツアー実施 ・郷土芸能補助 6 件 ・郷土民謡普及補助 総指導回数 55 件
<p>「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化の由来等を顕す統一デザイン案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の市内主要地域 (中心市街地等) や地域住民から提案を受けた場所への設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体から提案を募集し、採用された 32 基 (うち北区は 23 基) の案内看板を設置

<p>文化財及び埋蔵文化財の発掘調査成果の活用 (教育委員会文化財課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査の成果や所管する文化財の公開、文化財に関する講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・発掘調査現地説明会を開催して調査現場を公開 ・埋蔵文化財センターでは、年間を通して毎月の定期講座(7月・8月の夏休み対応月については、子ども対象講座とし、勾玉や鏡の製作体験)を開催 ・市役所1階市民ホールでは、前年度の調査成果を展示する発掘調査速報展を開催 ・通常は非公開の岡山城跡月見櫓を文化の日に合わせて公開
<p>身近な生きものの里事業 (環境局環境保全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等が身近な野生生物をシンボルにして主体的に生物多様性の保全活動を行っている地域について、「身近な生きものの里」として認定する活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に大野、観音寺用水の2地域を認定 ・既存の足守、大井、下高田、福谷、宇甘西、竹枝、龍泉寺の7地域に、保全活動に対する助成や資材提供などの活動支援を実施

<p>方向性5 まちなかから中山間地域まで、地域特性に応じた交通利便性の向上</p>		
<p>① まちなか公共交通の充実、自転車利用環境の向上</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H29年度)</p>
<p>まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の岡山駅前広場への乗り入れに向けた取組の推進 ・バスロケーションシステム等の案内情報の充実等 	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車の乗り入れに伴う岡山駅前広場のあり方について、公開会議を2回開催し、関係者等の意見を聴取
<p>自転車走行空間の整備 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部において「自転車先進都市おかやま実行戦略」に位置付けた路線に自転車走行空間整備 ・現状の自転車利用ニーズ(利用圏域や自転車交通量等)を勘案して、中心部と郊外部を接続するアクセス路線の選定・整備 ・郊外部の自転車利用ニーズに応じて、地域の主要拠点等の自転車利用圏域に対応した整備について計画策定に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・桃太郎大通りににおける自転車走行空間整備(L=824m) ・市道本町柳町線、市道本町表町線における自転車走行空間整備(L=1,925m) ・中心部と郊外部を接続するアクセス路線の検討 ・市道錦町古京町線、市道内山下京橋町線、市道石関町3号線における整備検討および地元への説明

<p>駐輪場の整備 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で駐輪ニーズの特に高い中心部（特に表町地区）において、駐輪特性に応じた駐輪場の整備（公共による整備のほか、民間による整備の促進） ・自転車の端末利用促進や公共交通利用促進のため、駅やバス停等の交通結節点への駐輪場の整備 ・既存駐輪場の運用見直し（有料化など）により、駐輪場の適正利用を促進 ・駐輪場の整備状況を勘案の上、必要に応じ放置禁止区域の指定及び拡充を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山駅東口高架下第2自転車等駐車場の再整備（627台分 有料化） ・岡山駅東口周辺の放置禁止区域の拡大 ・民間自転車等駐車場整備補助制度の継続運用
<p>コミュニティサイクル「ももちゃり」の利用促進 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の運営期間（平成25年～平成30年度）の運営状況・利用状況等を評価し、以後の事業継続内容（ポート配置・ポート拡充・収支計画・運用方法等）を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して運用を実施 (平成29年度平均利用回転数:3.85回/日台)
<p>自転車ルール・マナー向上 (市民生活局生活安全課、都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の開催や街頭啓発活動の実施などによる自転車通行ルールや利用マナーの周知及び放置自転車の解消に向けた指導・啓発の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車ルールマナー啓発イベント（平成29年9月開催） ・自転車ルールマナー啓発ラジオCM作製・放送（平成29年5月、9月放送） ・放置自転車防止のための街頭啓発指導（通年実施）
<p>サイクリングロードの充実 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興も念頭に、関係機関と連携した、吉備路自転車道や吉備高原自転車道等におけるサイクリングに適した案内板や路面標示等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉備路自転車道（L=14.5km）・吉備高原自転車道（L=19.2km）における路面サインの整備を実施
<p>中環状道路の整備 (都市整備局道路計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都心に集中する交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路下中野平井線の整備 ・国道53号方面からの交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路米倉津島線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路下中野平井線において、構造物詳細設計、用地補償等を実施 ・都市計画道路米倉津島線において、事業化に向けた地元説明会を実施

幹線道路の整備 (都市整備局道路 計画課)	・ 県道等幹線道路における、道路改良、 歩道整備、交通安全施設整備等	・ 都市計画道路上石井岩井線ほか4路線におい て、道路改良工事、用地補償等を実施
鉄道の利用環境改 善 (都市整備局交通 政策課)	・ 交通結節機能強化 ・ パーク&ライド駐車場管理 ・ わかりやすい案内情報の整備	・ 福渡駅駐車場の管理運営 (建部支所)
バスの利用環境改 善 (都市整備局交通 政策課)	・ パーク&バスライド駐車場、サイク ル&バスライド駐輪場の整備 ・ わかりやすい案内情報の整備	・ なし

② まちなかと周辺地域をつなぐ公共交通等の充実

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
幹線道路の整備 (都市整備局道路 計画課)	・ 県道等幹線道路における、道路改良、 歩道整備、交通安全施設整備等	・ 県道御津佐伯線ほか2路線において、道路改 良工事、用地補償等を実施
鉄道の利用環境改 善 (都市整備局交通 政策課)	・ 交通結節機能強化 ・ パーク&ライド駐車場管理 ・ わかりやすい案内情報の整備	・ 福渡駅駐車場の管理運営 (建部支所)

③ 中山間地域での生活交通の確保

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
生活交通の維持・ 改善 (都市整備局交通 政策課)	・ コミュニティバスの運行経費の一部 助成や利用促進に資する運行サービ スの改善	・ 御津・建部コミュニティバスの運行改善につ いて、平成 30 年度からの実施を目指して、 ルートやダイヤの改正案を作成 ・ 足守生活バスの運行改善について、平成 30 年度の試験運行実施に向けて、2 台・2 路線 で運行する改善案を地元検討組織と策定

<p>新たな生活交通の確保 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・馬屋上学区・野谷学区、牧山地区において、地元検討組織とデマンド型乗合タクシーの運行計画（素案）を検討し、住民の利用意向を把握するためのアンケート調査を実施
---	---	--

<p>方向性 6 持続可能で活力のある地域づくり</p>		
<p>① 多様な力をいかした地域づくり</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H29 年度)</p>
<p>区づくり推進事業 (北区役所総務・地域振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 15 件 <ul style="list-style-type: none"> 小学校区単位で実施される地域活性化イベント事業。 世代間の交流を深めるなど、支え合い助け合うまちづくりを推進するイベントや、特産物や歴史・文化等の地域資源を活かし、地域の魅力を内外に発信しまちづくりを推進するイベント。 また、防災意識を高め、犯罪のないまちづくりを推進するイベントなども実施。 ・広域交流部門 10 件 <ul style="list-style-type: none"> 2 以上の小学校区単位で実施される地域活性化イベント事業。 特産物や観光資源、地域ゆかりの偉人の功績学習など地域資源をいかしたまちづくりを推進するイベントや、地域内にある豊かな自然や施設をいかした住民交流を推進するイベント、地域で取り組むスポーツ活動等で健康づくりを推進するイベントなどを実施。 ・地域活動部門 11 件 <ul style="list-style-type: none"> 概ね小学校区単位で実施される、地域課題を解決するための継続的な活動。 地域資源の整備・保存活動や伝統芸能の継承、少子高齢化・核家族化における問題解決、地域コミュニティのリーダーやボランティアの養成事業などを実施。

安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付(40学区・地区に交付) 若者の地域への関心を高めるなど、地域活動を担う人材の育成につながる地域づくり講座の開催(4館で若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施)
住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> 学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 40学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、759町内会に対し、自治振興報償金の支払 町内会集会所新築等補助金の交付 新築4件、修繕10件、エアコン24件 コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業補助金の交付28件
② 地域、企業や団体等と連携した主体的な健康づくり		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
「健康市民おかもま21(第2次)」推進事業 (保健福祉局健康づくり課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング大会・健康まつり・健康教室等、市民主体で企画実施したイベント回数・参加人数 <北区中央>36回、3,950人 <北区北>30回、3,569人

方向性7 連携・協働による防災・減災、防犯力の高い地域づくり

① 浸水対策

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
浸水対策事業 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による旭川、笹ヶ瀬川、足守川、砂川等の改修等の促進 ・都心部における下水道施設の計画的な改築・更新等による雨水排水機能の強化 ・西部の市街地等での浸水対策 ・土砂災害について、県による警戒区域等の指定や対策工事を促進 ・町内会への防災備蓄土、土のう袋の配布 ・事前に大雨が予想される場合は、下流地域の水利権者の理解を得た上で、河川からの取水量の早期調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による旭川（出石地区）、笹ヶ瀬川（平田地区）、足守川（庭瀬地区付近）、砂川（辛川市場地区付近）の改修等を促進 ・笹ヶ瀬ポンプ場雨水ポンプ増設工事 ・津島ゲートの遠隔操作化工事 3箇所 ・熊谷川排水機場ポンプ増設工事 ・市民設置の雨水貯留タンク設置の助成 67件 貯留量 20 m³ ・小学校で浸水に関する出前授業を実施 ・内水ハザードマップなど浸水対策に関する出前講座の実施 ・内水ハザードマップの配布：900枚 ・町内備蓄土の配布、台風接近時等の市民への土のう配付3回実施 ・台風接近時等に河川からの取水調整等の実施
下水道施設（処理場、ポンプ場）の長寿命化、耐震化 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部における下水道施設の計画的な改築・更新等による雨水排水機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・天瀬ポンプ場し渣搬出機ほか長寿命化工事 ・笹ヶ瀬ポンプ場 No. 6 雨水ポンプほか長寿命化工事 ・巖井ポンプ場 No. 1 雨水ポンプ用エンジン更新ほか長寿命化工事
単独河川改修事業 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通河川の河川改修による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・苫田川河川改修 L=76.7m ・吉村川河川改修 L=154.6m ・弥高川河川改修 L=173.3m 他 16 河川改修 ・吉村川測量設計を業務委託により実施 ・他 4 業務を委託により実施

② 地域の防災・防犯力の強化

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
出前講座等の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした、地域での防災出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 67回

<p>浸水対策事業 (危機管理室、下水道河川局下水道河川計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるかわからない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめることを目的とした、ハザードマップの作成や出前講座の実施等による日頃からの危機意識の醸成及び避難方法等の一層の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水・土砂災害ハザードマップを平成 28 年 3 月に更新し、市広報紙に添付し市民へ配布、各区役所にて希望者に配布、市HPで公表 ・内水ハザードマップを平成 28 年 6 月に作成、北区役所、地域センターで配布、市HPで公表、公民館で掲示 ・内水ハザードマップの配布：900 枚 ・出前授業については、内水ハザードマップによる浸水対策の出前授業を実施
<p>自主防災会育成事業 (危機管理室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 ・防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会資機材給付（結成）6 件 ・自主防災会資機材給付（訓練）27 件 ・自主防災会地域防災マップ給付 3 件
<p>避難行動要支援者名簿の活用 (危機管理室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策基本法に基づき、市が作成した「避難行動要支援者名簿」を、町内会や民生委員等の避難支援等関係者に提供し、地域で支えあう仕組みづくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「避難行動要支援者名簿」のうち、平常時から避難支援等関係者に名簿情報を提供することに同意した者の名簿を提供
<p>帰宅困難者対策の充実 (危機管理室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山駅周辺のホテルや大規模商業施設等と協定を締結し、帰宅困難者の一時避難場所を確保 ・企業内備蓄や「むやみに移動を開始しない」など、帰宅困難者防止の啓発のため、企業に対して出前講座を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難者等一時避難場所協定 4 箇所（平成 25 年度～） ・帰宅困難者支援協定 1 箇所（平成 24 年度～） ・企業出前講座 3 回
<p>安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付（40 学区・地区に交付）
<p>地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、防犯講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の防犯ボランティア団体を対象に地域の公民館講座等を活用し、防犯指導及び講座を中心に支援

防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会が新たに設置する防犯灯の取付費用の一部助成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯設置費補助数（町内会設置）280 灯
道路防災対策事業 (都市整備局道路港湾管理課)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理道路の安全・安心の確保に向けた、道路防災点検の拡充及び道路防災対策工事の着実な実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道 429 号の道路防災危険箇所について、調査測量予備設計を実施 ・国道 484 号と県道岡山賀陽線の道路防災危険箇所について、詳細設計を実施

区づくりの将来目標

ふれあいと活気にあふれ、快適で住む喜びに満ちたまち 中区

総括

総合評価

方向性 1 交通利便性の向上

都心部への交通アクセス性の向上や区内の各地域間の円滑な移動確保のため、都市計画道路下中野平井線（中環状線）、主要地方道岡山赤穂線（外環状線）等の幹線道路の整備を進めるとともに、池の内バス停にサイクル&バスライド駐輪場を整備し、バス利用環境の改善を図った。

自転車走行空間の整備については、中心部と郊外部を接続するアクセス路線の検討を行っており、自転車利用環境の改善に向け、引き続き取組を進めていく。

方向性 2 豊かな自然環境の保全・継承

区民参加のホタル調査や保護団体等と連携してのアユモドキの保護・啓発活動を実施するとともに、生物多様性の保全活動を推進するため、「身近な生きものの里」として認定している高島・旭竜、曹源寺の2地域の活動を支援した。

こうした取組や操山公園里山センターの講習会・講座等を活用した環境保全の地道で継続的な取組など、豊かな自然環境の保全・継承に向けた動きは着実に進んでいる。

方向性 3 地域資源の活用と発信

区づくり推進事業などを通じて、地域住民の創意工夫による各地区の特性を生かした地域づくりを支援するとともに、地域の歴史や特産物、文化の発信を進めている。

また、「岡山歴史のまちしるべ」設置事業により、地域の団体から提案を受けた地域の埋もれた歴史資源の紹介に向け、区内に2基の案内看板を設置するなど、地域資源の活用と発信に向けた取組が広がっている。

方向性 4 多世代の交流・協働による地域づくり

区づくり推進事業や安全・安心ネットワーク支援事業を通じて、区民が主体的に取り組む地域交流・地域活動を支援し、各種団体、民間の事業所等が参加した多様な主体によるコミュニティの活性化を着実に進めている。

また、大学が持つ高い専門性の地域振興への活用や、若年層の地域づくりへの参加促進等を目指し、区独自で区内にある大学との連携を図っているところであり、今後は、山陽学園大学・短期大学に続き、就実大学・短期大学とも包括連携協定を締結することにより、大学と協働した活力ある地域づくりをより力強く推進していく。

方向性 5 地域住民の手による防災・防犯力の向上

自主防災会に対する資機材給付や地域防災マップ作成への支援を通じ、また、防災まちづくり学校等を開催しての地域防災リーダーの育成や出前講座の実施等により、防災意識の向上を図った。

一方、浸水対策としては、倉安川の河川改修工事や用排水路の浚渫・改良工事等のハード事業を進めるとともに、町内備蓄土や洪水・土砂災害ハザードマップの配布等を行った。

また、地域防犯についても、防犯ボランティアを対象に指導や講習等の支援を行うとともに、防犯灯を設置する町内会への費用助成を実施しており、地域住民の手による防災・防犯力の向上は着実に進んでいる。

主な事務事業

方向性 1 交通利便性の向上		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
中環状道路の整備 (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 都心に集中する交通の分散・誘導を目的とした、都市計画道路下中野平井線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路下中野平井線において、構造物詳細設計、用地補償等を実施
外環状道路の整備 (岡山環状道路) (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした、主要地方道岡山赤穂線、市道江並升田線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 主要地方道岡山赤穂線、市道江並升田線において、JR 工事委託、工事用道路、用地測量、道路予備設計、用地補償等を実施
幹線道路の整備 (都市整備局道路 計画課)	<ul style="list-style-type: none"> 県道等幹線道路における、道路改良、歩道整備、交通安全施設整備等 	<ul style="list-style-type: none"> 主要地方道岡山牛窓線ほか 2 路線において、道路改良工事、用地補償等を実施
鉄道の利用環境改善 (都市整備局交通 政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節機能強化 パーク&ライド駐車場管理 わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> なし
バスの利用環境改善 (都市整備局交通 政策課)	<ul style="list-style-type: none"> パーク&バスライド駐車場、サイクル&バスライド駐輪場の整備 わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> サイクル&バスライド駐輪場を 1 カ所整備(池の内バス停自転車等駐車場)

自転車走行空間の整備 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の自転車利用ニーズ（利用圏域や自転車交通量等）を勘案して、中心部と郊外部を接続するアクセス路線の選定・整備 ・郊外部の自転車利用ニーズに応じて、地域の主要拠点等の自転車利用圏域に対応した整備について計画策定に着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部と郊外部を接続するアクセス路線の検討
新たな生活交通の確保 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

方向性 2 豊かな自然環境の保全・継承		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
操山公園里山センター (都市整備局庭園都市推進課)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務のなかの緑化関連事業や指定管理者の自主事業で開催される講習会・講座等を活用した環境保全の取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者 65,484 人 ・緑化推進リーダー講座 4 回 ・緑化関連事業・講座 109 回 2,490 人
身近な生きものの里事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等が身近な野生生物をシンボルにして主体的に生物多様性の保全活動を行っている地域について、「身近な生きものの里」として認定する活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・高島・旭竜、曹源寺の 2 地域に、保全活動に対する助成や資材提供などの活動支援を実施
ホタル調査および希少種保護事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民参加のホタル調査（隔年実施）及び保護団体等と連携した希少種保護事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタル調査を実施（中区生息地 19 か所） ・希少種保護事業は、身近な生きものの里認定地区「高島・旭竜」、保護団体、関係課等と連携しアユモドキの保護・啓発活動を実施

水辺教室等の環境教育推進事業 (環境局環境保全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境や生物多様性についての意識向上を目的とした、多様な主体が行う水辺等での環境教育に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携中枢都市圏取組で、新規に高島公民館主催「川ガキ講座」参加児童及び保護者 12 名の参加のもと、真庭市への自然体験エコツアー（9/2）を実施
--	--	--

方向性 3 地域資源の活用と発信		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
区づくり推進事業 (中区役所総務・地域振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 10 件 干拓の歴史、地域の文化、特産物等の地域資源、防犯・防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・広域交流部門 2 件 百間川の歴史・役割などを考え、治水・利水・親水などの多面的な機能の理解を深め、環境保全に寄与するなど、2 以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・地域活動部門 5 件 海拔の低い地域や土砂災害等の発生が懸念される地域における防災活動、地域における認知症予防対策、町内会等の活動における後継者対策を考えるなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付
「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインの案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の市内主要地域（中心市街地等）や地域住民から提案を受けた場所への設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体から提案を募集し、採用された 32 基（うち中区は 2 基）の案内看板を設置

<p>旭川かわまちづくり事業 (都市整備局庭園都市推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに向けた、国との連携による旭川さくらみちの整備や烏城公園（石山公園地区）の再整備等 市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 旭川さくらみち歩行空間整備工事（浜樋門から上流約600m区間）（中区） 旭川さくらみち桜並木の桜の更新（伐採8本、新植1本）（中区） みんなでつくる水辺フェス♪～岡山旭川2017の開催(10/22：荒天中止) 石山公園活用検討会の開催（3回実施）（北区）
--	---	--

方向性4 多世代の交流・協働による地域づくり		
① 地域コミュニティの活性化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
<p>住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 13学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、301町内会に対し、自治振興報償金の支払 町内会集会所新築等補助金の交付 修繕4件、エアコン10件 コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業補助金の交付14件
<p>区づくり推進事業 (中区役所総務・地域振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な交流部門 10件 干拓の歴史、地域の文化、特産物等の地域資源、防犯・防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 広域交流部門 2件 百間川の歴史・役割などを考え、治水・利水・親水などの多面的な機能の理解を深め、環境保全に寄与するなど、2以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 地域活動部門 5件 海拔の低い地域や土砂災害等の発生が懸念される地域における防災活動、地域における認知症予防対策、町内会等の活動における後継者対策を考えるなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付

<p>安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付(13学区・地区中12学区・地区に交付) 若者の地域への関心を高めるなど、地域活動を担う人材の育成につながる地域づくり講座の開催(2館で若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施)
<p>② 多様な主体との協働による地域活性化</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H29年度)</p>
<p>区づくり推進事業 (中区役所総務・地域振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な交流部門 10件 干拓の歴史、地域の文化、特産物等の地域資源、防犯・防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 広域交流部門 2件 百間川の歴史・役割などを考え、治水・利水・親水などの多面的な機能の理解を深め、環境保全に寄与するなど、2以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 地域活動部門 5件 海拔の低い地域や土砂災害等の発生が懸念される地域における防災活動、地域における認知症予防対策、町内会等の活動における後継者対策を考えるなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付
<p>③ 学校と連携した健康づくりの推進</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H29年度)</p>
<p>「健康市民おかやま21(第2次)」推進事業 (保健福祉局健康づくり課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキング大会・健康まつり・健康教室等、市民主体で企画実施したイベント回数・参加人数 ＜中区＞53回、6,123人

方向性5 地域住民の手による防災・防犯力の向上		
①地域防災力の向上		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
自主防災会育成事業 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会資機材給付（結成）1件 自主防災会資機材給付（訓練）30件 自主防災会地域防災マップ給付2件
避難行動要支援者名簿の活用 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策基本法に基づき、市が作成した「避難行動要支援者名簿」を、町内会や民生委員等の避難支援等関係者に提供し、地域で支えあう仕組みづくりを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 「避難行動要支援者名簿」のうち、平常時から避難支援等関係者に名簿情報を提供することに同意した者の名簿を提供
備蓄の推進 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> 分散備蓄の推進 家庭内備蓄の周知啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄場所のない小中学校5か所に備蓄倉庫を設置
出前講座等の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした、地域での防災出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座の実施 45回
浸水対策事業 (危機管理室、下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> いつ起こるかわからない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめることを目的とした、ハザードマップの作成や出前講座等の実施による日頃からの危機意識の醸成及び避難方法等の一層の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 洪水・土砂災害ハザードマップを平成28年3月に更新し、市広報紙に添付し市民へ配布、各区役所にて希望者に配布、市HPで公表 内水ハザードマップを中区役所、地域センターで配布、市HPで公表、公民館で掲示 内水ハザードマップの配布：932枚

② 津波・浸水対策		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
浸水対策事業 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による旭川の護岸整備や沿岸部の津波・高潮対策の促進、倉安川の堤防護岸整備や河床掘削等の河川改修、用排水路の整備・改良による市街地等の浸水対策の推進 ・町内会への防災備蓄土、土のう袋の配布の実施、また、事前に大雨が予想される場合には、地域の水利権者等との協力のもとで倉安川等の水位調整を行うなど、共助による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・国による旭川下流部の高潮、耐震化の整備、百間川分流部の整備及び河口部水門の耐震化など河川改修事業の促進 ・一級河川倉安川河川改修L=37.9m整備完了 ・用排水路の浚渫及び整備を実施 ・倉安川流域の内水対策を実施 ・市民設置の雨水貯留タンク設置の助成 33 件 貯留量 8 m³ ・町内備蓄土等の配布、台風接近時等の市民への土のう配付 3 回実施 ・台風接近時等の倉安川等の水位調整を実施
単独河川改修事業 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川倉安川の海吉地区の河川改修による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川倉安川（海吉地内）二次改修L=100m
③地域防犯		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、防犯講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の防犯ボランティア団体を対象に地域の公民館講座等を活用し、防犯指導及び講座を中心に支援

<p>区づくり推進事業 (中区役所総務・地域振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 10件 干拓の歴史、地域の文化、特産物等の地域資源、防犯・防災対策の強化など、小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・広域交流部門 2件 百間川の歴史・役割などを考え、治水・利水・親水などの多面的な機能の理解を深め、環境保全に寄与するなど、2以上の小学校区で実施される特色ある地域活性化イベントの実施団体に対し、補助金を交付 ・地域活動部門 5件 海拔の低い地域や土砂災害等の発生が懸念される地域における防災活動、地域における認知症予防対策、町内会等の活動における後継者対策を考えるなど、地域課題の解決のための活動の実施団体に対し、補助金を交付
<p>防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会が新たに設置する防犯灯の取付費用の一部助成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯設置費補助数(町内会設置) 94灯

区づくりの将来目標

いつまでも住み続けたい 歴史が息づき愛着の持てるまち 東区

総括

総合評価

方向性 1 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり

昭和レトロな街並みが残り映画やテレビのロケ地としても注目を集める西大寺五福通りを舞台とした西大寺五福通りレトロ・マルシェや、まちの風物詩として定着した西大寺朝市などのイベント開催、市内唯一の海水浴場である宝伝・犬島海水浴場の支援を行い、地域資源の魅力の向上と賑わいの創出を図った。

また、国指定重要無形民俗文化財である西大寺会陽のWebサイトの多言語化支援や、岡山市歴史のまちしるべ事業を実施し、市民の郷土への愛着や誇りの醸成を図るとともに、地域資源の魅力を積極的に情報発信した。引き続き地域の声を反映し、地域資源の魅力の向上と賑わいの創出を図る。

方向性 2 多世代が交流・活動できる地域づくり

地域が主体となって独自の企画により行われた地域づくりの取組に対して支援を行い、地域の自治組織と学校や事業者の連携や、幼から老まで多世代の交流など、地域ぐるみの活動を促進することができた。さらに、地域活動を担う人材育成の面においても、特に若者向けに地域応援人づくり講座を実施するとともに、千種学区においては地域おこし協力隊の採用が予定されているところである。これらの事業は一定の成果をあげているが、人口減少期に入っている東区においては、主体となるべき地域住民の高齢化は確実に進行し、地域の担い手が不足する懸念があることから、今後もこれらの地域主体の取組が途切れることのないよう支援しながら、地域おこし協力隊員の導入なども視野に入れつつ、新たな担い手の確保・育成を図っていく。

方向性 3 企業立地の推進と持続可能な農業の振興

優位性をいかした企業誘致を図るため、瀬戸インターチェンジ周辺等の農地の利用について、国への政策提言・要望を行った。

また、持続可能な農業の振興を図るため、平成 28 年度に引き続いて農業の担い手確保・育成に努めるとともに、経営力の強化を目的とした事業として、岡山市畜産クラスター協議会による近代化施設・機械等の導入補助や、農業者と商工業者の連携を進める次世代農業モデル事業の計画認定を行うなど、新しい取組に成果があった。これらの成果も踏まえながら、引き続き「儲かる農業」の実現に向けて取り組んでいく。

方向性 4 交通利便性の向上

平成 28 年度に引き続き、美作岡山道路（瀬戸 JCT～熊山 IC）をはじめとして、主要地方道岡山赤穂線など各路線の整備に取り組み、主要地方道岡山赤穂線における鉄道交差部の工事着手や、主要地方道西大寺山陽線における用地補償などを進めた。

また、交通不便地域における日常生活に必要な移動手段の確保について、千種小学校区に加え角山小学校区においても、新たに地域住民が検討組織を設置して検討をはじめた。この課題については、区民の関心が高まっており、地域が主体となって移動手段確保に取り組む意向があるときには、その地域の住民と一緒に検討を行っていく。

方向性5 健やかに暮らせる地域づくり

地域の特性に応じたきめ細やかな健康づくりを進めるため、健康市民おかやま 21 推進会議の活動の充実を図るとともに、中学校区又は小学校区単位での組織づくりを促進し、平成 29 年度には新たに 4 つの組織が発足した。

また、「ええとこ発見図（ウォーキングマップ）」を活用したウォーキング大会の開催や、おかやま西大寺マラソンなどのイベントの場も活用しながら、「OKAYAMA！市民体操」の普及を進め、一定の成果をあげた。これらの取組を通じ、今後も地域特性に応じた健康づくりの取組が充実するよう支援をしていく。

方向性6 安全・安心な地域づくり

岡山県と共同で総合防災訓練を実施し、住民参加による避難所運営訓練などを行った。また、備蓄物資の分散化を進め、備蓄場所のない小中学校に備蓄倉庫を設置した。さらに、昨年度と同様、防災資機材の給付など、自主防災会の結成や活動の促進、地域の防災力の強化を図るとともに、町内会等へ真砂土及び土のう袋の配布等の浸水対策にも取り組んだ。

また、区内での安全・安心ネットワークの活動の支援、防犯指導及び講座を昨年度に引き続き行った。さらに、地域の要望に基づく通学路防犯灯の設置や、町内会が防犯灯を設置する際の補助を継続して行った。

昨年度に引き続き、区民の防災意識及び安全・安心なまちづくりに対する意識の向上に努め、今後も区民の主体的な活動を促進していく。

主な事務事業

方向性1 地域資源をいかした魅力と賑わいづくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
岡山まつり開催事業 (産業観光局観光振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 夏まつり西大寺をはじめ、国の重要無形民俗文化財に指定された西大寺会陽など、岡山らしさを味わえるまつりや滞在を促すイベントの充実等を通じた岡山の魅力の発信 	<ul style="list-style-type: none"> 各種まつり（イベント）の実施 西大寺会陽・会陽冬花火 はだか約 10,000 人 来場者約 33,000 人 HPの英語バージョンを製作 夏まつり西大寺 夜待まつり 来場者約 30,000 人 水まつり 来場者約 3,000 人 安仁神社まつり 来場者約 1,000 人 亀石まつり 来場者約 3,000 人
地域振興事業 (東区役所総務・地域振興課)	<ul style="list-style-type: none"> 東区の地域資源として、西大寺五福通り周辺のまち並みを保存・活用するため、地域住民による主体的な取組を支援 西大寺地域中心市街地の活性化を目的としたイベント等の開催支援や地域スポーツの振興支援 	<ul style="list-style-type: none"> 西大寺五福通り周辺で開催されたイベントの支援 西大寺ファンタジー等の開催支援 区民体育大会やテニス、ソフトボール、バレーボール等の大会支援 西大寺ガイドマップの作成（増刷）

<p>「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインの案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の市内主要地域(中心市街地等)や地域住民から提案を受けた場所への設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体から提案を募集し、採用された32基(うち東区は5基)の案内看板を設置
<p>観光施設の活用事業 (産業観光局観光振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区内各地の観光施設等の適切な維持管理や有効活用、市内各地の歴史・文化資源の統一看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置等による観光客の満足度向上につながる受入体制の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客受入体制整備のため、岡山の観光地を紹介した看板の設置 岡山歴史のまちしるべ設置場所・設置数 西大寺エリア3基
<p>おかやま観光情報発信事業 (産業観光局観光振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の伝統行事やイベント等、地域の様々な観光資源について、地域との連携・協働を図りながら効果的な活用を進め、観光客の増加、周遊促進を図る ・海外からの誘客も念頭に置き、その魅力を積極的に情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・レトロマルシェ 年2回開催(内、1回は雨天のため中止) 来場者約3,000人 ・西大寺朝市 年4回開催 来場者約3,800人 ・海水浴場の開設(2か所) ・桃の花空輸事業 沖縄へ約820本、北海道へ約650本 ・西大寺会陽の英語版HPを製作し情報発信 はだか約10,000人 来場者約33,000人
<p>トップチーム支援事業 (市民生活局スポーツ振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスポーツ推進に繋がる自主事業開催への働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・政田サッカー場天然芝体験事業：園児・小学生等1,101名

方向性2 多世代が交流・活動できる地域づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
<p>区づくり推進事業 (東区役所総務・地域振興課)</p>	<p>・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成</p>	<p>・身近な交流部門 12件 地域に生息するダルマガエルの保護活動の紹介をした「とよふれあいまつり」や、神崎梅園で行われ、6万人が来場した「太伯振興梅まつり」など、地域の歴史、文化、特産品など地域資源を活用しながら、幅広い年齢層の住民の交流や地域内外の人々の交流などを通して地域の活性化や地域住民の連帯意識の高揚を図る、小学校区で行うイベント開催の活動経費の補助を実施。</p> <p>・広域交流部門 3件 西大寺の自然や伝統的な街並みをコースに取り入れたマラソンを通して、地域の連帯感を深める「おかやま西大寺マラソン」や、地域の伝統芸能文化を守り育て、次世代に継承していく「郷土芸能フェスティバル in 西大寺」など、2以上の小学校区単位で行われた地域活性化のイベント活動経費の補助を実施。</p> <p>・地域活動部門 4件 地域に住む高齢者が、住み慣れた地域で健康で自立した生活が送れるよう、地域で支え合う仕組みづくりや、地域の共助の意識や防災・減災の意識などの啓発の取組など、地域の課題解決に取り組む継続的な活動に対し補助を実施。</p>
<p>安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)</p>	<p>・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成</p>	<p>・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付(20学区・地区中19学区・地区に交付)</p> <p>・若者の地域への関心を高めるなど、地域活動を担う人材の育成につながる地域づくり講座の開催(4館で若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施)</p>

方向性3 企業立地の推進と持続可能な農業の振興		
①優位性をいかした企業誘致		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
企業立地推進事業 (産業観光局産業政策課)	<ul style="list-style-type: none"> 美作岡山道路における瀬戸インターチェンジの整備を契機として、インターチェンジ周辺等の産業利用の適地に用地を確保できるよう地域と連携して取り組み、瀬戸地域等への企業立地を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興に資する土地利用を図るため農振法の規制緩和を求めて、「国への政策提言・要望」活動といった様々な機会を活用し、国への要望を実施
②持続可能な農業の振興		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
農業の担い手の確保・育成事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> 若手農業者モデル経営体の登録及び新規就農希望者への紹介 就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付 U I J ターン園芸農業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者数 29人 就農相談会 11回 農業体験研修 3回 若手農業者モデル経営体の登録 14経営体 奨励金給付 10件 U I J ターン園芸農業者への補助 1件 <p>※全市の実績</p>

<p>農業経営力向上対策事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援 ・園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援 ・担い手への農地集積に対する支援 ・農業者と企業の連携の支援 	<p>【経営所得安定対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の直接支払交付金申請者数 2,297 件 ・水田活用直接支払交付金申請者数 1,896 件 <p>【水田営農推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件、受益戸数 29 戸、受益面積 5ha） <p>【園芸作物生産流通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 5 件、受益戸数 370 戸、受益面積 119.13ha） <p>【畜産振興指導費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市畜産クラスター協議会による近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件） <p>【環境保全型農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 8 件、受益戸数 87 戸、受益面積 205.5ha） ・環境保全型農業直接支払交付金（件数 7 件、39ha） <p>【担い手の育成・確保の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積率 37.5%（目標） 平成 29 年度実績 36.9% <p>【次世代農業支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者と企業等それぞれの連携意向アンケート調査（連携に関心有；農業者 111 件、企業等 37 件） ・農業者向け企業等との連携にあたっての勉強会実施（2 回；延べ 48 名参加） ・農業者と企業等との連携相談会実施（4 回；農業者延べ 36 名、企業等延べ 26 社参加） ・農業者と企業等との個別マッチング（6 件成立、内 2 件モデル事業認定） <p>※全市の実績</p>
<p>農産物販路拡大支援事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の研究・開発を支援（2 団体）
<p>農業農村整備事業 (産業観光局農村整備課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の大区画化、排水改良、農業用施設の改修や補修・長寿命化対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良事業 工事件数 1 件 ・単独改修事業 工事件数 134 件 ・障害対策委託件数 91 件

土地改良区等支援事業 (産業観光局農村整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要な農業用施設の補修・維持管理を担う土地改良区や地域共同体等の組織、人材に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地改良区への事務費等補助 西大寺、山南、吉井川下流、砂川右岸計 4 団体へ交付
--	---	--

方向性 4 交通利便性の向上		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
広域交通網の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要渋滞箇所の渋滞解消、広域交流の強化、高速道路へのアクセス強化を目的とした美作岡山道路（瀬戸 JCT～熊山 I C）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターチェンジ部切土工事 ・ インターチェンジ部盛土工事、本線部舗装工事等
外環状道路の整備 (岡山環状道路) (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした、主要地方道岡山赤穂線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要地方道岡山赤穂線において、J R 工事委託、工事用道路、用地測量等を実施
幹線道路の整備 (都市整備局道路計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道等幹線道路における、道路改良、歩道整備、交通安全施設整備等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要地方道西大寺山陽線ほか 5 路線において、道路改良工事、用地補償等を実施
鉄道の利用環境改善 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通結節機能強化 ・ パーク&ライド駐車場管理 ・ わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西大寺駅駐車場の管理運営（東区役所） ・ 瀬戸・万富駅駐車場の管理運営（瀬戸支所）
バスの利用環境改善 (都市整備局交通政策課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ パーク&バスライド駐車場、サイクル&バスライド駐輪場の整備 ・ わかりやすい案内情報の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし

<p>新たな生活交通の確保 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民及び交通事業者との連携による、買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・千種小学校区において、地元検討組織とデマンド型乗合タクシーの運行計画（素案）を検討し、住民の利用意向を把握するためのアンケート調査を実施 ・角山小学校区において、地元検討組織を設置し、運行計画を検討するための交通実態に関するアンケート調査を実施
---	---	--

方向性5 健やかに暮らせる地域づくり		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
<p>「健康市民おかやま21(第2次)」推進事業 (保健福祉局健康づくり課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との協働による、日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング大会・健康まつり・健康教室等、市民主体で企画実施したイベント回数・参加人数 <p><東区>39回、12,559人</p>

方向性6 安全・安心な地域づくり		
①津波・浸水対策		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
<p>浸水対策事業 (下水道河川局下水道河川計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による吉井川、砂川の早期改修、海岸堤防の津波・高潮対策や耐震化の促進 ・市街地等での浸水対策 ・町内会へ防災備蓄土、土のう袋の配布 ・豪雨が予想される場合には、地元水利権者等も含む行政と住民が互いに協力しながら、流末の遊水池の有効活用や河川からの取水調整、河川の水位上昇に伴う各種の操作等による浸水被害の軽減・防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による吉井川下流部の高潮、耐震化の整備、砂川（西大寺地区、竹原地区）など河川改修事業を促進 ・瀬戸ポンプ場雨水ポンプ増設工事 ・市民設置の雨水貯留タンク設置の助成 26件 貯留量 26 m³ ・小学校で浸水に関する出前授業を実施 ・内水ハザードマップなど浸水対策に関する出前講座の実施 ・内水ハザードマップの配布：885枚 ・町内備蓄土の配布、台風接近時等の市民への土のう配付3回実施 ・台風接近時等に河川からの取水調整、河川水位の上昇に伴う操作等の実施

単独河川改修事業 (下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通河川の河川改修による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・オノ端谷川河川改修 L=25.3m ・弥高川河川改修 L=61.6m ・馬渡川測量設計を業務委託により実施
②地域の防災・防犯力の強化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
自主防災会育成事業 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 ・防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会資機材給付（結成）2件 ・自主防災会資機材給付（訓練）91件 ・自主防災会地域防災マップ給付2件
安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付（20学区・地区中19学区・地区に交付）
住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・20学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 ・町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、378町内会に対し、自治振興報償金の支払 ・町内会集会所新築等補助金の交付 修繕6件、エアコン9件 ・コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業補助金の交付 7件
備蓄の推進 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・分散備蓄の推進 ・家庭内備蓄の周知啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄場所のない小中学校2か所に備蓄倉庫を設置
出前講座等の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした、地域での防災出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 22回

<p>浸水対策事業 (危機管理室、下水道河川局下水道河川計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるかわからない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめることを目的とした、ハザードマップの作成や出前講座の実施等による日頃からの危機意識の醸成及び避難方法等の一層の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水・土砂災害ハザードマップを平成 28 年 3 月に更新し、市広報紙に添付し市民へ配布、各区役所にて希望者に配布、市HPで公表 ・内水ハザードマップを東区役所、地域センターで配布、市HPで公表、公民館で掲示 ・内水ハザードマップの配布：495 枚 ・出前授業については、小学校で浸水対策に関する授業を実施、公民館等で内水ハザードマップなど浸水対策に関する出前講座を実施
<p>地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした、地域防犯ボランティアへの講習、防犯講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の防犯ボランティア団体を対象に地域の公民館講座等を活用し、防犯指導及び講座を中心に支援
<p>防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会が新たに設置する防犯灯の取付費用の一部助成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路防犯灯設置数（市設置）9 灯 ・防犯灯設置費補助数（町内会設置）87 灯

区づくりの将来目標

人・まち・自然が調和し、笑顔輝く実りのふるさと 南区

総括

総合評価

方向性 1 地域で取り組む防災・防犯対策の充実

県による笹ヶ瀬川、足守川、倉敷川の河川改修事業、市による芹川支川の河川改修や、新保、築港新町地区ほかの下水道雨水管渠整備等ハード面での浸水対策を推進するとともに、市民の浸水対策への意識啓発を図る目的で、芳泉小学校、南輝小学校に雨水貯留タンクを設置した。ソフト面では、市民の雨水貯留タンク設置への助成を40件実施し、また出前授業等で市民の防災意識向上を図った。浸水被害防止のための重要な水路の藻がりについては、今後とも効果的な対策を実施していく。

灘崎地域では、住民主体の避難訓練、避難所運営訓練を実施した。また、自主防災会については2団体が新規に結成されたが、地域の防災力を高めるため、引き続き新規結成を促進するなど、今後とも市民協働により防災対策に取り組んでいく。

方向性 2 活力のある農業の振興

水田利用野菜生産団地育成事業として、本市で初めて新地下水制御システム（FOEAS）を導入した。今後は、より収益性の高い野菜への転換を推進し、儲かる農業の実現を図っていく。

また、国、県や土地改良区等と連携して、老朽化した水路の補修を着実に推進するとともに、建設から長年経過した千両街道の整備を行うなど、農業用施設の長寿命化を引き続き進めていく。鳥獣害対策については、防護柵等の補助及び猟友会への駆除依頼など、効果的な対策を引き続き実施していく。

方向性 3 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化

地域行事等に使用する備品の修繕・代替に対して支援することにより、地域住民の交流を促し、コミュニティの維持発展を図った。

地域住民が主体となった地域づくりに対しては、区づくり推進事業を通じて支援を行っており、中でも、災害に弱いと言われている干拓地における大規模災害に備える体制の整備や、ホテルと自然環境を守り、地域住民の憩いとふれあいの場をつくるための活動など、地域課題を住民自らが解決しようとする取組が新たに加わった。今後は、地域団体のみならず、事業者、学校、NPO等とのつながりも深めつつ、多様な主体の参加・協働による地域活動の活性化を図っていく。

方向性 4 地域の魅力の発掘・発信

国史跡に指定されている彦崎貝塚の公有化が完了した。今後は、史跡地の保存に留意しながら公開・活用を進めていく。

また、区づくり推進事業を紹介するポスターを作成し、区内各地域に周知するとともに、区づくり推進事業、地域の伝統行事等のSNSによる発信や、地域の歴史・文化の由来等を顕す看板「岡山歴史のまちしるべ」の設置等により、南区ならではの魅力を区内外に向けて発信した。

方向性5 交通の利便性の向上

主要地方道倉敷飽浦線の飽浦地内でのバイパス工事が完了し、離合困難な狭隘箇所の解消を図った。また、主要な幹線道路である市道藤田浦安南町線（外環状線）と主要地方道岡山児島線については、引き続き着実に事業を進めていく。

迫川地区乗合タクシーについては、地元と連携し、停留所や便数を増やすなど、利用促進や運行改善を図りながら試験運行するとともに、平成30年度からの本格運行の計画を策定した。今後、迫川地区以外の公共交通の利用が不便な地域における日常生活に必要な移動手段確保についても、地域とともに検討していく必要がある。

方向性6 健やかに暮らせる地域づくり

健康づくりについて民間企業と連携したイベント等を実施するとともに、福田緑道の整備においては敷地造成工、親水護岸工を実施した。今後も、地域における自主的な健康づくりに向けた環境整備に取り組んでいく。

主な事務事業

方向性1 地域で取り組む防災・防犯対策の充実

① 津波、浸水対策

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
浸水対策事業 (下水道局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県による海岸堤防、笹ヶ瀬川等の護岸の整備や耐震化の促進 ・浦安、芳田排水区など市街地等での雨水排水施設の整備 ・高潮や浸水の危険が事前に予想される場合には、児島湖の管理者や上流地域の水利権者とも協力しながら水位調整 ・町内会への防災備蓄土、土のう袋の配布等を通じた共助による浸水被害の軽減・防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・県による笹ヶ瀬川（左岸：米倉地区、右岸：大福地区付近）、足守川（妹尾崎地区付近）、倉敷川（西畦地区付近）など河川改修事業を促進 ・芳田14号幹線雨水管第7ゲート設置工事 ・浦安12号雨水管整備工事L=201m ・小串排水機場詳細設計業務 ・台風接近時等の児島湖、水路等の水位調整を実施 ・市民設置の雨水貯留タンク設置の助成 40件 貯留量 11 m³ ・小学校雨水貯留タンクを2校に設置し、合わせて、小学校で浸水に関する出前授業を実施 芳泉小学校 貯留量 500L 1基 南輝小学校 貯留量 500L 1基 ・町内備蓄土等の配布、台風接近時等の市民への土のう配付 3回実施

単独河川改修事業 (下水道局下水道 河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・普通河川の河川改修による浸水対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・芹川支川河川改修 L=52m
農業農村整備事業 (産業観光局農村 整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業農村整備事業のうち、特に浸水対策を目的として実施する農業用施設の改良 	<ul style="list-style-type: none"> ・樋門改良事業 1件 豊成二丁目地内樋門設計業務委託 ・用排水障害対策事業 1件 東畦地内水路浚渫作業委託
② 地域の防災・防犯力の強化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
出前講座等の実施 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災意識の高揚を図ることを目的とした、地域での防災出前講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 30回
浸水対策事業 (危機管理室、下水道河川局下水道河川計画課)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつ起こるか分からない津波災害や浸水被害等に迅速・的確に対応し、被害を最小限にとどめることを目的とした、ハザードマップの作成や出前講座の実施等による日頃からの危機意識の醸成及び避難方法等の一層の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・洪水・土砂災害ハザードマップを平成28年3月に更新し、市広報紙に添付し全世帯へ配布、各区役所にて希望者に配布、また市HPで公表 ・内水ハザードマップを平成28年6月に作成、南区役所、地域センター、支所で配布、市HPで公表、公民館で掲示 ・内水ハザードマップの配布：1,955枚 ・内水ハザードマップによる浸水対策の出前授業を実施
自主防災会育成事業 (危機管理室)	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会の結成促進、防災資機材の給付 ・防災まちづくり学校や公民館職員等への防災講習会の開催、男女ともに地域防災リーダーの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会資機材給付（結成）2件 ・自主防災会資機材給付（訓練）28件 ・自主防災会地域防災マップ給付1件
安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付（23学区・地区に交付）

地域防犯ボランティア支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯ボランティア活動の活性化及び地域の防犯意識向上を目的とした地域防犯ボランティアへの講習、防犯講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の防犯ボランティア団体を対象に地域の公民館講座等を活用し、防犯指導及び講座を中心に支援
防犯灯設置支援事業 (市民生活局生活安全課)	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会が新たに設置する防犯灯の取付費用の一部助成等 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯設置費補助数（町内会設置）92 灯

方向性 2 活力のある農業の振興		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
農業の担い手の確保育成事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・若手農業者モデル経営体の登録及び新規就農希望者への紹介 ・就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進 ・新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付 ・U I J ターン園芸農業者への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者数 29 人 ・就農相談会 11 回 ・農業体験研修 3 回 ・若手農業者モデル経営体の登録 14 経営体 ・奨励金給付 10 件 ・U I J ターン園芸農業者への補助 1 件 <p>※全市の実績</p>

<p>農業経営力向上対策事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化など、水田フル活用に資する取組への支援 ・園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要な機械導入や設備整備等への支援 ・担い手への農地集積に対する支援 ・農業者と企業の連携の支援 	<p>【経営所得安定対策推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の直接支払交付金申請者数 2,297 件 ・水田活用直接支払交付金申請者数 1,896 件 <p>【水田営農推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件、受益戸数 29 戸、受益面積 5ha） <p>【園芸作物生産流通対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 5 件、受益戸数 370 戸、受益面積 119.13ha） <p>【畜産振興指導費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡山市畜産クラスター協議会による近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 1 件） <p>【環境保全型農業推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化施設・機械等の導入補助（実施地区数 8 件、受益戸数 87 戸、受益面積 205.5ha） ・環境保全型農業直接支払交付金（件数 7 件、39ha） <p>【担い手の育成・確保の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への農地集積率 37.5%（目標） 平成 29 年度実績 36.9% <p>【次世代農業支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者と企業等それぞれの連携意向アンケート調査（連携に関心有；農業者 111 件、企業等 37 件） ・農業者向け企業等との連携にあたっての勉強会実施（2 回；延べ 48 名参加） ・農業者と企業等との連携相談会実施（4 回；農業者延べ 36 名、企業等延べ 26 社参加） ・農業者と企業等との個別マッチング（6 件成立、内 2 件モデル事業認定） <p>※全市の実績</p>
<p>農産物販路拡大支援事業 (産業観光局農林水産課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な食品見本市へ出展する農業者への補助 ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な食品の見本市への出展補助 8/23・24 東京（出展 1 社） 2/21・22 大阪（出展 1 社） ・農産物の研究・開発を支援（1 団体） ・農業者団体等による農産物のブランド化への取組（1 件）

農業農村整備事業 (産業観光局農村整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の大区画化、排水改良、農業用施設の改修や補修・長寿命化対策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・単独改修事業 工事件数 74 件 ・障害対策委託件数 62 件
土地改良区等支援事業 (産業観光局農村整備課)	<ul style="list-style-type: none"> ・主要な農業用施設の補修・維持管理を担う土地改良区や地域共同体等の組織、人材に対する支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区への事務費等補助 児島湾、岡山市浦安、岡山市妹尾、灘崎、高崎、児島湾七区、光南台 計 7 団体へ交付
都市農村交流施設資源活用事業 (産業観光局農林水産課)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）を活用した都市農村交流の促進 	【岡山市サウスヴィレッジ】 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理の実施 ・跳ね橋修繕 ・雨漏り修繕 ・利用者数：703 千人

方向性 3 多様な担い手の参加・協働による地域活動の活性化		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
安全・安心ネットワーク支援事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークの活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心ネットワークに対し、活動支援として補助金を交付（23 学区・地区に交付） ・若者の地域への関心を高めるなど、地域活動を担う人材の育成につながる地域づくり講座の開催（5 館で若者を対象とした地域応援人づくり講座を実施）
住民自治組織育成事業 (市民協働局市民協働企画総務課)	<ul style="list-style-type: none"> ・学区・地区連合町内会の活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・23 学区・地区連合町内会の活動を援助するため、予算の範囲内において補助金を交付 ・町内会活動の充実や環境の美化等暮らしやすい地域づくりの推進に資するために、275 町内会に対し、自治振興報償金の支払 ・町内会集会所新築等補助金の交付 修繕 7 件、エアコン 10 件 ・コミュニティ活動推進備品修繕等助成事業補助金の交付 21 件

環境美化推進事業 (環境局環境事業課)	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい快適なまちづくりを進めるとともに、自分たちのまちは自分たちできれいにするという地域活動への参加意識の向上を図るため、地域でのクリーン作戦を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・統一実施日 9月24日(日) ・当初参加予定人数 27,003人 ・クリーン作戦資材の配布 土のう袋 11,570枚 ボランティア袋 70% 34箱 ボランティア袋 45% 18箱 軍手 23,640双
区づくり推進事業 (南区役所総務・地域振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 8件 事業件数は平成28年度に同じ。干拓の歴史、地域の文化、民俗芸能、防災対策の強化等、小学校区で実施される特色あるイベントに対する補助金の交付、企画・運営に関する助言等、地域の活性化に向けて取り組んだ。 ・広域交流部門 4件 事業件数は平成28年度に同じ。干拓の歴史、地域の特産物、民俗芸能、伝統行事等、2以上の小学校区で実施される特色あるイベントに対する補助金の交付、企画・運営に関する助言等、地域の活性化に向けて取り組んだ。 ・地域活動部門 3件 事業件数は平成28年度から1件増加。新たに加わった大規模災害に備える体制の整備や、ホテルと環境を守り、地域住民の憩いとふれあいの場をつくるための活動をはじめとする地域活動に対する補助金の交付、企画・運営に関する助言等、地域の課題解決に向けた活動の促進に取り組んだ。

方向性4 地域の魅力の発掘・発信		
事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29年度)
区づくり推進事業 (南区役所総務・地域振興課)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性をいかした地域交流事業及び課題解決のための地域活動に対する活動経費の一部助成 ・各地域で行われる伝統行事などをSNS等で周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な交流部門 8件 ・広域交流部門 4件 ・地域活動部門 3件 ・区づくり推進事業を紹介するポスターを作成し、地域センター、公民館等で掲出 ・区づくり推進事業や地域の伝統行事等を区内外にSNSで情報発信

<p>「岡山歴史のまちしるべ」の設置事業 (政策局事業政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史・文化の由来等を顕す統一的なデザインの案内看板「岡山歴史のまちしるべ」の市内主要地域(中心市街地等)や地域住民から提案を受けた場所への設置 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の団体から提案を募集し、採用された32基(うち南区は2基)の案内看板を設置
<p>観光施設の活用事業 (産業観光局観光振興課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園施設等の適切な維持管理による利用者の満足度向上につながる受入体制の整備(県から委託を受けた施設等の維持管理含む) 	<ul style="list-style-type: none"> 自然公園内施設等の維持管理 虎口池野営場利用者数 386人

<p>方向性5 交通の利便性の向上</p>		
<p>事務事業名 (担当部局)</p>	<p>事業概要</p>	<p>取組実績 (H29年度)</p>
<p>外環状道路の整備 (岡山環状道路) (都市整備局道路計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市街地に流入する交通の適切な分散・誘導による渋滞緩和や安全な通行の確保を目的とした市道藤田浦安南町線の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 市道藤田浦安南町線において、橋梁下部工等の道路改良工事を実施
<p>幹線道路の整備 (都市整備局道路計画課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 県道等幹線道路における道路改良、歩道整備、交通安全施設整備等 	<ul style="list-style-type: none"> 主要地方道岡山児島線において、道路改良工事、用地補償等を実施
<p>バスの利用環境改善 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> パーク&バスライド駐車場、サイクル&バスライド駐輪場の整備 わかりやすい案内情報の整備 	<p>なし</p>
<p>新たな生活交通の確保 (都市整備局交通政策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民及び交通事業者との連携による買い物や通院などの日常生活における移動が不便な地域への新たな交通手段の導入に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> 迫川地区において試験運行を実施しているデマンド型乗合タクシーの利用促進や運行改善を地元検討組織と連携して実施しながら、平成30年度からの本格運行の運行計画を策定

方向性 6 健やかに暮らせる地域づくり

事務事業名 (担当部局)	事業概要	取組実績 (H29 年度)
<p>「健康市民おかもま 21 (第2次)」 推進事業 (保健福祉局健康 づくり課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民との協働による日常的な運動習慣の推進や栄養・食生活改善、喫煙対策等の健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキング大会・健康まつり・健康教室等、市民主体で企画実施したイベント回数・参加人数 <南区西>64回、2,811人 <南区南>21回、1,688人
<p>福田緑道の整備 (都市整備局庭園 都市推進課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 27 年度：用地買収 実施設計 ・ 平成 28 年度：緑道内の水路工等 ・ 平成 29 年度：園路工や広場整備工 ・ 平成 30 年度：植栽工や防護柵工【工事完成予定】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敷地造成工、護岸工 L=584.4m、給排水設備工 L=573m 等を施工